

第61回

森が育む あなたの心 森を育む あなたの手

# 全国植樹祭 かながわ 2010



## 実施計画



神奈川県

## 第1章 開催概要

1 開催方針	1
2 開催理念	2
3 県民運動の推進	3
4 県産品の活用	3
5 環境への配慮	3
6 大会テーマ	4
7 シンボルマーク	4
8 大会ポスター原画	4
9 開催日	5
10 主催	5
11 開催規模	5
12 開催会場	5
13 開催地概要	6

## 第2章 お手植え・式典行事計画

1 基本的な考え方	9
2 演出概要	10
3 式典演出計画	11
4 式典進行計画	13

## 第3章 植樹行事計画

1 基本的な考え方	16
2 お手植え計画	17
3 お手播き計画	19
4 代表者記念植樹計画	20
5 招待者記念植樹計画	21

## 第4章 会場整備計画

1 基本的な考え方	26
2 お手植え会場(南足柄会場)施設配置計画	27
3 式典会場(秦野会場)施設配置計画	29
4 主要施設計画	31
5 サイン計画	34
6 電気・給排水・通信設備計画	35
7 飾花計画	37
8 サービス広場計画	40

## 第5章 運営計画

1 基本的な考え方	42
2 招待計画	42
3 参加者行動計画	44
4 会場内動線計画	46
5 受付計画	50
6 作品御覧・レセプション計画	52
7 特別接伴・接遇計画	54
8 昼食計画	55
9 医療・衛生計画	56
10 消防・防災、警備計画	57
11 実施本部計画	61
12 研修リハーサル計画	63
13 大会運営(開催)の変更等に係る判定会議の設置	64
14 雨天時・強風時対応計画	67

## 第6章 宿泊・輸送等計画

1 基本的な考え方	68
2 宿泊計画	68
3 輸送計画	69
4 視察計画	79

## 第7章 サテライト会場計画

1 基本的な考え方	80
2 開催概要	80
3 会場計画(開催順)	82

## 第8章 荒天時式典計画

1 基本的な考え方	89
2 開催規模	89
3 会場	89
4 実施内容	90
5 招待者行動スケジュール	92

## 第9章 県民運動計画

1 基本的な考え方	93
2 運動の進め方	93
3 県民運動を促進する、神奈川力について	94
4 運動の推進組織	95

## 第10章 記念事業等計画

1 基本的な考え方	96
2 記念事業の内容	96
3 関連事業等の内容	99

## 第11章 広報・協賛計画

1 基本的な考え方	102
2 広報計画	102
3 協賛計画	105

## 資料

1 かながわ森林再生50年構想	107
2 スケジュール	108

## \*実施計画上の用語の使い分けについて

## 1 「参加者」、「招待者」の使い分けについて

「参加者」・・・出演者・出展（店）者・実施本部員等及びサテライト会場への来場者も含め、全国植樹祭に参加する全ての人をさす。

※「招待者」以外の人を個別にさす場合にも使用する。

「招待者」・・・参加者のうち、全国植樹祭のお手植え・式典行事に招待する人のみをさす。

※運営上の区分では、「両会場招待者」「特別招待者」以外の招待者を個別にさす場合にも使用する。

## 2 招待者の運営上の区分について

「両会場招待者」・・・南足柄会場→秦野会場を移動するS-VIP（約20名）を表す言葉として使用。

「特別招待者」・・・先催県等におけるVIP（約400名）を表す言葉として使用。

「一般招待者」・・・「両会場招待者」「特別招待者」以外の招待者を表す言葉として使用。

（通常は「県外一般招待者」「県内一般招待者」といった形で使用）

## 1 開催方針

### (1) はじめに

全国植樹祭（第20回大会までは「植樹行事ならびに国土緑化大会」、第21回大会からは現行の「全国植樹祭」が正式名称となっている。）は、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する国民的理解を深めるため、毎年春季に、社団法人国土緑化推進機構と開催都道府県の共催により行う国土緑化運動の中心的行事で、昭和25年以降、持ち回りで開催されており、本県で、平成22年5月23日（日）に「第61回全国植樹祭」が開催することが決定されました。

これまでこの大会では、天皇皇后両陛下にご臨席を賜り、県内外から多くの参加者にお集まりいただき、式典行事や記念植樹などが行われております。

本県での開催は初めてとなりますが、昭和24年に昭和天皇・香淳皇后のご臨席を賜り、箱根町仙石原で開催した「愛林日植樹行事」が、全国植樹祭の原型を創造する役割を果たしたと言われております。

### (2) 開催意義

本県には、丹沢大山や箱根といった山々から、里山や市街地近郊の樹林地まで、国土の40%近くを占める、約95,000<sup>㉒</sup>もの森林があります。

しかしながら、近年、標高800メートル以上の奥山では、ブナやモミの立ち枯れや風衝地等不適地への造林による荒廃が目立つようになり、その下に広がる標高800メートルから300メートルの山地や標高300メートル以下の里山では、スギやヒノキの人工林、広葉樹林を問わず、手入れ不足等で下草がなくなり表土が流れ出すなど、県内各地で森林の荒廃が進んでいます。

一方、森林に対する県民の期待は、木材や燃料の提供といったことから、降った雨を蓄え、ゆっくりと流すとともにきれいでおいしい水を育む水源のかん養や、山崩れや土砂の流出を防ぐ災害の防止、野生生物との共生、さらには都市に住む人々の潤いや安らぎなどに大きく変化してきています。

これに加えて、花粉症問題の深刻化に伴い、花粉の主な発生源であるスギやヒノキの人工林に対する施策が、強く求められるようになっていきます。

こうした状況を踏まえ、本県では、平成19年度から「かながわ水源環境保全・再生施策大綱」に基づく「かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」による特別対策をスタートさせ、水源の森林づくり事業の加速化などを図るとともに、さらに、今後、半世紀をかけ、「かながわ森林再生50年構想」により、荒廃森林の解消と混交林の拡大を図るなど、森林を抜本的に再生していくこととしています。

平成22年の全国植樹祭は、50年後の神奈川の森林の新しい姿を県民全体で共有し、協働して取り組む本県の森林再生を、全国に発信しながら、さらに前進させる大きな節目として開催するものです。

### (3) 計画における本県の特徴

#### ■環境への配慮

計画全般にわたり、準備の段階から、CO<sub>2</sub>の排出量削減や廃棄物減量化（ゼロエミッション）をするため、地元産品を使用するなど、地球環境に配慮した大会とします。

#### ■おもてなし

会場は、すべての参加者が安全、快適、清潔に過ごせるよう、ユニバーサルデザイン※に極力配慮し、招待者におもてなしの心でサービスを提供します。

#### ■神奈川らしさ

全国植樹祭や開催までに実施する各種イベント等は、「かながわ」の特色を十分に生かした内容とします。

※ユニバーサルデザイン

障害者、高齢者、健常者の区別なしに、すべての人が使いやすいように製品・建物・環境などをデザインすること。

## 2 開催理念

全国植樹祭の開催を通じて、森林再生に向けた神奈川の取組を発信し、全国との交流を図ることにより、本県が目指す森林再生の姿と手法を、より一層確実なものにするとともに、県民協働のうねりを高めて、誰もが森林と積極的な関わりを持ち、その恵みを実感できる社会の実現を目指すこととします。

### 理念展開イメージ

#### 大会テーマ

**森が育む あなたの心 森を育む あなたの手**

#### 第61回全国植樹祭 展開コンセプト

神奈川県は、**発信** + **協働** + **前進** を形にして、  
**一步先へ行く新しい植樹祭を展開します**

展開のコンセプトワード

**One Step , One Lead**

ワンステップ

ワンリード

#### 一步リードした神奈川県を発信

- ・神奈川県で行われた「愛林日植樹行事」は、全国植樹祭の原型をつくりました。
- ・神奈川力(先進力+協働力)を植樹祭に活かし、県と民、民と民の連携をつくります。

#### 神奈川県民一人ひとりの一步が、目指すべき森林を創造

- ・森林再生に向けて踏み出す一步の力を大切に、県民の行動を喚起します。

#### 第61回全国植樹祭を機に、さらに一步先へ

- ・この大会をきっかけに、森林再生に向けた県民協働をいっそう盛り上げます。
- ・地域特性に応じた、50年後の目指すべき森林の姿をイメージしながら活動します。

### 展開のための要素

#### 取組の発信

- 【神奈川県の取組】
- ① かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画
  - ② かながわ森林再生50年構想
  - ③ その他、県民運動など

#### 県民全員参加

- 【植樹祭当日の参加】
- ① 植樹  
(植樹会場、サテライト、他)
  - ② 式典(アトラクション、出展、運営スタッフなど)
- 【当日以外の参加】
- ① 事前行事(苗木のホームステイ、イベント、など)
  - ② 県民運動、募金・協賛など
  - ③ 植樹、木材の利用、活動の支援協力、など

#### 環境コンシャス※

- 【環境にやさしいイベントの計画】
- ① 資材・エネルギーの購入、工事、出展、運営、運輸、ごみの削減など、全分野で環境に配慮
  - ② 本大会で導入・実践する環境対策をアピールし、環境に対する意識向上を図る
  - ③ 環境配慮のための実施計画書を作成し、運営体制を整える
- ※環境コンシャス意識して、環境に配慮すること

#### 神奈川力

新しい時代を切り拓く「先進力」と、県民・NPO・企業など多様な主体と行政とが力を合わせて地域を支える「協働力」によって、神奈川の新たな時代を創造

### 3 県民運動の推進

- 全国植樹祭に向けて、持続的な県民運動で県内の機運を高めます。
- 誰もが参加しやすい県民参加の機会を多く設定し、幅広く広報活動することで、県民全体の森林再生への関心を喚起します。
- 全国植樹祭開催後にも継続的な県民運動を推進し、かながわ森林再生50年構想の実現を目指します。

### 4 県産品の活用

- 全国植樹祭の開催にあたっては、①森林の再生、②地場産業の活性化、③環境への配慮を考慮し、県産木材をはじめとして、できる限り県産品を活用することとします。

### 5 環境への配慮

- 全国植樹祭の開催にあたっては、廃棄物の発生やエネルギーの消費をできる限り低減し、環境にやさしいイベントとなるよう環境配慮に取り組みます。

#### ①自然環境及び周辺環境

- ・会場の設営にあたっては、既存施設の利用を優先するとともに、現在の地形を活かし、できるだけ自然環境に負荷を与えないものとします。

#### ②廃棄物

- ・森林整備で発生した伐採木は、大会で使用するベンチやプランターとして活用するほか、チップ化し、会場内の経路に敷く等廃棄物の発生を抑制します。
- ・リサイクル物品等を使用するとともに、廃棄物の分別を行います。
- ・大会で使用する仮設物は、できるだけリース品を使用します。また、展示用に作成したパネルは、大会後も利活用します。

#### ③交通

- ・参加者の輸送については、バスを基本とし、排出ガス規制対応等の低公害車両の導入も図ります。
- ・BDF（バイオディーゼル燃料）車両を一部使用し、環境への配慮を訴えます。

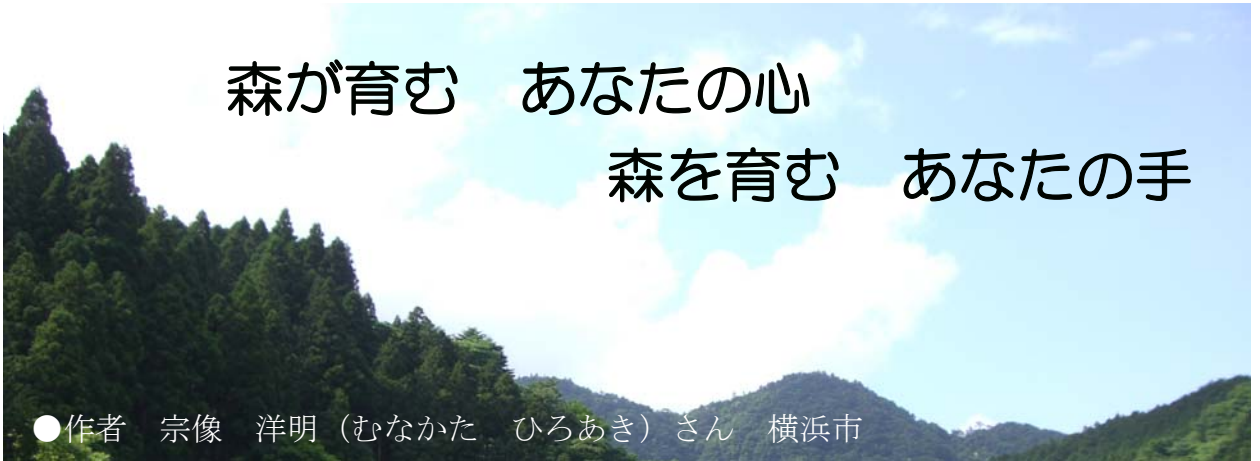
#### ④省エネルギー・省資源

- ・電力の使用については、一部太陽光発電による自然エネルギーを利用します。
- ・弁当は、できる限り県産食材を使用し、納品の時間を考慮し地元業者に委託します。

#### ⑤運営体制

- ・実施本部員や出展（店）者等の説明会において、環境配慮の趣旨や内容を伝え実施の徹底を図ります。

## 6 大会テーマ



●作者 宗像 洋明（むなかた ひろあき）さん 横浜市

## 7 シンボルマーク



## ● 愛称

「かなりんちゃん」

## ● 制作意図

樹で「ハート」を高く掲げ、手で樹を大切に植える「かなりんちゃん」の姿を通して、第61回全国植樹祭の大会テーマ「森が育む あなたの心 森を育む あなたの手」を表現しました。  
また、愛称の「かなりんちゃん」は、神奈川の（かな）と森林の（りん）をかけあわせて、愛称としました。

## ● 作者

大阪府  
河野 通（こうの とおる）さん

## 8 大会ポスター原画



## ● 画題

「温かい緑」

## ● 制作意図

テーマの「森が育む あなたの心 森を育む あなたの手」を表現するため、みんなが笑顔で、手の平に描いた葉の模様を見せ合っている所を表現しました。

みんなの手でハート形がつくられていることで心を表しました。

## ● 作者

神奈川県立小田原城北工業高等学校 3年  
（平成20年度現在）  
井上 美紀（いのうえ みき）さん

## 9 開催日

平成22年5月23日（日）

## 10 主催

社団法人 国土緑化推進機構

神奈川県

## 11 開催規模

- お手植え行事及び式典行事の参加者数は、合計で8,500人程度とします。
- サテライト会場を設け、各会場で合計145,000人程度の来場を得て、大会全体では総計150,000人以上の規模とします。

参加区分	人数	備 考
両会場招待者	20人	国務大臣、林野庁長官、(社)国土緑化推進機構会長・理事長、神奈川県知事・県議会議長等
県外招待者	1,180人	国会議員、中央省庁・団体関係者、緑化功労者、森林・林業関係団体の代表者等
県内招待者	4,300人	県議会議員、市町村長、市町村議会議員、森林・林業関係団体の代表者、公募招待者(2,000人)、実行委員会委員等
小 計	5,500人	
実施本部員等	3,000人	実施本部員、出演者、出展(店)者等
小 計	8,500人	
サテライト会場 参加者	145,000人	来場者
総 計	150,000人以上	

会 場	お手植え・式典行事	記念植樹
足柄森林公園丸太の森地区(南足柄市)	1,000人	2,000人
県立秦野戸川公園地区(秦野市)	4,500人	3,500人
合 計	5,500人	5,500人

## 12 開催会場

### ■お手植え・植樹会場

会場設置市：南足柄市

南足柄市足柄森林公園丸太の森地区(南足柄市広町)

### ■式典・植樹会場

会場設置市：秦野市

県立秦野戸川公園地区(秦野市堀山下・戸川・横野)

### ■サテライト会場(会場設置市町)

横浜市、川崎市、横須賀市、藤沢市、小田原市、相模原市、厚木市、伊勢原市、海老名市、葉山町、山北町、開成町、湯河原町

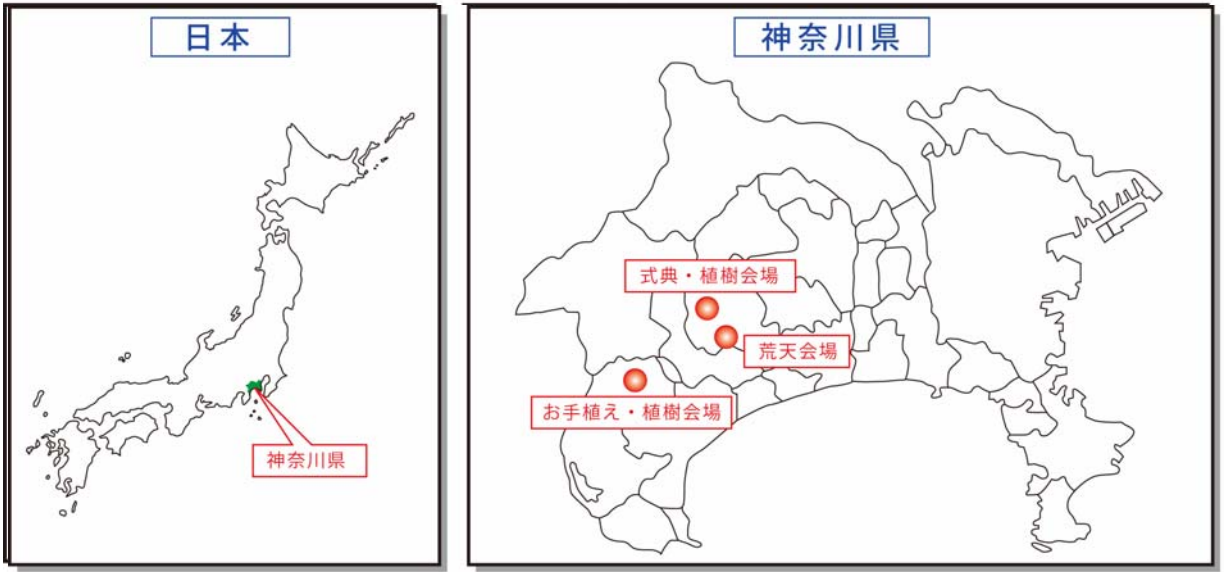
### ■荒天会場

秦野市総合体育館



# 13 開催地概要

## (1) 会場位置図

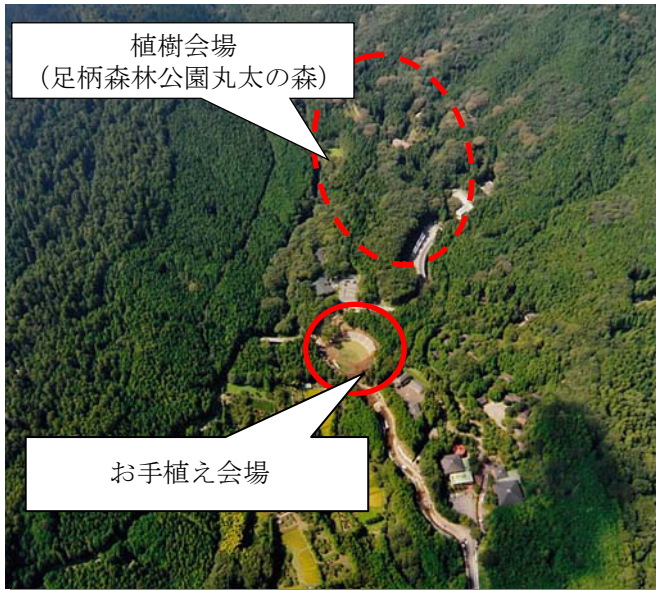


## (2) 足柄森林公園丸太の森地区

### ■お手植え会場（南足柄会場）

箱根外輪山の北東に位置し、南足柄市足柄森林公園丸太の森、県立足柄ふれあいの村に隣接する森林地域にあります。

お手植え会場の周辺施設は、子どもたちを始めとした多くの人々が訪れ、森林学習の拠点となっています。



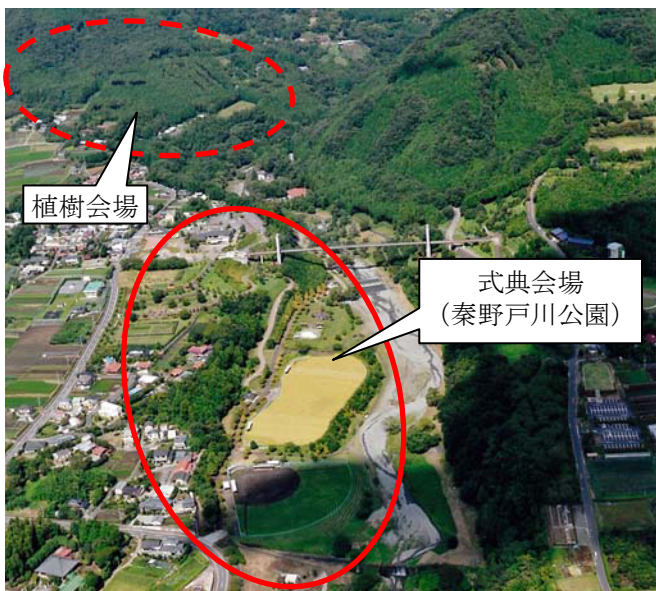
お手植え会場

## (3) 秦野戸川公園地区

### ■式典会場（秦野会場）

会場となる県立秦野戸川公園は、丹沢山地の南に位置し、丹沢の山々から流れる水<sup>みず</sup>無川の自然を活かした都市公園です。

丹沢山地への登山口として知られるこの地域は、多くの登山者や観光客が訪れ1年中にぎわっています。



式典会場

## (4) 各地区植樹会場

### ■植樹会場

植樹会場は、お手植え会場、式典会場の近隣にあり、それぞれから徒歩で移動可能な距離にあります。

両会場ともスギ・ヒノキの人工林内で「かながわ森林再生50年構想」の目指す森林再生の見本になるよう、多様な森づくりを行います。

全国植樹祭開催後は、県民と協働して取り組む森林再生を象徴する県民運動の場として活用していきます。

## (5) サテライト会場

神奈川県全体を全国植樹祭のステージとして、多くの県民に参加していただき、全国植樹祭で発信する神奈川県の森林再生の取組を広く理解していただけるよう、13市町に12のサテライト会場を設置します。

### ■会場位置



### ■開催期日 平成22年2月6日（土）から5月23日（日）までの間

開催日	2月	3月	4月	5月
会場	6日 湯河原会場	13日 横浜会場 20日 小田原ふるさとの森会場	3日 相模原会場 24日 厚木会場 29日 小田原わんぱくランド会場 29日 山北会場	2日 横須賀・葉山会場 8日 伊勢原会場 16日 川崎会場 22日 藤沢会場 23日 海老名会場 23日 開成会場

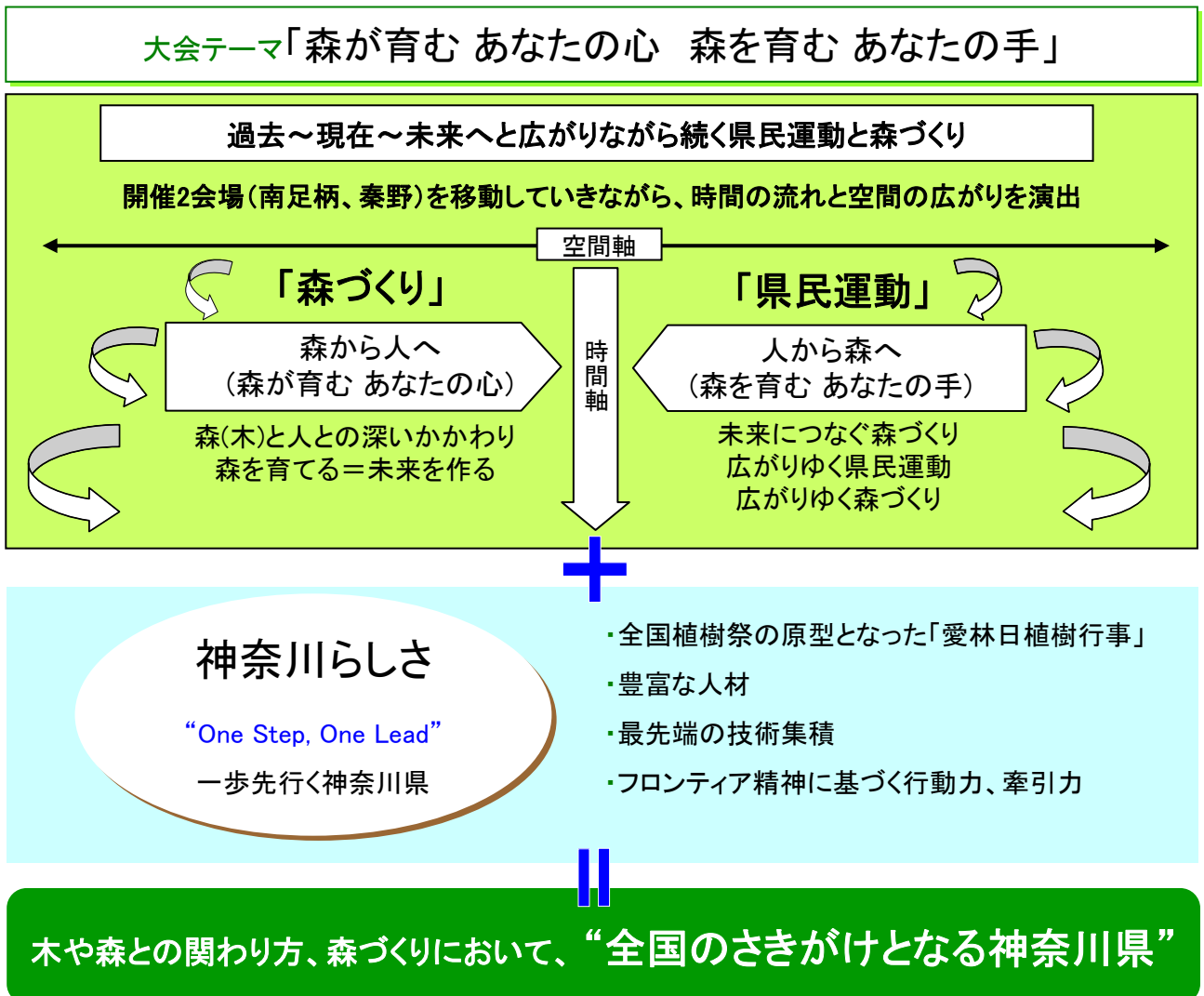
## 1 基本的な考え方

- 大会テーマ「森が育む あなたの心 森を育む あなたの手」に込められた、森と人との深い関わりや、森を育てることが人々の未来を作ることに関わるという内容を、パフォーマンスや音楽、映像などを駆使して表現します。
- 全国植樹祭の原型を創造する役割を果たした昭和24年の「愛林日植樹行事」をはじめとし、神奈川県が一步先んじた森づくりに踏み出していること、木や森との関わり方や森づくりにおいて“全国のさきがけとなる神奈川県”を、メッセージとして発信します。
- 神奈川の自然や歴史、文化、産業の魅力をアピールし、全国からの招待者をおもてなしします。
- 県内の団体等に協力を依頼して多くの県民の参加を促し、県民の関心を高めます。
- 式典は、安全かつ環境に配慮した運営をおこないます。

### ■演出展開のイメージ

両会場を通じて、広がりイメージを作ります。

未来に向かうイメージで、後半は子どもたちにたくさん登場してもらいます。



## 2 演出概要

南足柄・秦野会場ともプロローグ、式典、エピローグ（南足柄会場ではリレーアトラクション）の三部構成とし、両会場招待者の移動時間を2会場連携セレモニーでつなぎます。

お手植え会場（南足柄会場）			式典会場（秦野会場）		
区分	プログラム	内容	区分	プログラム	内容
開会前	招待者入場	招待者をおもてなしします。	開会前	招待者入場	招待者をおもてなしします。
プロローグ	プロローグ説明 プロローグアトラクション 感謝状贈呈 記念切手贈呈 お手植え行事ご案内	○大型映像で神奈川県を自然を紹介。式典音楽隊によるおもてなしの演奏をします。 ○第61回全国植樹祭開催にあたり公募された各種優秀作品等への感謝状の贈呈をします。 ○郵便事業株式会社から神奈川県知事に、大会を記念して「ふるさと切手」が贈呈されます。	【南足柄会場を映像中継】 プロローグ お手植え行事 リレーアトラクション		
お手植え行事	天皇后両陛下 御着 開会のことば 苗木の贈呈 天皇后両陛下 お手植え・代表者記念植樹 アトラクション 天皇后両陛下 御発	○穏やかで厳かな会場の雰囲気合った音楽でお出迎えをし、お見送りをします。 ○速やかな進行を心がけ、登壇者、介添え者、式典アシスタント、司会者の行動や音楽のタイミングなどの演出に配慮します。 ○「森が育む あなたの心」をテーマとしたアトラクションを実施します。			
リレーアトラクション	リレーアトラクション案内 リレーアトラクション	○南足柄会場から秦野会場にバトンを渡すイメージでのアトラクションを実施します。 ○神奈川県を代表する林業関係・木材加工の匠たち、森林ボランティア活動などを紹介します。			

2会場連携 セレモニー	タイムカプセル「過去からの手紙」の紹介と「未来への手紙」のメッセージ作りをします。
----------------	---

【秦野会場を映像中継】 プロローグ 式典行事 エピローグ	プロローグ	プロローグ説明 プロローグアトラクション 式典行事ご案内	○大型映像で神奈川県を歴史文化を紹介。式典音楽隊によるおもてなしの演奏をします。
	式典行事	天皇后両陛下 御着 三旗掲揚・国歌斉唱 主催者あいさつ 表彰 天皇后両陛下お手播き アトラクション 大会宣言 リレーセレモニー 閉会のことば 天皇后両陛下 御発	○雄大で力強い会場の雰囲気に合った音楽でお出迎えをし、お見送りをします。 ○速やかな進行を心がけ、登壇者、介添え者、式典アシスタント、司会者の行動や音楽のタイミングなどの演出に配慮します。 ○「森を育む あなたの心」をテーマとしたアトラクションを実施します。
エピローグ	【2会場中継】にてテーマソング、神奈川ラプソディ大合唱	エピローグアトラクション案内 エピローグアトラクション	○「神奈川ラプソディ」と題し、県出身のアーティスト等による、神奈川県にゆかりのある曲の大合唱を行います。

### 3 式典演出計画

#### 全体の流れ

南足柄会場を「森が育む あなたの心」を表現する場とし、秦野会場では「森を育む あなたの手」を表現します。

人間と森が互いに支え合い、大樹の梢が広がるように、神奈川県の良い未来の展望を描きます。

#### お手植え会場 [南足柄会場] ...「森が育む あなたの心」

#### プロローグ

～ようこそやさしさあふれる神奈川の森へ～

式典音楽隊の演奏と、神奈川県の大らかな自然を紹介する映像で、招待者におもてなしの心を表します。

式典の進行は式典音楽隊がサポートします。



#### 式典アトラクション ～森から人へ～

人間の一生と木との関わりをサインマ임（手話を取り入れたパントマ임）とナレーション、映像で表します。

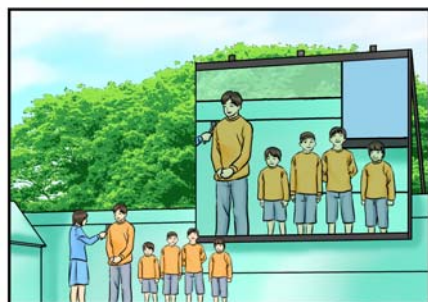
「使われ活かされる資材としての木」「人間の精神や文化の土壌となる木」など、木や森が人間の側にいつもあるということに、あらためて焦点を合わせ、再認識します。



#### 南足柄からのリレー ～神奈川の木と関わる人々～

「神奈川で、色々な人間と関わる木」を趣旨とし、林業・木材加工業に従事する名人や、森林NPOの活動等を紹介（映像紹介も含む）します。

森や木が育ててきた“技・魂、文化など”を見直します。秦野にバトンを渡すイメージの演出です。



## 2会場連携セレモニー ～過去から現在へ、現在から未来へ～

“森から人へ”と“人から森へ”のシーンをつなぐと同時に、過去～現在～未来と時間的につなぐイメージを演出します。

始まりは、愛林日植樹の様子など森づくりの歴史を映像で紹介します。

続いて、平成6年4月に埋めたタイムカプセルを開封し、両会場で代表者のメッセージを紹介した後、未来に向けたタイムカプセルに、新しいメッセージを入れます。



## 式典会場【秦野会場】...「森を育む あなたの手」

### プロローグ ～ようこそ都市と融和する神奈川の森へ～

地元芸能団体と式典音楽隊の演奏で招待者をおもてなしし、神奈川県歴史・文化・伝統を紹介する映像で、フロンティア精神溢れる神奈川県を知っていただきます。

表彰、お手播き等式典中の演奏は、式典音楽隊により厳粛かつ明るい雰囲気でおこないます。



### 式典アトラクション ～人から森へ Clap Your Hands～

ダンスパフォーマンスとアニメーション映像で、「未来につなぐ森づくりーかながわ森林再生50年構想ー」のメッセージとします。

パフォーマンスと映像内容がリンクしながら、森を育む手を象徴する手拍子に合わせ、50年構想が目指す森が実現していく様子を表します。

ダンスは、子どもたちが主体で未来への展望を表現します。そして最後に、「未来は僕たちに任せて！」と子どもたちが宣言します。



### エピローグ ～神奈川ラプソディ～

神奈川県ゆかりのアーティストを中心に、子どもたちが参加するコンサートで始まります。

フィナーレは、両会場（中継）にいる全員（スタッフ・関係者も含む）が参加する8,000人を超える大合唱「神奈川ラプソディ」で盛り上がった中で幕を閉じます。



## 4 式典進行計画

## (1) 進行スケジュール

## ①お手植え会場（南足柄会場）

お手植え会場(南足柄会場)								
時間	所要時間	プログラム	登壇者	出演者	音楽		映像	
					演奏	曲目		
<b>■招待者入場</b>								
		招待者入場			BGM CD		パワーポイント	
9:40		両会場招待者到着						
<b>■プロローグ</b>								
10:20	3	プロローグ説明					LIVE	
10:23	8	プロローグアトラクション ～ようこそやさしさあふれる神奈川の森へ～			式典音楽隊		神奈川紹介映像	
10:31	6	感謝状贈呈	贈呈:神奈川県知事 受贈:各受賞者				LIVE	
10:37	2	記念切手贈呈	贈呈:郵便事業株式会社 代表取締役社長 受贈:神奈川県知事				LIVE	
10:39	6	お手植え行事ご案内						
<b>■式典 お手植え</b>								
10:45	4	天皇后両陛下 御着	御先導:神奈川県知事 お出迎え:大会会長 :国土緑化推進機構理事長		式典音楽隊	ファンファーレ①	LIVE	
10:49	1	開会のことば	国土緑化推進機構副理事長		式典音楽隊	ファンファーレ②	LIVE	
10:50	2	苗木の贈呈	受贈:農林水産大臣 :環境大臣	贈呈:緑の少年団	式典音楽隊		LIVE	
10:52	8	天皇后両陛下 お手植え	御先導:国土緑化推進機構理事長 :神奈川県知事	介添え:緑の少年団	式典音楽隊		LIVE	
		代表者記念植樹	県内外特別招待者	介添え:緑の少年団				
11:00	6	アトラクション「森が育む あなたの心」		ろう者劇団・地元の子 どもたち他			LIVE	
11:06	4	天皇后両陛下 御発	御先導:神奈川県知事 お見送り:大会会長 :国土緑化推進機構理事長		式典音楽隊		LIVE	
<b>■南足柄から秦野へ(リレー)</b>								
11:10	3	リレーアトラクション案内			BGM CD			
11:13	7	リレーアトラクション		林業・木材加工の匠 たち他			LIVE	
<b>■2会場連携セレモニー(2会場中継)</b>								
11:20	25	タイムカプセル「過去からの手紙」紹介 「未来への手紙」のメッセージ作り			BGM CD		LIVE	
<b>■中継(式典会場→お手植え会場)</b>								
11:45	60	式典会場から映像中継						
12:45	20	エピソード(2会場中継)		全出演者+全参加者			LIVE	
<b>■招待者退場</b>								
13:05		招待者退場			CD		パワーポイント	



## ②式典会場（秦野会場）

式典会場（秦野会場）								
時間	所要時間	プログラム	登壇者	出演者	音楽		映像	
					演奏	曲目		
<b>■招待者入場</b>								
		招待者入場			CD		パワーポイント	
<b>■中継（お手植え会場→式典会場）</b>								
10:20	60	お手植え会場から映像中継						
<b>■2会場連携セレモニー（2会場中継）</b>								
11:20	25	タイムカプセル「過去からの手紙」紹介 「未来への手紙」のメッセージ作り			BGM CD		LIVE	
<b>■プロローグ</b>								
11:45	4	プロローグ説明					LIVE	
11:49	16	プロローグアトラクション ～ようこそ都市と融和する神奈川の森へ～						
12:05	5	式典のご案内						
<b>■記念式典</b>								
12:10	4	天皇皇后両陛下 御着	御先導：神奈川県知事 お出迎え：大会会長 ：国土緑化推進機構理事長		ファンファーレ隊 式典音楽隊	ファンファーレ①	LIVE	
12:14	2	三旗掲揚（国歌斉唱）		掲揚：緑の少年団 ：ボーイスカウト ：ガールスカウト	式典音楽隊	君が代	LIVE	
12:16	5	主催者あいさつ	大会会長 神奈川県知事					
12:21	5	表彰 ①国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール ②緑化功労 ③全日本学校関係緑化コンクール ④神奈川県緑化功労	表彰：大会会長 ：農林水産大臣 ：文部科学大臣 ：神奈川県知事	受賞：代表受賞者① ：代表受賞者② ：代表受賞者③ ：代表受賞者④	式典音楽隊		LIVE+ パワーポイント	
12:26	4	天皇皇后両陛下 お手播き	御先導：国土緑化推進機構理事長 ：神奈川県知事	介添え：緑の少年団	式典音楽隊		LIVE	
12:30	6	アトラクション 「森を育む あなたの手」		地元の子どもたち他	映像内BGM		LIVE+VTR 山本二三作 アニメーション	
12:36	1	大会宣言	国土緑化推進機構理事長		ファンファーレ隊	ファンファーレ②	LIVE	
12:37	3	リレーセレモニー	神奈川県知事 和歌山県知事	緑の少年団	CD	未定	LIVE+VTR	
12:40	1	閉会のことば	神奈川県議会議長		ファンファーレ隊	ファンファーレ③	LIVE	
12:41	4	天皇皇后両陛下 御発	御先導：神奈川県知事 お見送り：大会会長 ：国土緑化推進機構理事長		式典音楽隊		LIVE	
<b>■エピローグ</b>								
12:45	2	エピローグアトラクション 案内					LIVE	
12:47	18	エピローグアトラクション（2会場中継） 「神奈川ラプソディ」		全出演者＋全参加者			LIVE	
<b>■招待者退場</b>								
13:05		招待者退場			CD		パワーポイント	

## (2) 映像・音響システム

### ①映像

- ・お野立所横に、会場規模に合わせた大型映像装置を設置します。  
お手植え会場（南足柄会場）：227インチ  
式典会場（秦野会場）：395インチ
- ・記念式典やアトラクションのL I V E映像、事前に制作したV T R、アニメーションを上映し、招待者がサービス広場等においても式典の状況が確認できる環境とし、式典の演出効果を高めます。
- ・特別招待者席にはモニターを設置します。
- ・地元テレビ局（t v k）にて生放送で、式典の様子を中継し、家庭においても式典の様子が見られるようにします。

### ②音響

- ・両会場の特性を考慮し、演出内容にふさわしい音響効果が得られるよう、適切な場所にスピーカーを配置します。
- ・特別招待者の両サイドにはメインスピーカーを設置するとともに、どこでもナレーション、挨拶、音楽などが適切な音量で聞き取れるよう、各所にサブスピーカーを設置します。
- ・式典運営上の支障をきたさないために、実施本部、出演者控え所エリアにも補助のスピーカーを設置します。
- ・マイクは風、電気系統トラブルにも対応できるよう考慮し、また質の高い音を再現します。

## 1 基本的な考え方

- 植樹行事の実施にあたっては、「かながわ森林再生50年構想」に示した森づくりの方向と、植樹会場の地域特性を考慮し、「広葉樹林の再生」、「人工林から混交林への転換」及び「人工林の再生」を目指した森づくりを行います。
- 全国植樹祭を、県民との協働による森林づくり活動の拡大につなげていく契機とするため、苗木の育成や植樹行事への協力などに、多くの県民が参加できるようにします。
- また、植樹祭当日の参加人数は制約されることから、サテライト会場などで植樹行事を企画することとします。
- 植樹行事に使用する樹種は、本県の自然条件にあった在来のもので県民に親しみのあるものなどを選定しました。
- 植樹行事には、県内で種子等を採取して育成した苗木を用いることとし、優良苗木の育成に取り組んでいる生産者のものをはじめ、障害者福祉施設で養成したもの、「苗木のホームステイ」により子どもたちが育てたものも使用します。

### ■記念植樹内容一覧




会場	位置	内容		面積	本数等
お手植え会場	お手植え所	お手植え	天皇皇后両陛下	—	6本
式典会場	お手播き所	お手播き		—	4種
お手植え会場	音楽隊席前	代表者記念植樹	招待者の代表	—	15~20本 (15~20人)
足柄森林公園丸太の森地区 植樹会場		招待者記念植樹 (午前植樹)		0.5ha	980本 (980人)
		招待者記念植樹 (午後植樹)			1,000本 (1,000人)
秦野戸川公園地区 植樹会場		招待者記念植樹 (午前植樹)		1.2ha	3,500本 (3,500人)

注) 代表者記念植樹の本数等の詳細は、今後実施マニュアルにおいて定めます。




## 2 お手植え計画

- 天皇皇后両陛下のお手植えは、足柄森林公園丸太の森地区のお手植え会場で、「森」の字をかたどり、それぞれ3本の植樹とします。
- お手植えされた樹木は、森づくりに対する県民運動のシンボルとして大切に管理、育成していきます。

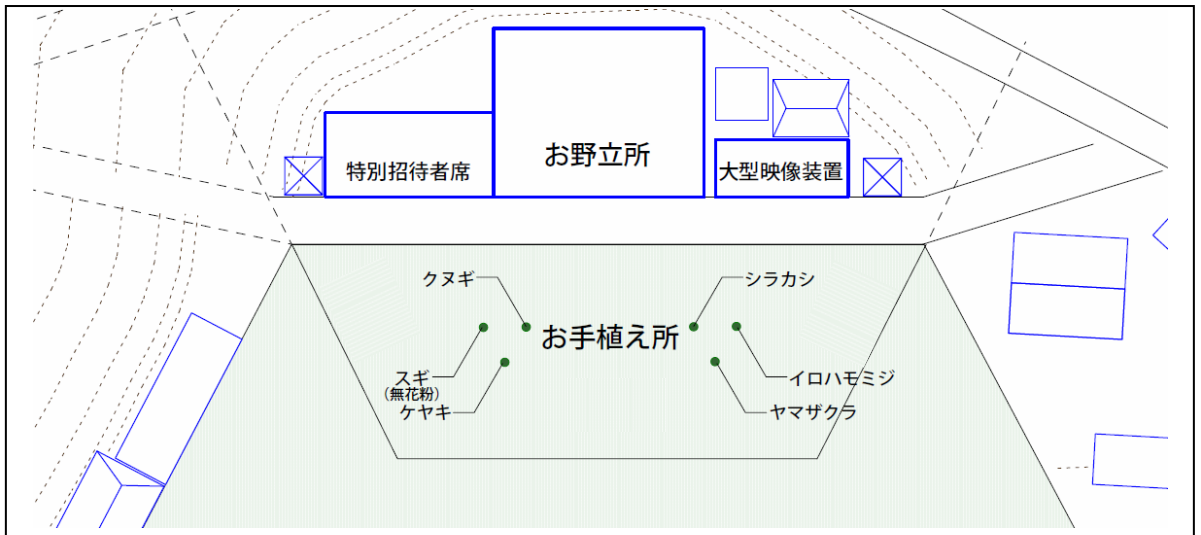
### ■天皇陛下お手植え樹種（3種）

樹種名	特徴・選定理由等	
① ケヤキ	<b>県内の自然林を代表する落葉広葉樹 自然林再生の代表樹種</b> 丹沢、箱根の自然林をはじめ、県内に広く自生する落葉広葉樹で、扇状に枝を張り、円形に広がる樹形が美しく、また、剪定によく耐えることなどから、公園樹、街路樹などにも用いられる。 材は木目が美しく、狂いが少なく、湿気にも強いことから、社寺建築、家具、漆器など広い用途に用いられる。	
② スギ（無花粉）	<b>木材資源を循環利用し、林業を再生するシンボル 花粉発生源対策のシンボル</b> 県内の精英樹（形質、性質が優れた樹木）の家系から、本県の研究により、平成16年に県内で初めて見出された、花粉を出さないスギで、花粉の発生を抑制しながら伐る・植える・育てるを繰り返して森林の循環的・持続的な活用を図ることができ、林業を再生するうえで大きな期待がよせられており、苗木を量産化するための試験が進められている。	
③ クヌギ	<b>「ドングリ」の木として親しまれている落葉広葉樹 里山林再生の代表樹種</b> 人里周辺のかつて薪炭林として利用された里山などにみられる落葉広葉樹で、夏には樹液にカブトムシやクワガタが集まり、秋には直径約2cmの大きなドングリをつけ、季節ごとに子どもたちが森林に親しむきっかけを演出する。 切株から萌芽（ひこばえ）するが、老木になるにつれ、その能力は失われる。	

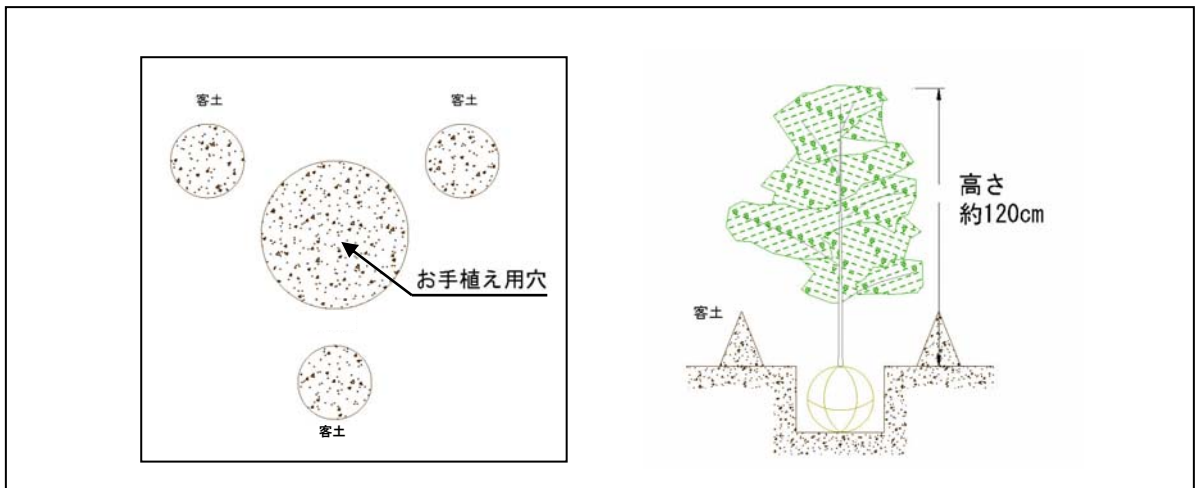
### ■皇后陛下お手植え樹種（3種）

樹種名	特徴・選定理由等	
① ヤマザクラ	<b>県内に広く自生する落葉広葉樹で、春の花が美しい 里山林再生の代表樹種</b> 丹沢山地の上部を除き、山地部から市街地近郊の樹林地まで県内に広く自生する、野生の桜の代表的な樹種で、4月上旬から中旬には白又は淡紅白色の花と紅色の若葉を同時につけ、また、秋には鮮やかに紅葉し、古くから人々に親しまれ、詩歌や小説などにも数多く登場する。桜は、菊と並び日本の国花とされている。	
② イロハモミジ	<b>県内に広く自生する落葉広葉樹で、紅葉が美しい 溪畔林再生の代表樹種</b> 溪流沿いの適湿地をはじめ、県内の山地部や丘陵部に広く自生する、紅葉する野生のモミジの代表的な樹種で、秋、黄色を経て赤紅濃色に至る紅葉が鮮やかであり、鑑賞樹として公園樹、庭木、盆栽などにも用いられている。	
③ シラカシ	<b>県内に広く自生する、在来の植生を代表する常緑広葉樹</b> 丹沢、箱根山地の上部を除き、県内に広く自生する常緑広葉樹で、剪定によく耐え、枝葉がうっそうと茂り、夏の強い日差しや強風を遮ることから、公園樹、街路樹、生垣などにも利用され、県民に広く親しまれている。 シラカシの名は、材が白いことに由来する。	

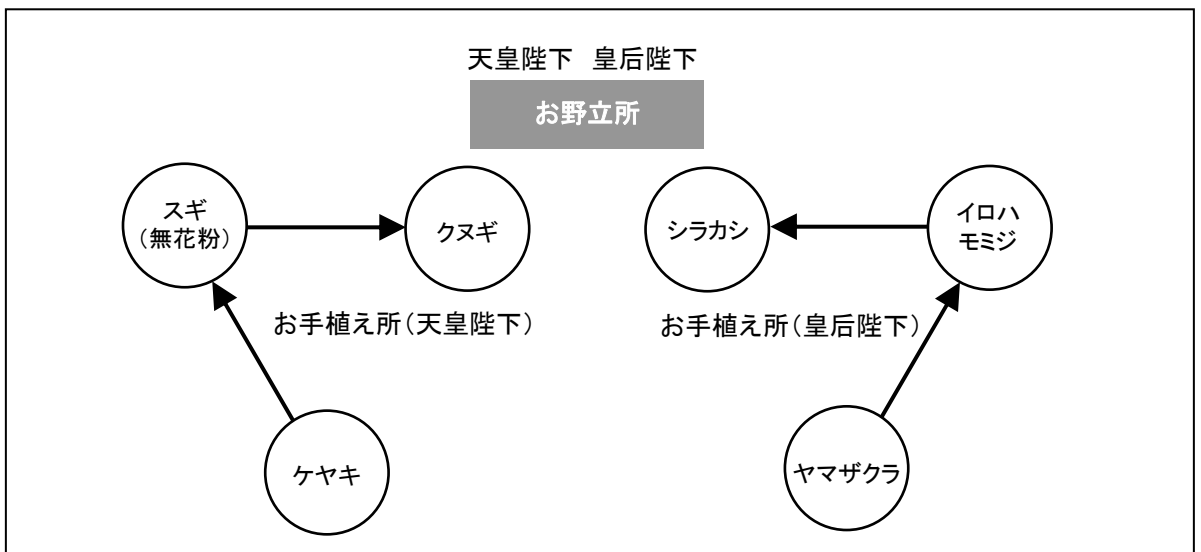
■ お手植え所配置図



■ お手植え標準図





■ お手植え樹種配置





### 3 お手播き計画

- 天皇皇后両陛下のお手播きは、秦野戸川公園地区の式典会場でお手播き箱へ、それぞれ2種類の播種とします。
- お手播きされた種子は、県が管理・育成して苗木に仕立て、県内の公共施設などに「記念樹」として配布するほか、森林再生のための植樹活動などに活用します。

#### ■天皇陛下お手播き樹種（2種）

樹種名	特徴・選定理由等	
① ブナ	<p><b>丹沢の自然林を代表する落葉広葉樹</b> <b>丹沢再生のシンボル</b></p> <p>丹沢、箱根、小仏山地の上部（およそ標高800m以上）に自生し、林冠を優占して極相林を形成する、県内の冷温帯の自然林を象徴する落葉広葉樹である。 種子は食用となり、数年に一度広範囲で同時に豊作になる。 県内のブナは、日本海側のブナと比べると葉が小さく、コハブナとも呼ばれる。</p>	
② スタジイ	<p><b>県内の在来植生を代表する常緑広葉樹</b></p> <p>丹沢、箱根、小仏山地を除く県内各地に自生し、樹齢数百年を越える大木も見られる常緑広葉樹で、公園樹などにも利用される。 堅果はシイの実と呼ばれ、アクがなく食べられるが、その成熟には1年以上の期間を要し、開花の翌年の秋に結実する。</p>	

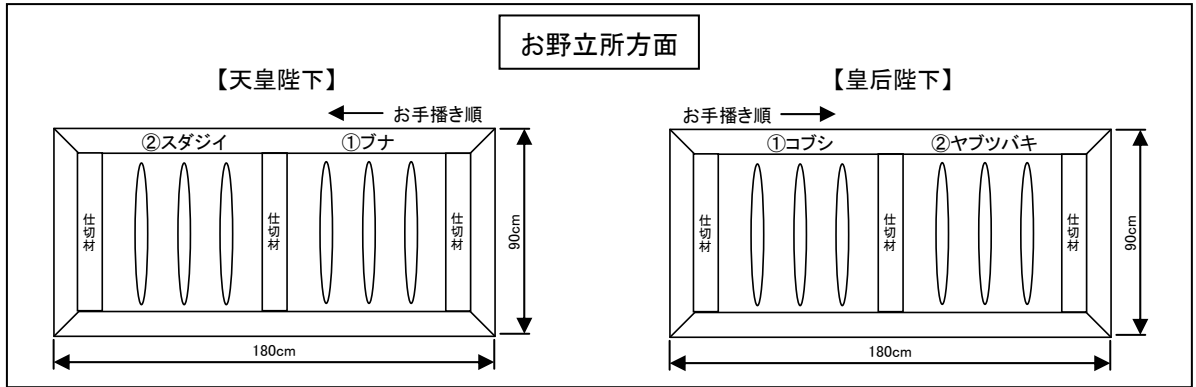
#### ■皇后陛下お手播き樹種（2種）

樹種名	特徴・選定理由等	
① コブシ	<p><b>県内に自生する落葉広葉樹で、早春の白い花が美しい</b> <b>里山林再生の代表樹種</b></p> <p>県内の山地部や丘陵部に広く自生する落葉広葉樹で、4月には葉を開く前に直径6cmから10cmの芳香のある白色の花をつけて春の訪れを感じさせ、秋にはコブシ状の果実から赤色の種子を白い糸で吊り下げて目を楽しませてくれる。</p>	
② ヤブツバキ	<p><b>県内に自生する赤い花が美しい常緑広葉樹</b> <b>県内の在来植生を代表する樹種</b></p> <p>シイ類やカシ類と共に県内に広く自生し、暖温帯の自然林を象徴する常緑広葉樹で、12月から3月にかけて直径5cmほどの赤い花をつけ、筒状になった黄色い雄しべの奥の蜜を吸いにメジロなどが訪れる。 鑑賞樹として公園樹、庭木、盆栽などに利用されるほか、種子からは椿油が採れる。</p>	

#### ■お手播き所配置図



■ お手播き樹種配置（お手播き箱内の配置）



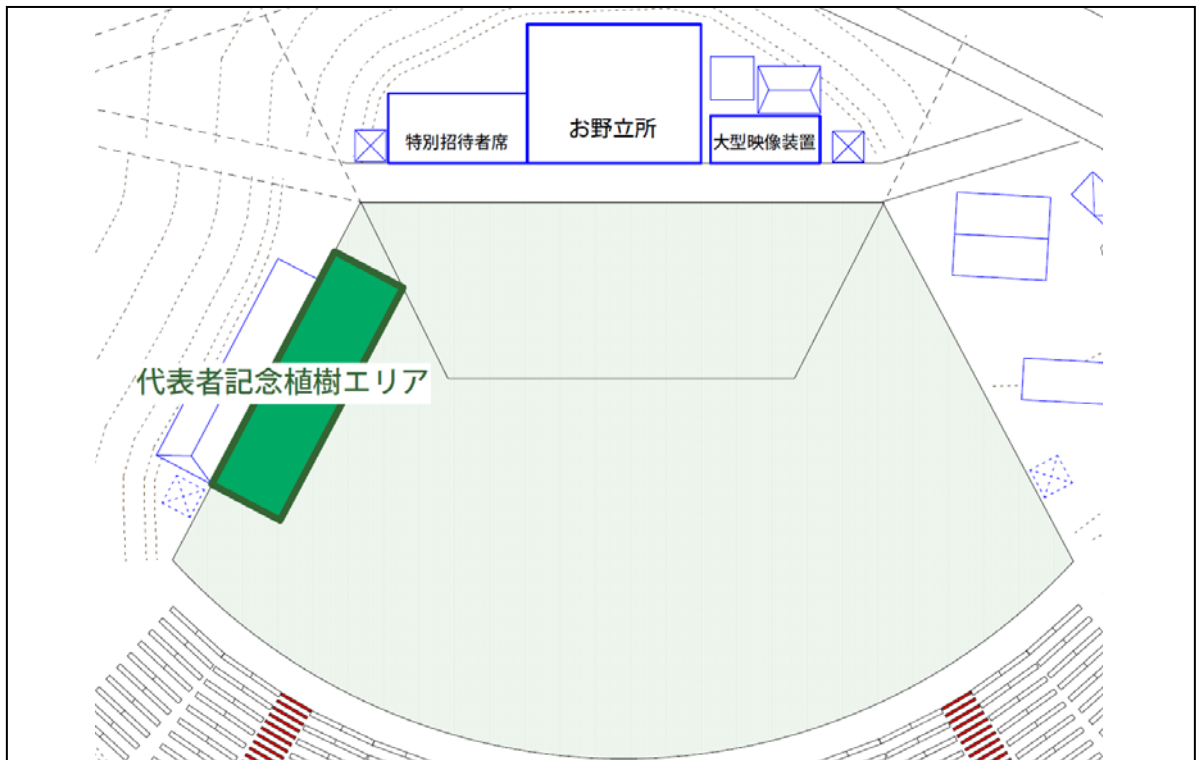
4 代表者記念植樹計画

- 代表者記念植樹は、足柄森林公園丸太の森地区で、天皇皇后両陛下の2本目のお手植えと同時に、代表者それぞれが1本の植樹を行います。
- 代表者記念植樹に用いる樹種は、天皇皇后両陛下のお手植えと同じものとします。

■ 代表者記念植樹樹種（6種）

樹種名	特徴・選定理由等
ケヤキ、スギ（無花粉）、クヌギ ヤマザクラ、イロハモミジ、シラカシ	（お手植え樹種の特徴・選定理由等と同じ）

■ 代表者記念植樹配置図



## 5 招待者記念植樹計画

- 招待者記念植樹は、足柄森林公園丸太の森地区及び秦野戸川公園地区それぞれに設けられた植樹会場で、一人1本以上を植樹します。
- 記念植樹による森づくりは、「広葉樹林の再生」、「人工林から混交林への転換」及び「人工林の再生」を目指すものとし、未来の森の姿をイメージしながら植樹します。
- 植樹地は、スギ・ヒノキの人工林内に小面積の伐採を行って設けます。各植樹地に、自然条件や周辺環境の状況などに応じた未来の森の姿を設定して、その姿にふさわしい樹種を植栽します。

### ■森づくりの方向と未来の森の姿

森づくりの方向	未来の森の姿
広葉樹林の再生	<b>森の恵み豊かな落葉広葉樹林</b> クヌギ、コナラを主体とする里山の落葉広葉樹林
	<b>四季を通じてうっそうと茂る照葉樹林</b> 本県の低標高域の在来の樹種で構成される照葉樹林
人工林から混交林への転換	<b>多様な生き物が生息する針葉樹が混生する広葉樹林</b> 針葉樹と広葉樹が混生し、多様な樹種や階層からなる森林
人工林の再生	<b>森林循環を取り戻した持続可能な人工林</b> 伐る・植える・育てるを繰り返す、循環的・持続的に活用する森林 少花粉・無花粉の品種が導入され、花粉の発生が抑制される森林

### (1) 招待者記念植樹スケジュール

区分	グループ	植樹場所	内容
県外招待者①	午前植樹	足柄森林公園丸太の森地区	バスで足柄森林公園丸太の森地区の植樹会場に向かい、植樹した後、徒歩でお手植え会場へ移動する。
県内招待者①			
県内招待者②	午後植樹		秦野戸川公園地区の式典会場から、バスで足柄森林公園丸太の森地区の植樹会場へ向かい、植樹する。
県外招待者②	午前植樹	秦野戸川公園地区	バスで秦野戸川公園地区の植樹会場に向かい、植樹した後、徒歩で式典会場へ移動する。
県内招待者③			

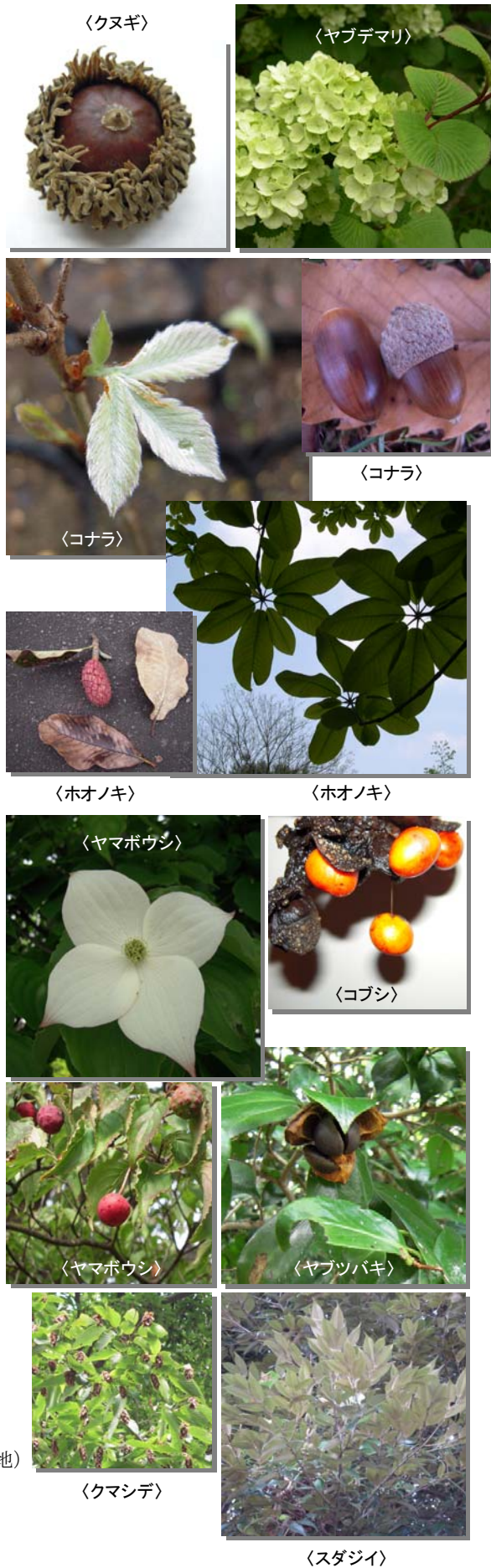
※ 招待者区分については、P45の「参加者行動表（植樹祭当日）」を参照。



(2) 招待者記念植樹苗木

使用樹種	足柄森林公園 丸太の森地区				秦野戸川公園 地区				
	里	照	山	水	里	照	山	水	人
アオダモ	○		○	○	○		○	○	
アオハダ	○		○		○		○		
アカガシ		○				○			
アラカシ						○			
イタヤカエデ			○	○			○	○	
イロハモミジ				○					○
キハダ				○					○
クヌギ	○				○				
クマシデ	○		○	○	○		○	○	
ケヤキ	○		○	○	○		○	○	
コブシ	○				○				
コナラ	○				○				
シラカシ		○				○			
スギ（無花粉）									○
スタジイ		○							
タブノキ		○				○			
ヒノキ（少花粉）									○
ホオノキ	○		○	○	○		○	○	
モミ			○				○		
ヤブツバキ		○				○			
ヤブデマリ	○				○				
ヤマザクラ	○		○		○		○		
ヤマボウシ	○		○		○		○		

- 〔里〕 森の恵み豊かな落葉広葉樹林
- 〔照〕 四季を通じてうっそうと茂る照葉樹林
- 〔山〕 多様な生き物が生息する針葉樹が混生する広葉樹林
- 〔水〕 多様な生き物が生息する針葉樹が混生する広葉樹林（湿潤地）
- 〔人〕 森林循環を取り戻した持続可能な人工林



(3) 足柄森林公園丸太の森地区



植樹会場（南足柄）イメージ図

(4) 秦野戸川公園地区



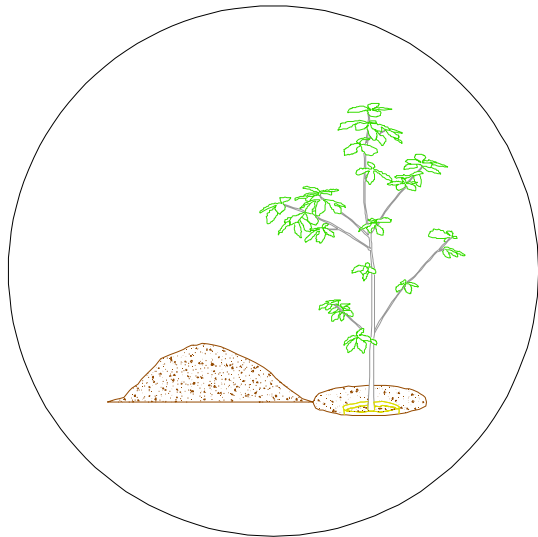
## (5) 植栽要領

事前に、直径30cm、深さ30cm程度の植穴に苗木を仮置きしておきます。

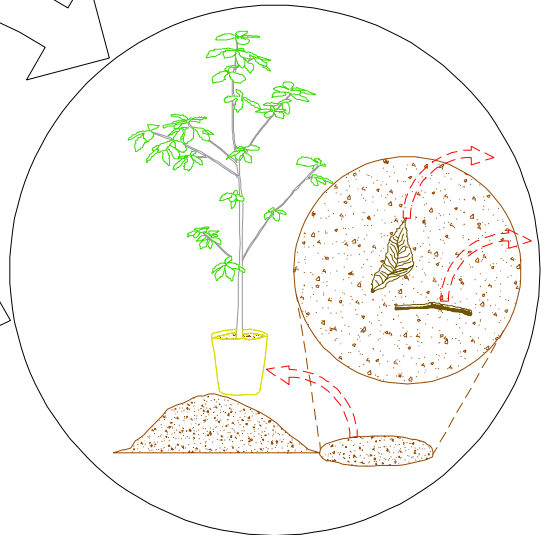
苗木を植穴から取り出し、穴底の枯葉や枯枝などを取り除きます。

苗木の生え際と地面の高さが揃うように、穴底に土を入れて、穴の深さを調整します。

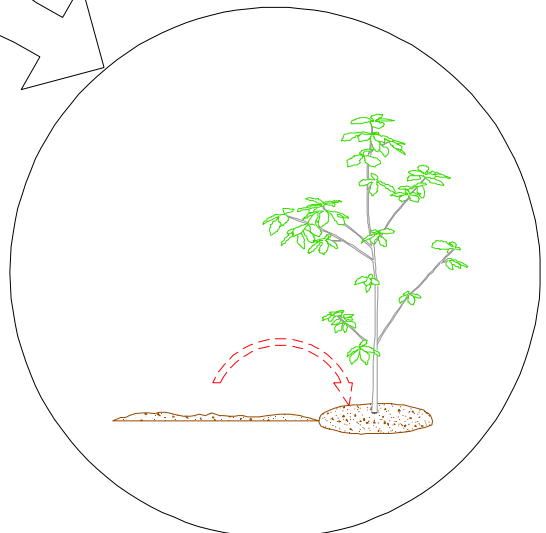
苗木をまっすぐに保持し、地面から少し盛り上がるまで植穴に土を入れ、足で軽く踏み固めます。



苗木を取り出します。  
穴のなかの枯葉や枯枝を取り除きます。



土を入れて穴の深さを調整します。



地面から少し盛り上がるまで土を入れます。  
苗木の周りの土を足で軽く踏み固めます。

## 1 基本的な考え方

会場の設営にあたっては、安全性・快適性、機能性、経済性に留意し計画します。また、現在の環境を活かし、できるだけ自然環境に負荷を与えないような整備計画とします。



安全性  
快適性

招待者・関係者などすべての人々が安全で快適に過ごせるよう会場を整備します。



機能性

諸行事が円滑に運営できるように、施設配置するとともに、招待者・関係者に快適な動線を整備します。



経済性

既存施設を有効活用し、リサイクル可能な製品を使用した経済的で環境に配慮した会場を整備します。

## 2 お手植え会場（南足柄会場）施設配置計画

お手植え会場は、箱根外輪山の北東に位置する森林地域にあり、約1,000人の招待者を収容できる施設を整備します。

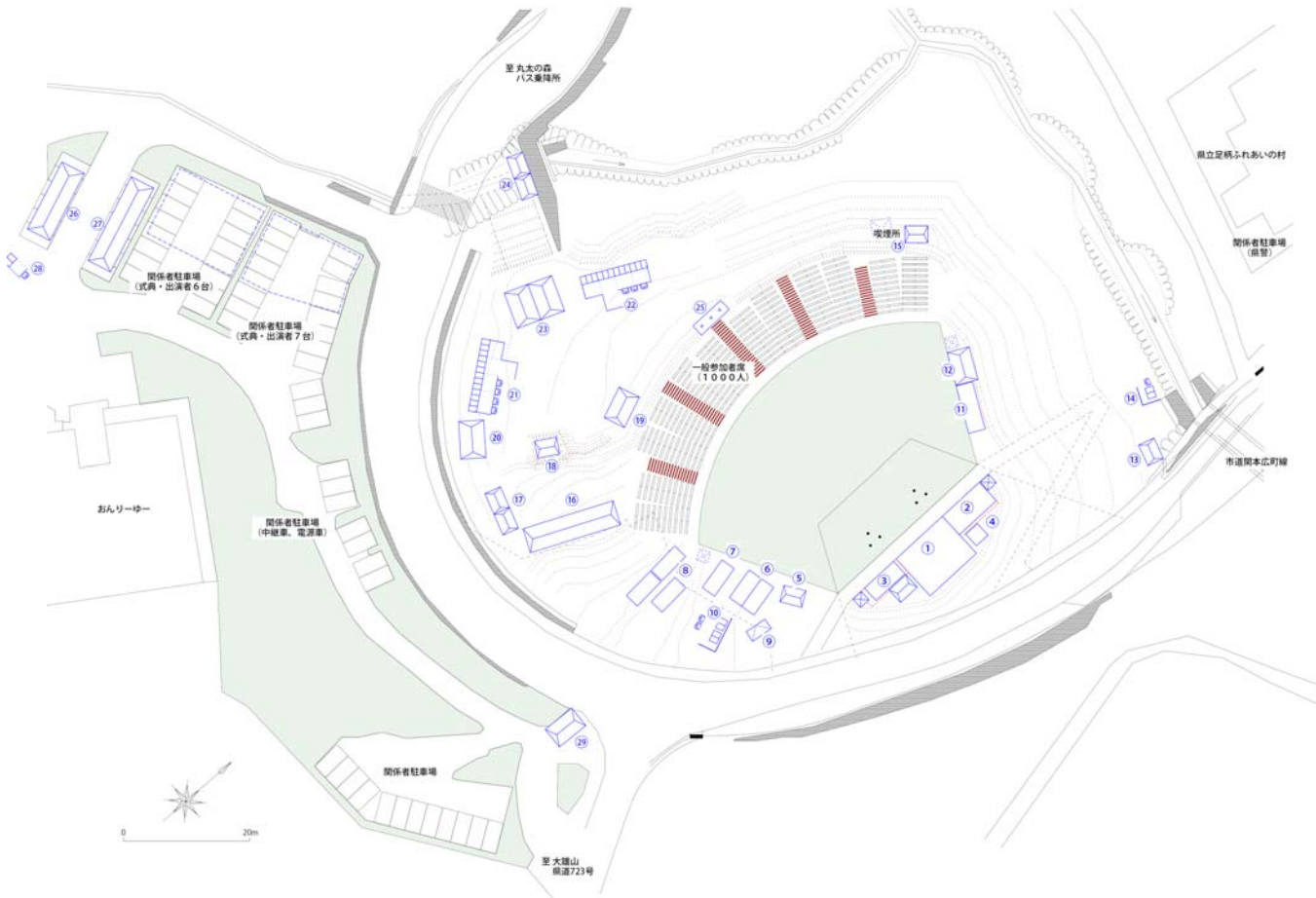
### (1) 会場周辺状況



### (2) お手植え会場イメージイラスト



(3) お手植え会場全体配置図

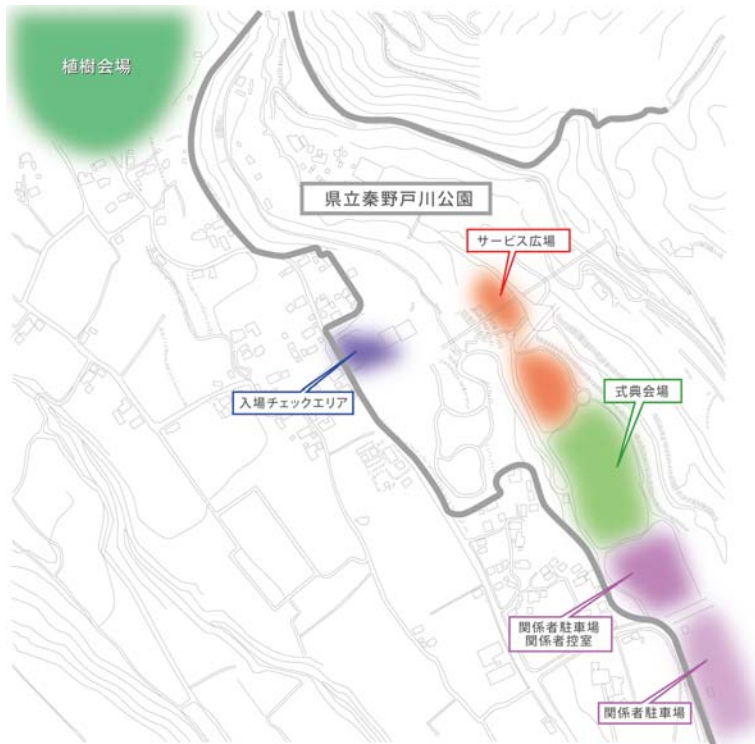


① お野立て所	⑪ 音楽隊席	⑳ 救護所
② 特別招待者席	⑫ 実施本部	㉑ 女子トイレ
③ 大型映像	⑬ 式典物品庫	㉒ 男子トイレ
④ 特別トイレ	⑭ 式典用トイレ	㉓ 入場チェックゲート
⑤ 供奉随従	⑮ 式典物品庫	㉔ 再発行受付所、手荷物預り所
⑥ 指令室、物品庫	⑯ 出演者控	㉕ 三旗掲揚台
⑦ 県警本部	⑰ 湯茶接待所	㉖ 出演者控所
⑧ 実施本部	⑱ 案内所	㉗ 出演者控所
⑨ SVIP受付	⑲ 式典チェックテント	㉘ 出演者トイレ
⑩ 関係者トイレ	㉚ 関係者控所	

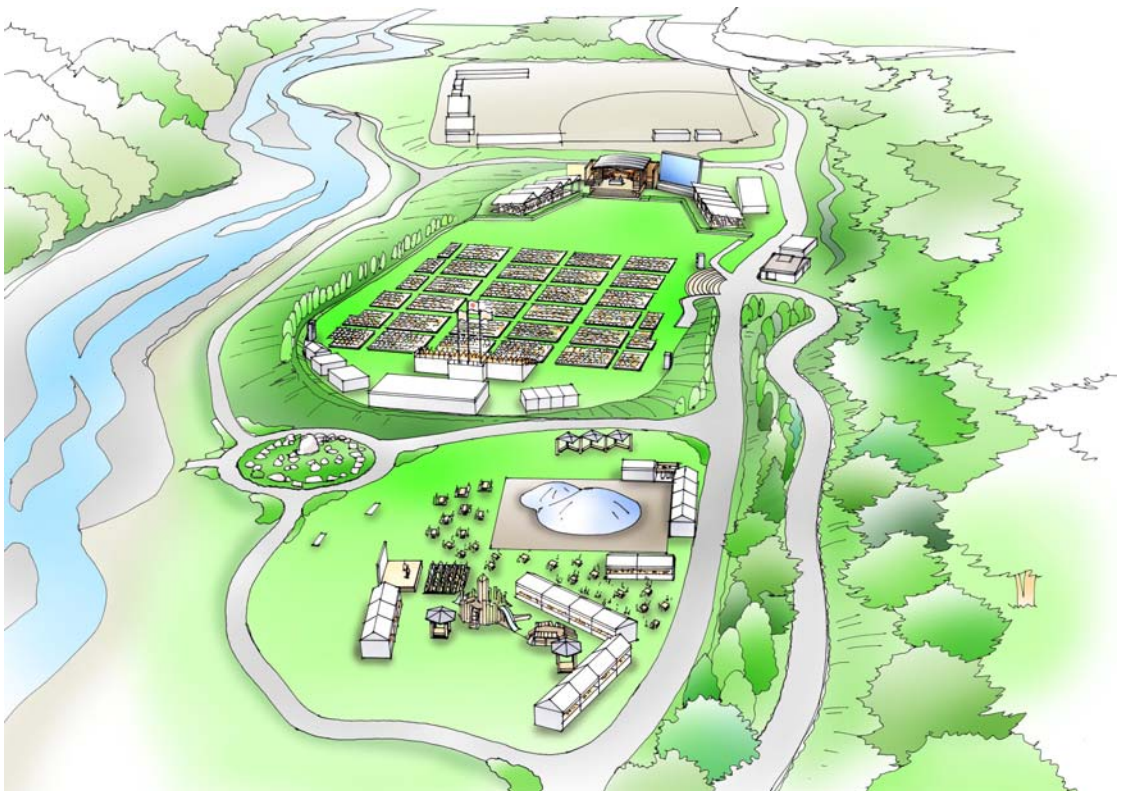
### 3 式典会場（秦野会場）施設配置計画

式典会場は、丹沢山地の南に位置し、丹沢の山々から流れる水無川みずなしがわの自然を活かした都市公園で、約4,500人の招待者を収容できる施設を整備します。

#### (1) 会場周辺状況

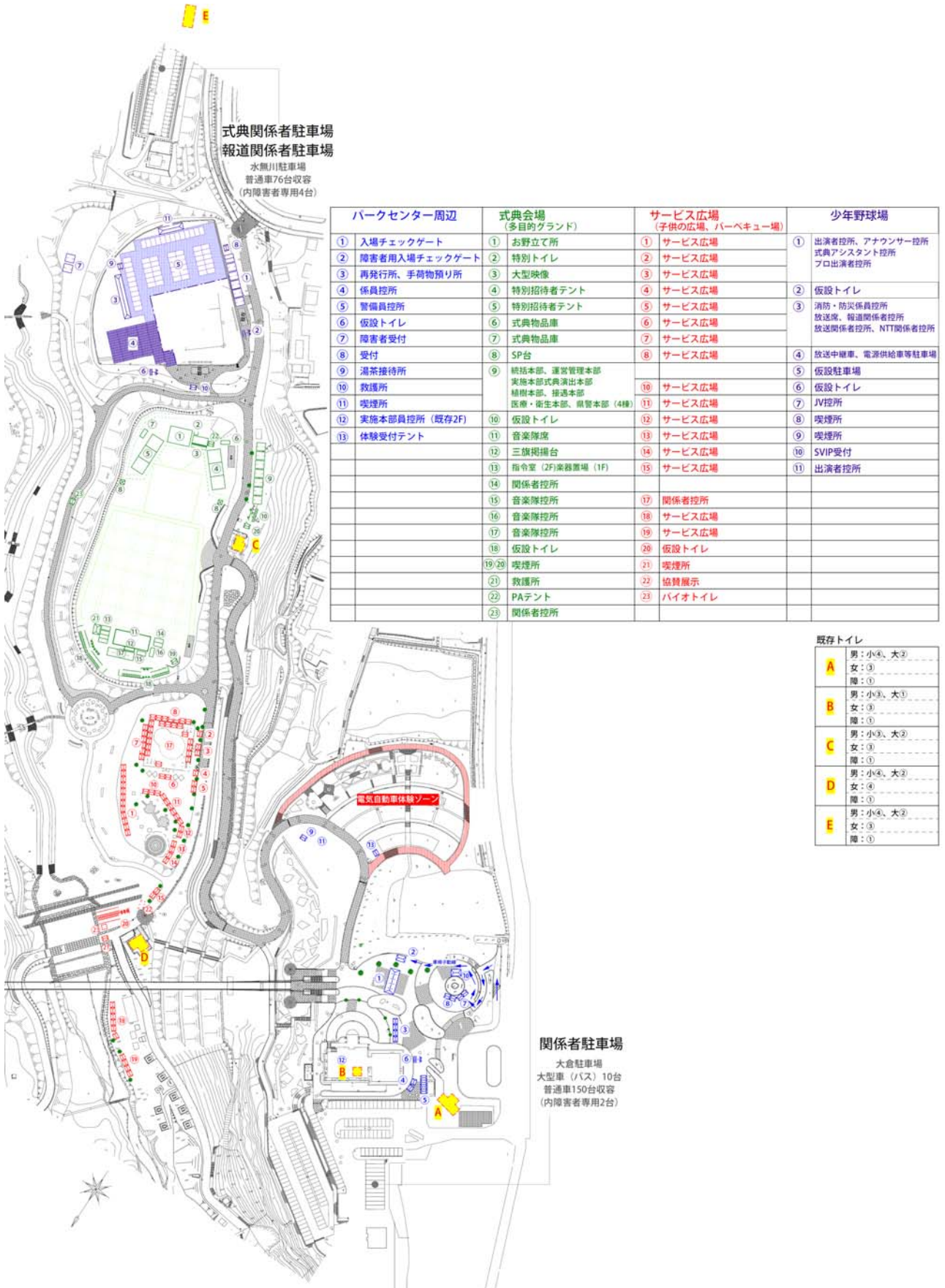


#### (2) 式典会場イメージイラスト





(3) 式典会場全体配置図



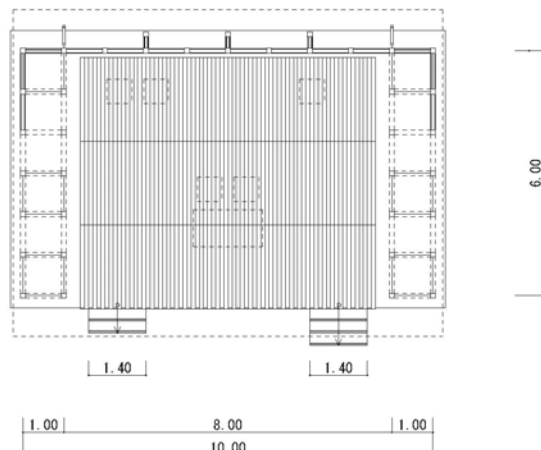
## 4 主要施設計画

### (1) お野立所

- お野立所は、県産木材を使って神奈川の地で培われてきた、職人やエンジニアたちのものづくり技術をシンボライズした形態・表現を目指します。
- 建物の造り方については、環境に配慮し、構造部材は木材・金物・仕上材料を含め極力工場加工した部材を現場に搬入し、機械的に組み立てを行い、現場での廃棄物発生抑制に努めます。
- お野立所の後方には「丹沢六木」と呼ばれるツガ、ケヤキ、モミ、スギ、カヤ、クリの六種類の木材を利用して屏風をつくり、ここでも神奈川らしさを表現します。

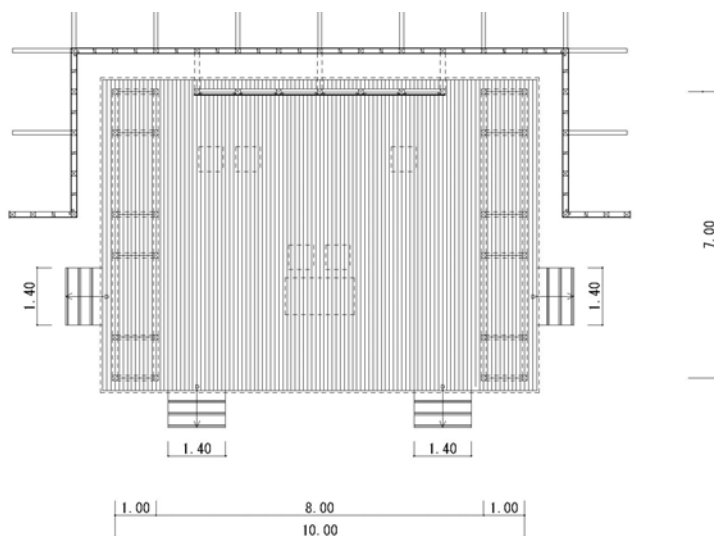
#### ①お手植え会場（南足柄会場）

うっそうとしたスギ林や上総川かずさがわのせせらぎ、田んぼや集落などが残る会場周辺の風景は、昔ながらののどかな里山を思わせます。この様な原風景に寄り添うような山小屋をイメージした勾配屋根を採用します。



#### ②式典会場（秦野会場）

水無川を中心とした都市公園としてのおおらかな環境を意識し、この地域のシンボルともなっている風の吊り橋からヒントを得て、風にはらんだ帆や浮遊するパラグライダーをイメージしたアーチ形状の屋根を採用します。



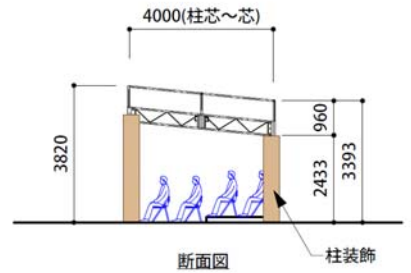
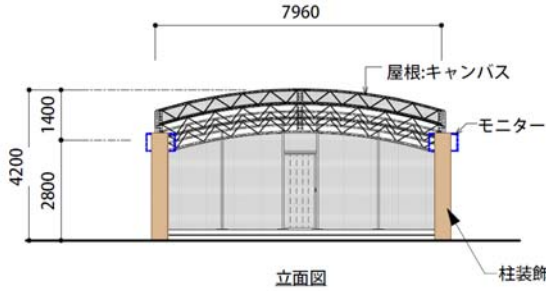
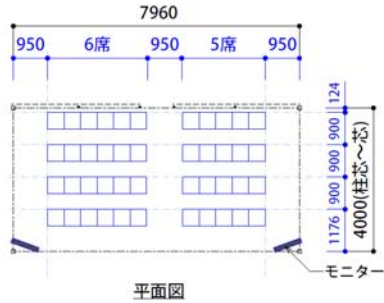
#### ※お野立所

天皇皇后両陛下の観覧のお席となる、全国植樹祭のシンボリックな施設です。

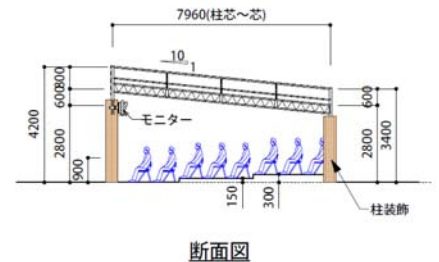
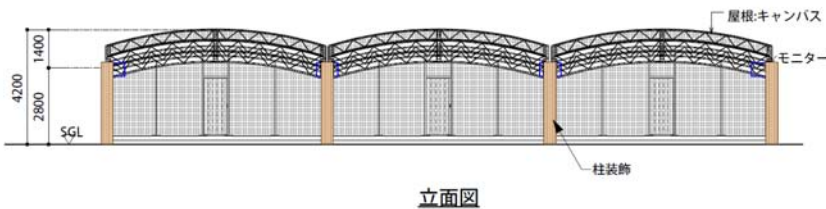
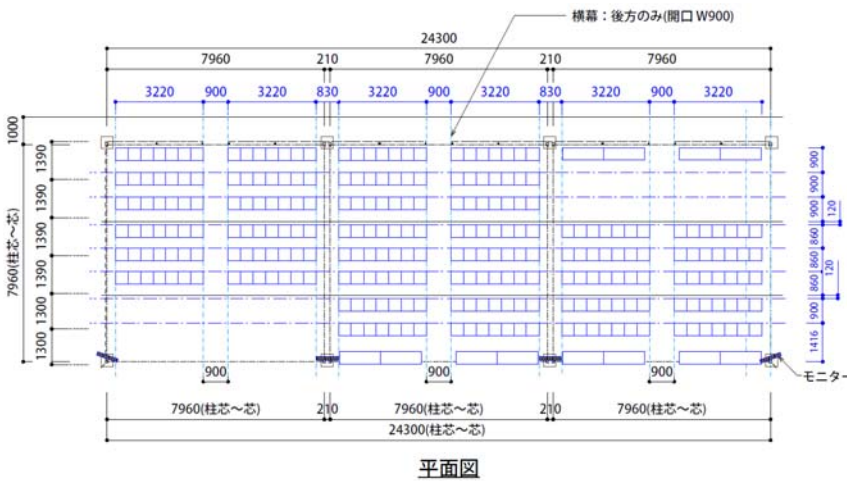
## (2) 特別招待者席

特別招待者席には、会場に合ったサイズのテントを設置します。

### ①お手植え会場（南足柄会場）



### ②式典会場（秦野会場）



### (3) 一般招待者席

一般招待者席は、会場の森林整備等で生じた伐採木のスギ・ヒノキ材を使用した木製ベンチを設置します。



### (4) 音楽隊席

会場の状況に合わせた音楽隊席を設置します。

### (5) 大型映像装置

お野立所横に、会場規模に合わせた大型映像装置を設置します。

①お手植え会場（南足柄会場）： 227インチ

②式典会場（秦野会場）： 395インチ

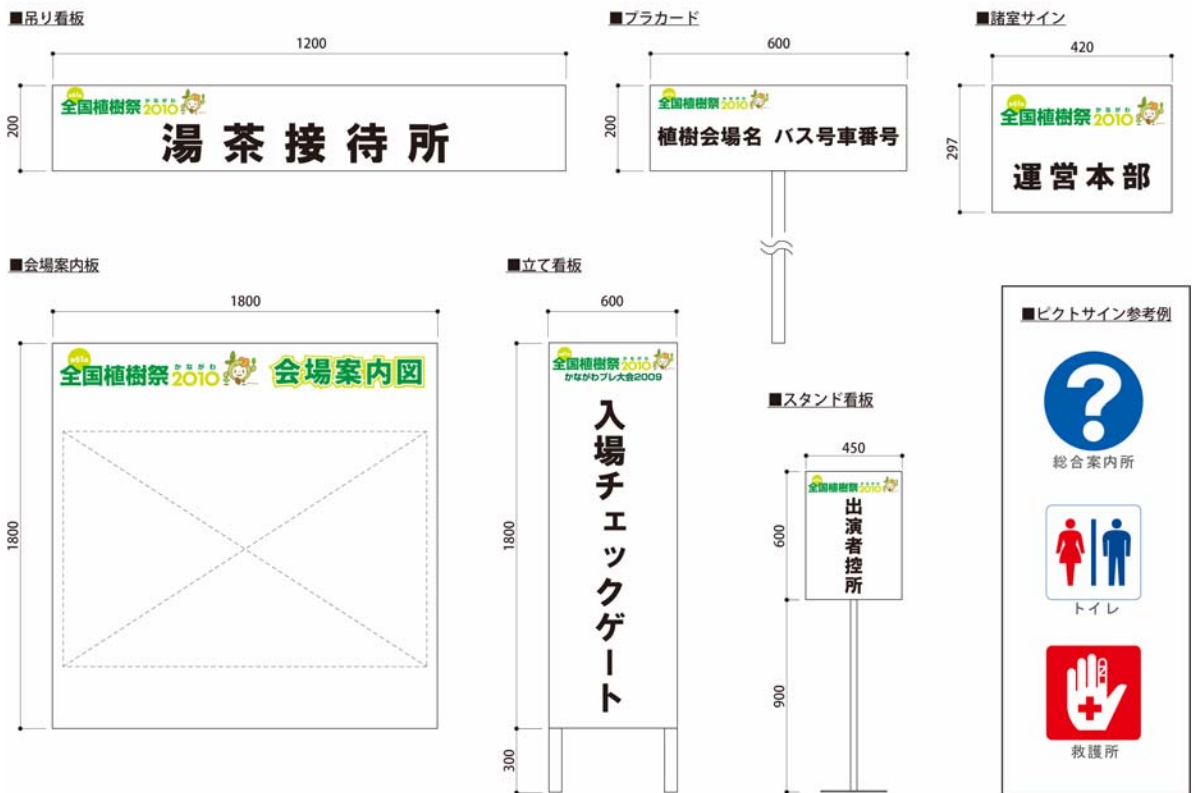
## 5 サイン計画

- 招待者が安全かつスムーズに式典・植樹行事に参加することができ、移動に支障がないように案内サインを設置します。
- サインの設置にあたっては、ユニバーサルデザインに留意し、見やすい色彩、大きさのサインとし、見やすい位置、高さに設置します。またピクトサイン（絵文字）を使用する等、招待者が一目で分かるようなサインの設置に努めます。

### (1) サイン概要

設置区域	サイン	内 容
会場全体	施設表示	トイレ、サービス広場、バス乗降所、実施本部等、施設ごとに名称を表示
	誘導	招待者等を各施設へスムーズに誘導するサインを、動線上に設置
	注意事項等	遵守事項（持ち込み禁止物品、禁止事項等）、手荷物検査の協力要請事項等を、招待者動線上に設置
お手植え・式典会場	座席表示	両会場招待者は各席に座席表を貼付 特別招待者席入り口に座席配置表を設置 一般招待者はバス号車単位で座席を表示
	会場位置	主要エリアごとに会場内の現在位置を表示
植樹会場	植樹地誘導	植樹地へ誘導するサインを招待者動線上に設置
	植樹位置	植樹位置を表示
輸送バス	プラカード	添乗員が招待者を誘導する際に使用するプラカード
バスルート	交通誘導サイン	式典会場、植樹会場、調整地などへの進行方向、位置を表示

### (2) サインデザイン



## 6 電気・給排水・通信設備計画

### (1) 電気設備計画

- 会場内で使用する電源は、商用電源を引き込む他、仮設電源（ジェネレーター等）で対応します。
- 太陽光発電による電源を一部利用するなど、環境に配慮した運営に努めます。
- 映像・音響等に関する部分については、事故、故障等の事態に備え、バックアップ機能を備えた電源車又は発電機で配電します。
- 電源から各供給エリアへの配線は、地上ころがし配線を基本とします。  
なお、人及び車両等の主動線部分については、埋設配管及び養生材による保護を行います。

### (2) 給排水計画

水は外部から給水し、排水は回収して外部にて適正に処理します。

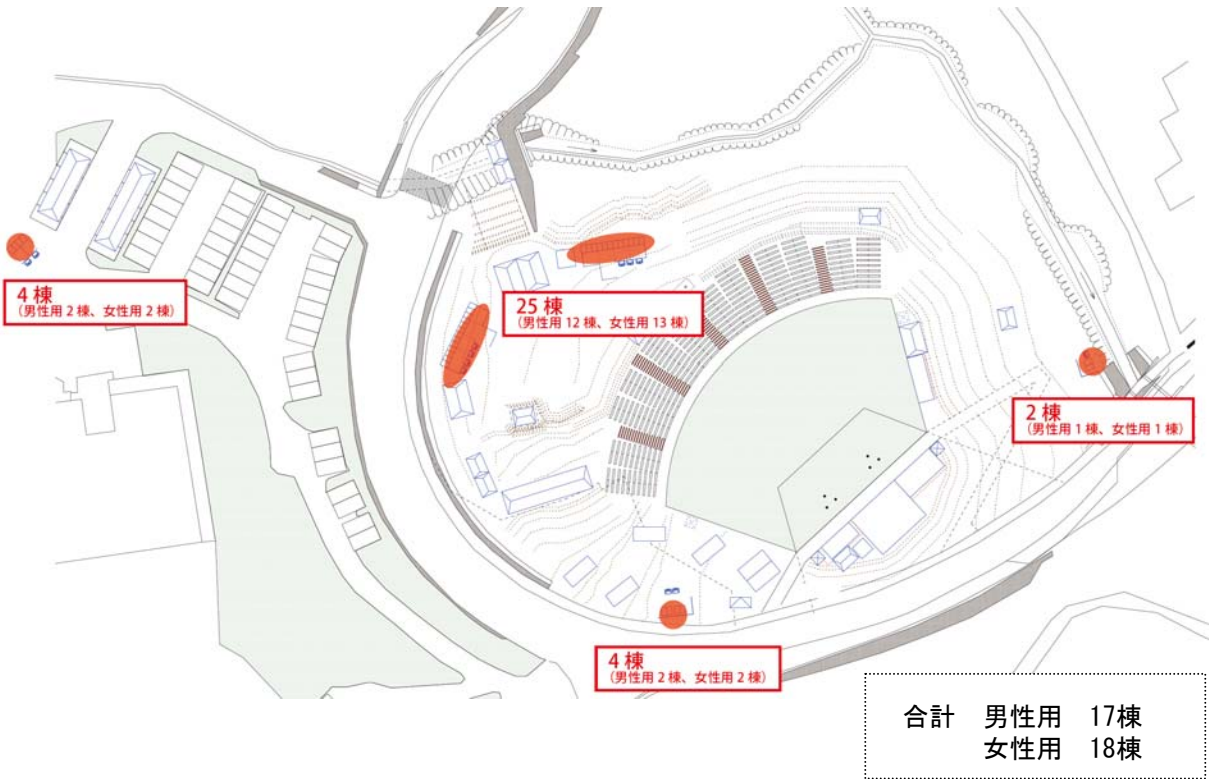
### (3) 通信設備計画

運営を円滑に行うため、会場の実施本部等に臨時電話を設置するほか、携帯電話、トランシーバーなどの無線通信機器を適正に配置します。

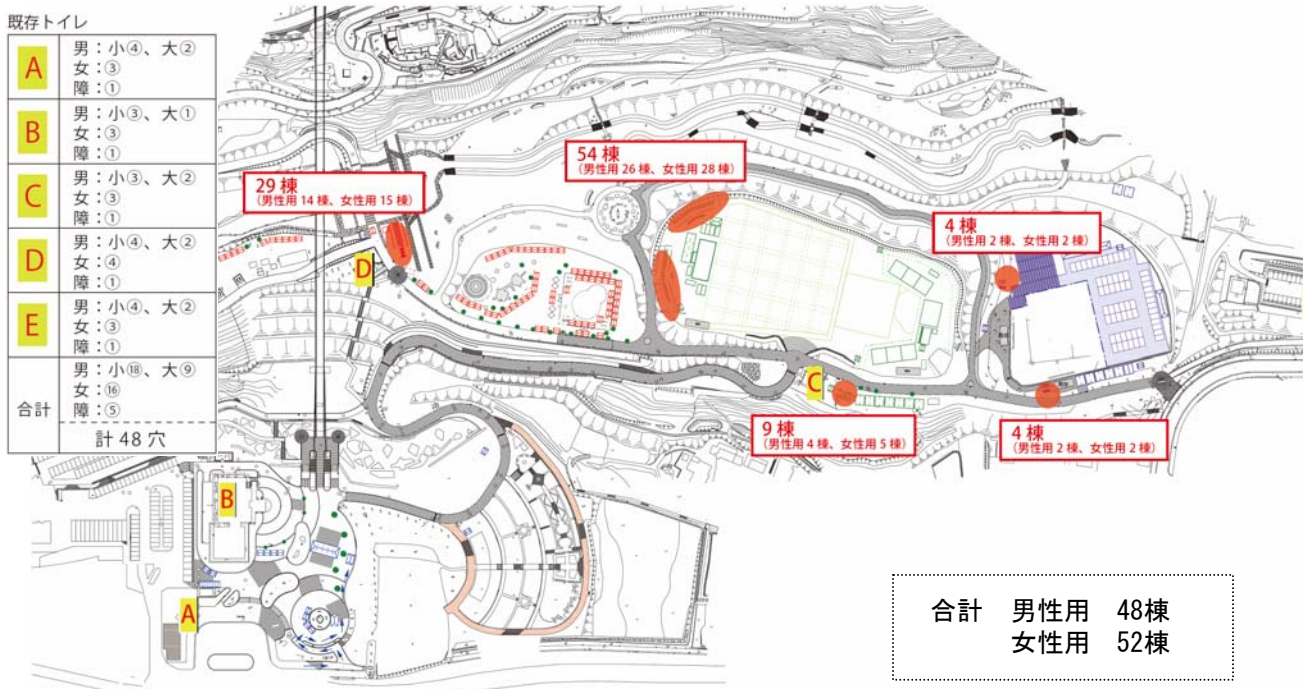
### (4) 仮設トイレ計画

お手植え会場、式典会場、植樹会場、サービス広場など、招待者等の動線上に適正な数量を設置します。また、衛生面にも十分配慮します。

#### ①お手植え会場（南足柄会場）



#### ②式典会場（秦野会場）



## 7 飾花計画

- 飾花は、県内産の花を使用し、会場の雰囲気を引き立てるとともに、招待者の安全かつ円滑な動線が確保できるよう配置します。
- 会場内に設置する飾花プランターについては、会場整備等で生じた伐採木を活用したものを配置します。
- お手植え会場及び式典会場に接続する沿道等については、県及び会場市の秦野市・南足柄市など関係者が一体となって、飾花を行います。

### (1) 飾花箇所及び内容

飾花箇所	内容
お手植え会場・式典会場	各エリアや動線等の区分を行うとともに、会場の雰囲気を引き立てるよう、プランターを配置します。
お手植え会場・式典会場と植樹会場への連絡道	招待者の安全で円滑な誘導ができるよう、プランターを配置します。
各会場に接続する沿道等	招待者をもてなしの心でお迎えするため、会場市と一体となって、飾花を行います。

#### ■ 飾花例

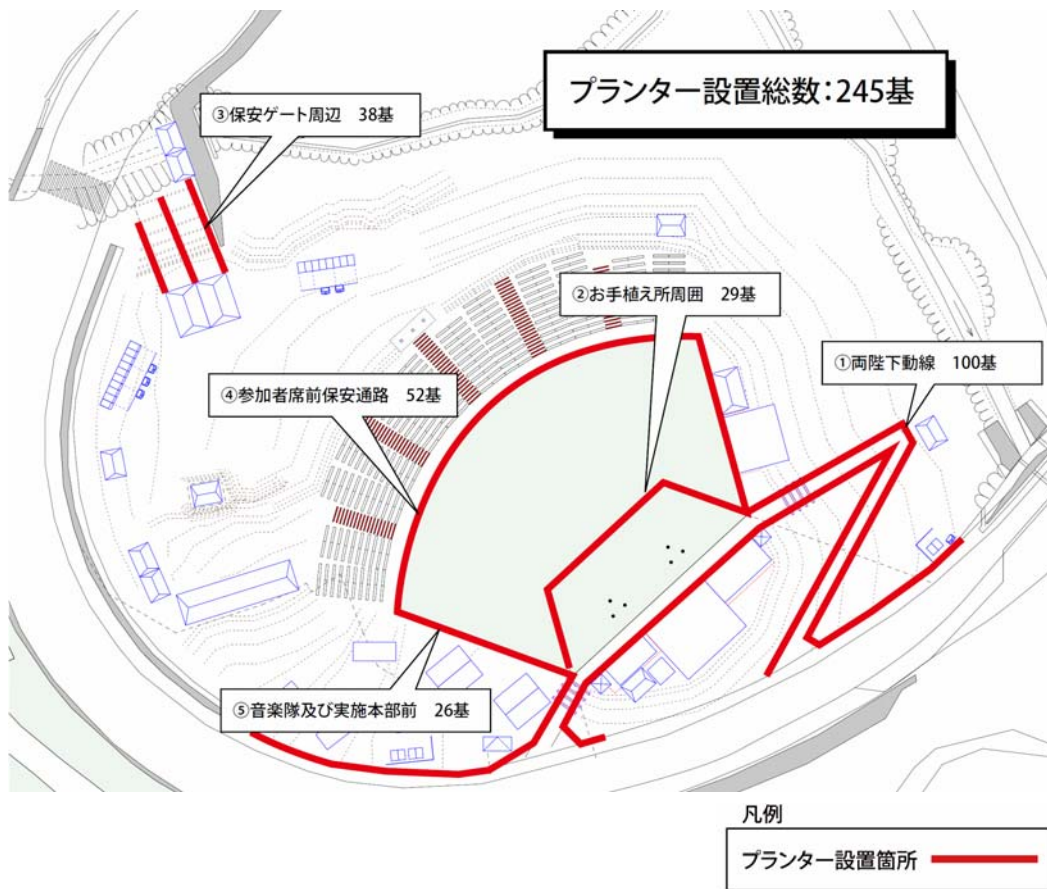




(2) 飾花プランター配置図

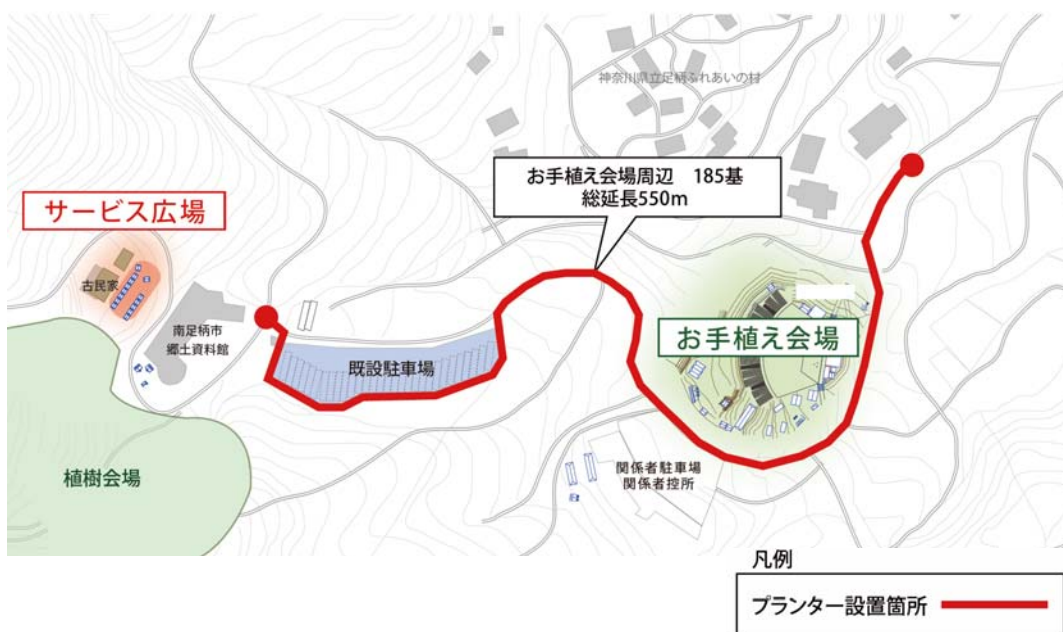
①お手植え会場（南足柄会場）

■会場内



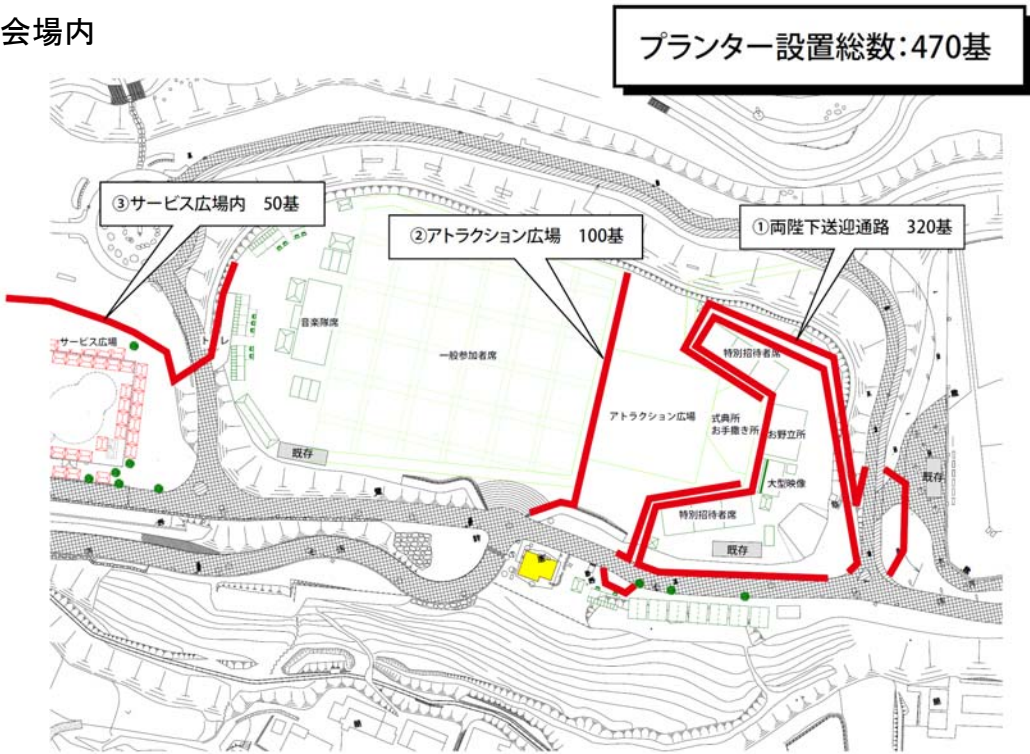
■会場周辺

プランター設置総数:185基



②式典会場（秦野会場）

■会場内



プランター設置総数:470基

③サービス広場内 50基

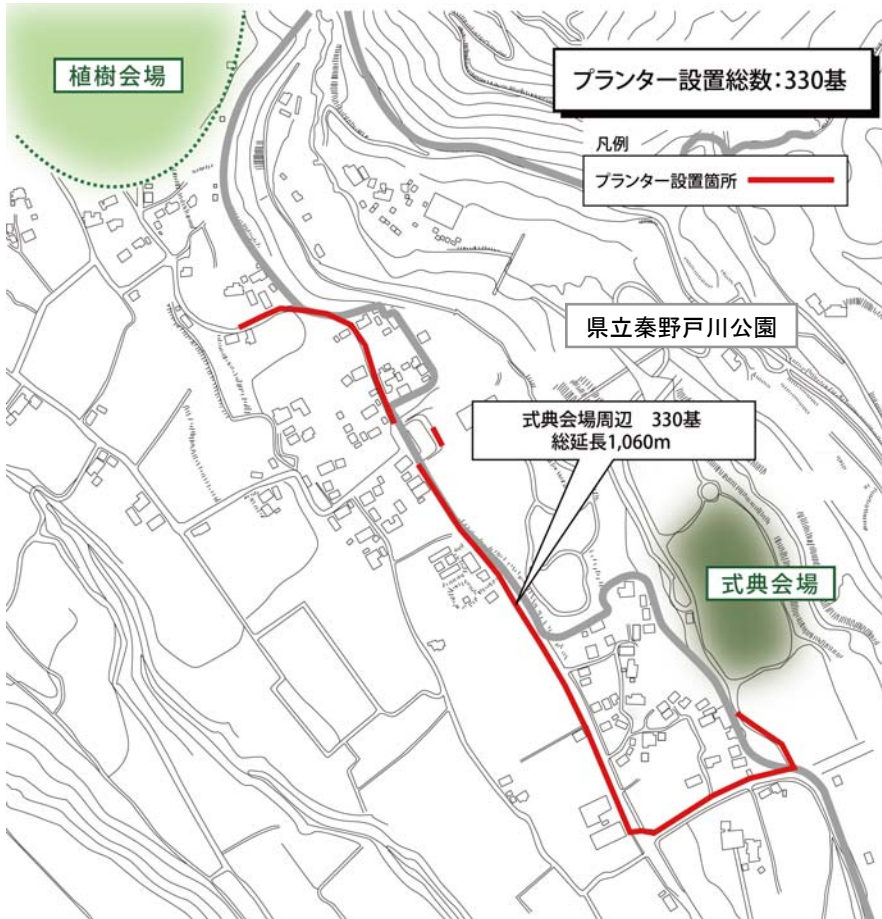
②アトラクション広場 100基

①両陛下送迎通路 320基

凡例

プランター設置箇所 ———

■会場周辺



プランター設置総数:330基

凡例

プランター設置箇所 ———

県立秦野戸川公園

式典会場周辺 330基  
総延長1,060m

式典会場

## 8 サービス広場計画

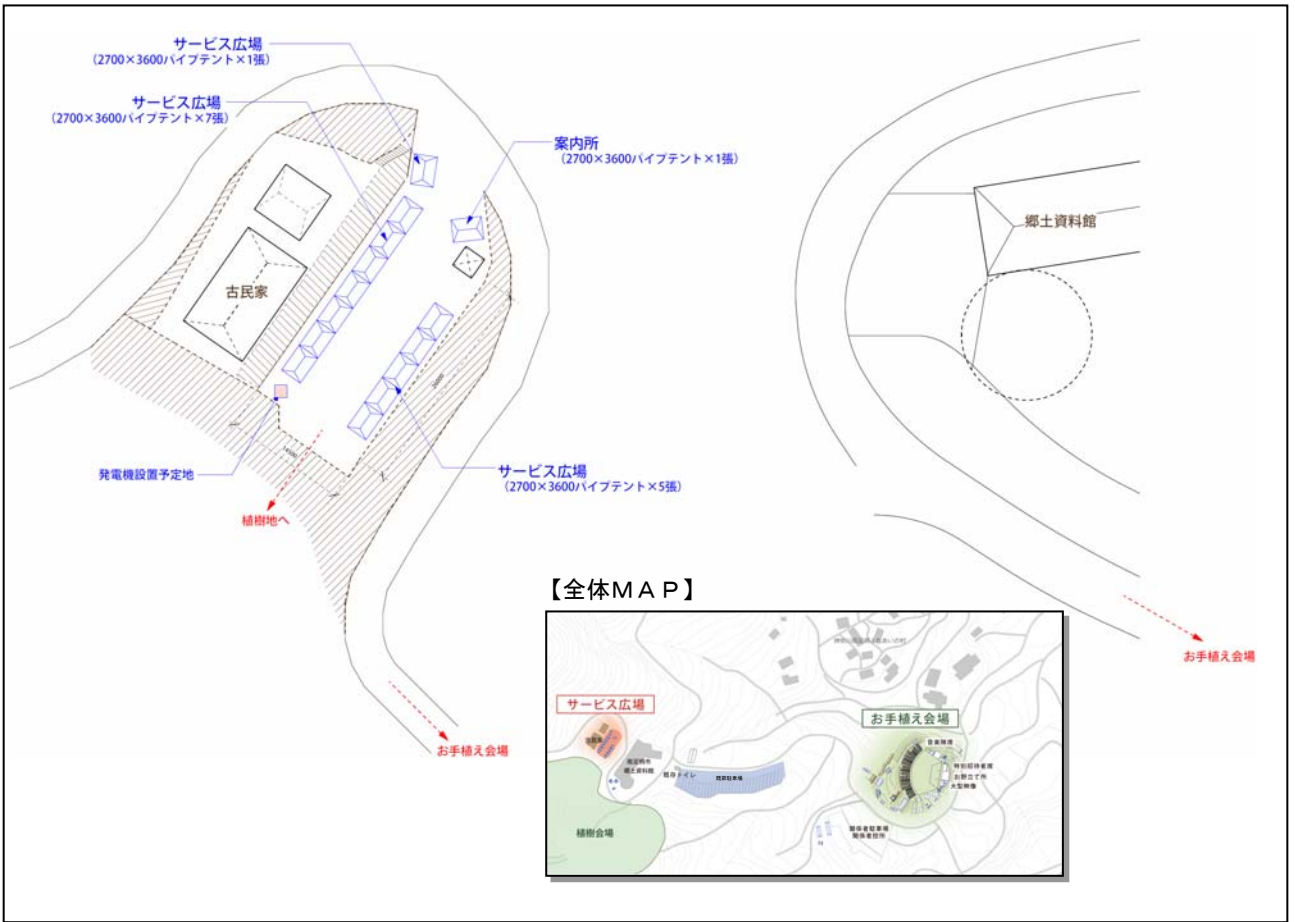
- 参加者が安全・快適に過ごせるよう、また、招待者に神奈川の自然や文化、観光、特産品を広く知ってもらうため、サービス広場を設置します。
- サービス広場の運営にあたっては、出展（店）者等の協力により、ごみの減量化に取り組むとともに、飲食物の提供においても環境に配慮した容器を使用する等、環境にやさしい運営に努めます。
- 足柄森林公園丸太の森地区における運営時間（11:45～13:05、14:00～15:25）
- 秦野戸川公園地区における運営時間（7:30～11:00、13:05～15:00）

### (1) 主な施設

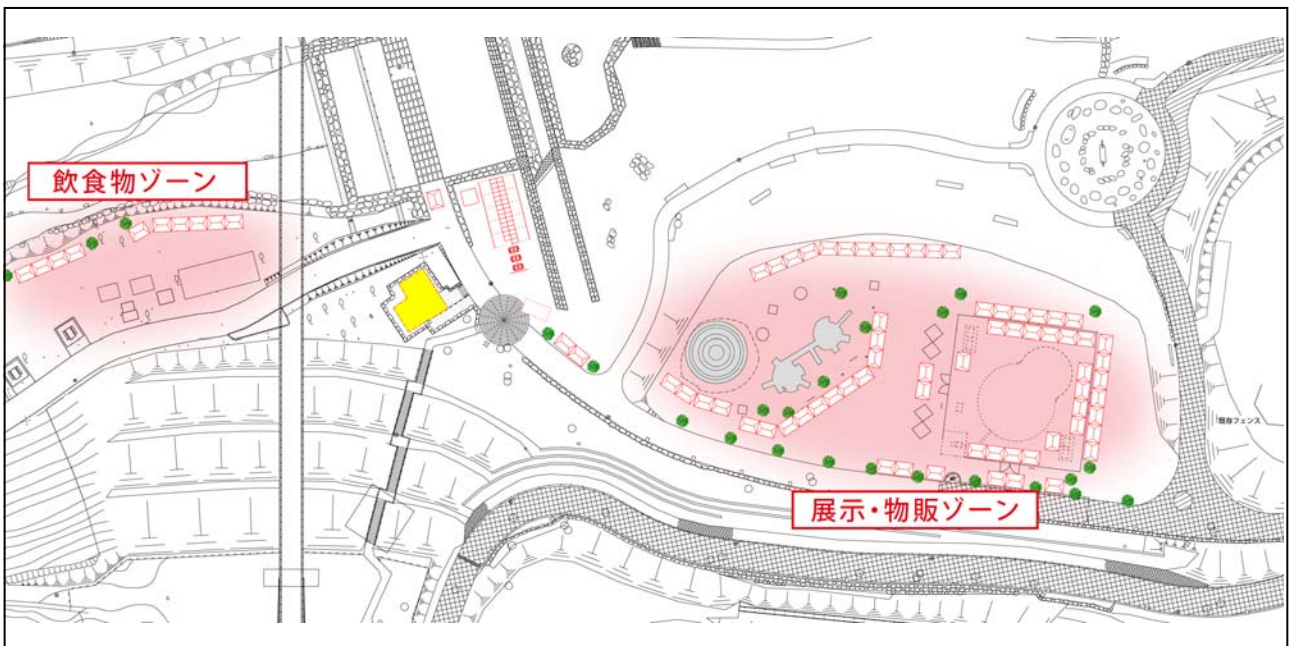
総合案内所	招待者に対する各種案内、情報の提供、遺失・拾得物の管理、各種問い合わせ等への対応
ガイドサポート	車イスの貸出し・移動補助、高齢者や障害者に対する支援
展示ブース	神奈川の森林・林業、観光、県民運動等について展示紹介
販売ブース	神奈川の特産品や飲食物等を販売
体験ゾーン	電気自動車の展示、乗車体験
湯茶接待所	湯茶等の提供
臨時郵便局	記念切手の販売と郵便、宅配サービスの実施

(2) レイアウト図

①足柄森林公園丸太の森地区



②秦野戸川公園地区



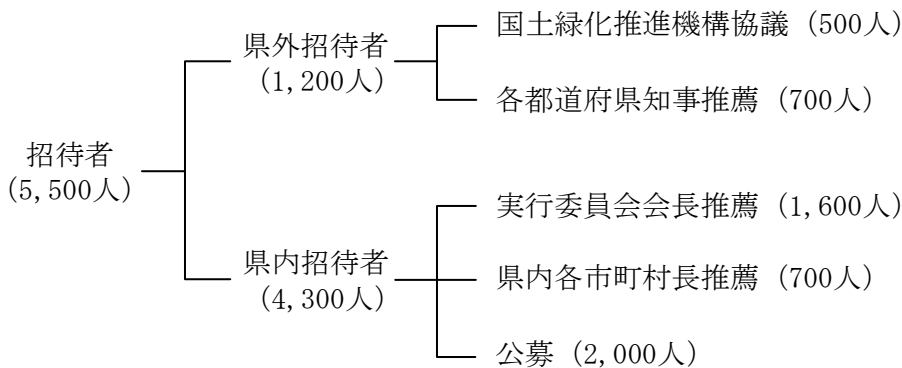
## 1 基本的な考え方

- 全国からの招待者をもてなしの心でお迎えし、神奈川県大会の開催意義や理念を伝える場とします。
- 全国植樹祭の運営には、市町村、林業関係団体、NPOやボランティア団体等の協力が必要不可欠であることから、実施については各団体の意向を踏まえ、密接な連携を図ります。
- 招待者が安全、快適、清潔に過ごせるよう会場運営を行います。

## 2 招待計画

### (1) 招待計画による招待者区分

- 招待者は、県外招待者と県内招待者に区分します。
- 県外招待者は、社団法人国土緑化推進機構理事長と神奈川県実行委員会会長との協議により定める者及び各都道府県知事の推薦による者とします。
- 県内招待者は、神奈川県実行委員会会長の推薦による者、県内各市町村長の推薦による者及び公募による者とします。
- 子どもから大人まで、幅広い世代から多くの県民が参加できるように、県内招待者のうち2,000人程度を公募により招待します。



※県外招待者及び県内招待者の人数には、両会場招待者を含む。

## (2) 運営上の招待者区分

●招待者の行動計画に対応した運営上の招待者区分は、下記のとおりとします。

招待者区分		人数	備 考
両会場招待者		20人	国務大臣、林野庁長官、 (社)国土緑化推進機構会長・理事長、 神奈川県知事・県議会議長等
特別招待者	県外特別招待者	200人	国会議員、中央省庁・団体関係者、緑化功労者、 被表彰者等
	県内特別招待者	200人	県議会議員、市町村長、市町村議会議長、 被表彰者、実行委員会委員等
	小 計	400人	
一般招待者	県外一般招待者	980人	森林・林業関係団体の代表者等
	県内一般招待者	4,100人	市町村議会議員、森林・林業関係団体の代表者、 公募招待者等
	小 計	5,080人	
合 計		5,500人	

## (3) 会場別の招待者区分

●お手植え行事、式典行事及び記念植樹の会場別の招待者区分は、下記のとおりとします。

お手植え・ 式典会場	招待者区分	招待者席	人 数	植樹会場	備 考
お手植え会場 → 式典会場	両会場招待者	特別招待者席	20人		両会場を移動
お手植え会場 (南足柄会場)	県外一般招待者	一般招待者席	280人	丸太の森地区	
	県内一般招待者	一般招待者席	700人	丸太の森地区	
	小 計		980人		
式典会場 (秦野会場)	県外特別招待者	特別招待者席	200人	戸川公園地区	
	県内特別招待者	特別招待者席	200人	戸川公園地区	
	県外一般招待者	一般招待者席	700人	戸川公園地区	
	県内一般招待者	一般招待者席	1,000人	丸太の森地区	午後植樹
	県内一般招待者	一般招待者席	2,400人	戸川公園地区	
	小 計		4,500人		
合 計			5,500人		
足柄森林公園丸太の森地区植樹会場人数			1,980人		
秦野戸川公園地区植樹会場人数			3,500人		

### 3 参加者行動計画

#### (1) 参加者行動表（植樹祭前日）

全体進行	レセプション招待者			県外招待者	本部員等		
	両会場招待者	県外招待者	県内招待者		実施本部員	協力員	出演者
午前					指定集合地	指定集合地	指定集合地
					バス乗降場	バス乗降場	バス乗降場
					リハーサル 植樹会場 式典会場 お手植え会場	リハーサル 植樹会場 式典会場 お手植え会場	リハーサル 式典会場 お手植え会場
午後					昼食	昼食	昼食
					リハーサル 植樹会場 式典会場 お手植え会場	リハーサル 植樹会場 式典会場 お手植え会場	リハーサル 式典会場 お手植え会場
		空港・駅等	空港・駅等	駅等	空港・駅等		
		ホテル 前日受付	ホテル 前日受付	ホテル 前日受付	ホテル 前日受付	バス乗降場	バス乗降場
						指定集合地	指定集合地
		レセプション					
		ホテル	ホテル	ホテル			

(2) 参加者行動表 (植樹祭当日)

時刻	全体進行		招待者別行動計画						実施本部長等		
			両陛下	両会場招待者	県外招待者		県内招待者				
					県外招待者①	県外招待者②	県内招待者①	県内招待者②		県内招待者③	
	植樹会場			丸太の森	丸太の森地区	戸川公園地区	丸太の森地区	丸太の森地区	戸川公園地区		
	丸太の森	戸川公園		20人	280人	900人	700人	1,000人	2,600人	3,000人	
						宿泊施設			指定集落地	指定集落地 ↓ バス降場 入場チェック	
6:00					宿泊施設		指定集落地			各 配 置 場 所	
7:00		記念植樹			宿泊施設		指定集落地		指定集落地		
7:50					バス降場	植樹会場 (丸太の森地区)	バス降場	指定集落地	バス降場		
8:00	記念植樹	記念植樹		宿泊施設	バス降場 植樹会場 (丸太の森地区)	植樹会場 (丸太の森地区)	バス降場		植樹会場 (丸太の森地区)		
9:00				お手植え会場到着 受付	入場チェック (お手植え会場)	入場チェック (お手植え会場)		バス降場			
				着席 ~10:10	着席 ~10:10		着席 ~10:10				
10:00					特別招待者席 (お手植え会場)	招待者席 (お手植え会場)	招待者席 (お手植え会場)		会場内でお手植え行事中継を視聴		
10:20	プロローグ 25分					会場内でお手植え行事中継を視聴					
10:45	お手植え行事 25分	お手植え行事 (中継)	御着	御着	特別招待者席 (お手植え会場)	招待者席 (お手植え会場)	招待者席 (お手植え会場)		会場内でお手植え行事中継を視聴		
11:00			御発	御発							
11:10	リレートラック ション 10分				式典会場へ移動	着席 ~11:15		着席 ~11:15			
11:20	2会場連携セレモニー				2会場連携セレモニー						
11:45		プロローグ 25分									
12:00					会場内 式典行事中継を視聴	招待者席 (式典会場)	招待者席 (式典会場)		招待者席 (式典会場)		
12:10	式典行事 (中継)	式典行事 35分	御着	御着	特別招待者席 (式典会場)	昼食 (会場内)	昼食 (会場内)		招待者席 (式典会場)		
12:45	エピローグ (2会場中継)	エピローグ 20分	御発	御発		2会場中継	2会場中継				
13:00			行幸啓へ	行幸啓へ							
13:05					昼食 会場	バス乗り場	離席 13:05 ~ 昼食 (会場内)	バス乗り場	離席 13:05 ~ バス乗り場 昼食 (車内)	離席 13:05 ~ 昼食 (会場内)	
14:00	記念植樹							バス降場	バス乗り場		
15:00					空港・駅等	指定解散地 視察等	指定解散地 視察等	植樹会場 (丸太の森地区)	指定解散地		
15:25								バス乗り場	指定解散地		
16:00								指定解散地	指定解散地		



## 4 会場内動線計画

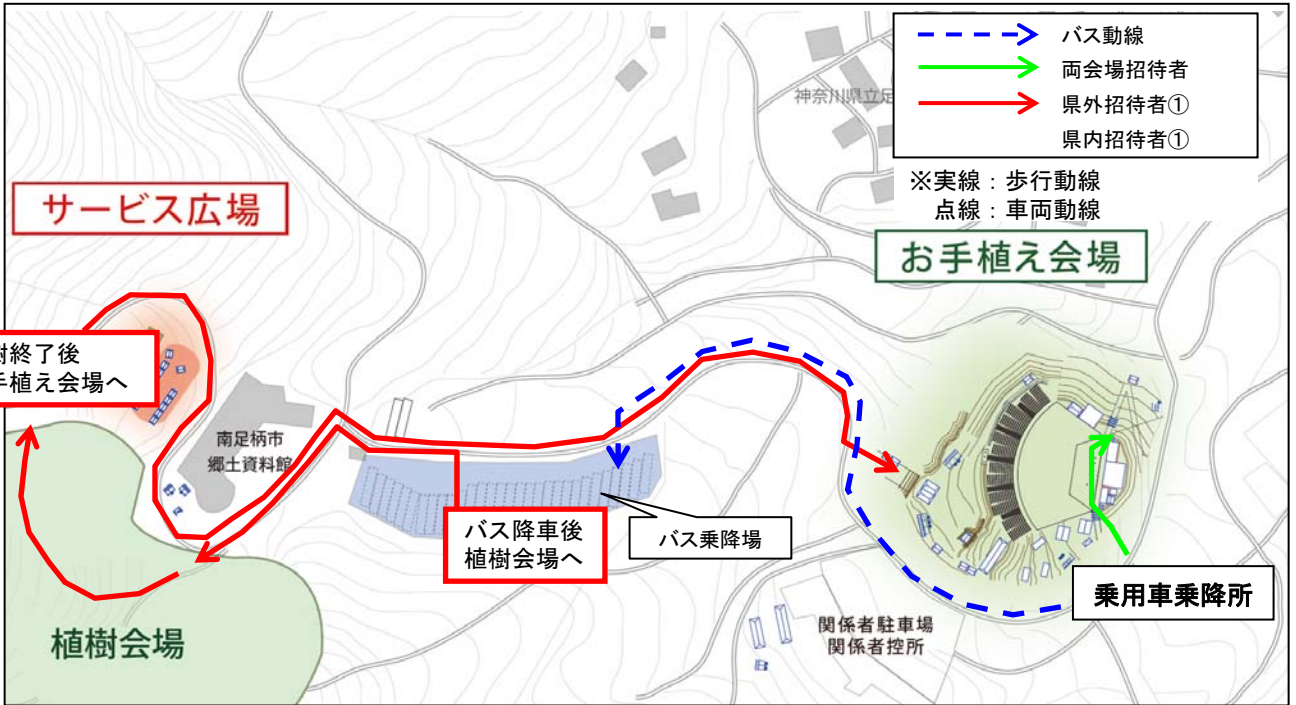
### (1) お手植え会場（南足柄会場）

※招待者区分については、  
P45の「参加者行動表（植樹祭当日）」を参照。  
P49まで同様。

#### ● 入場時

##### ■ 両会場招待者（乗用車乗降所→お手植え会場）

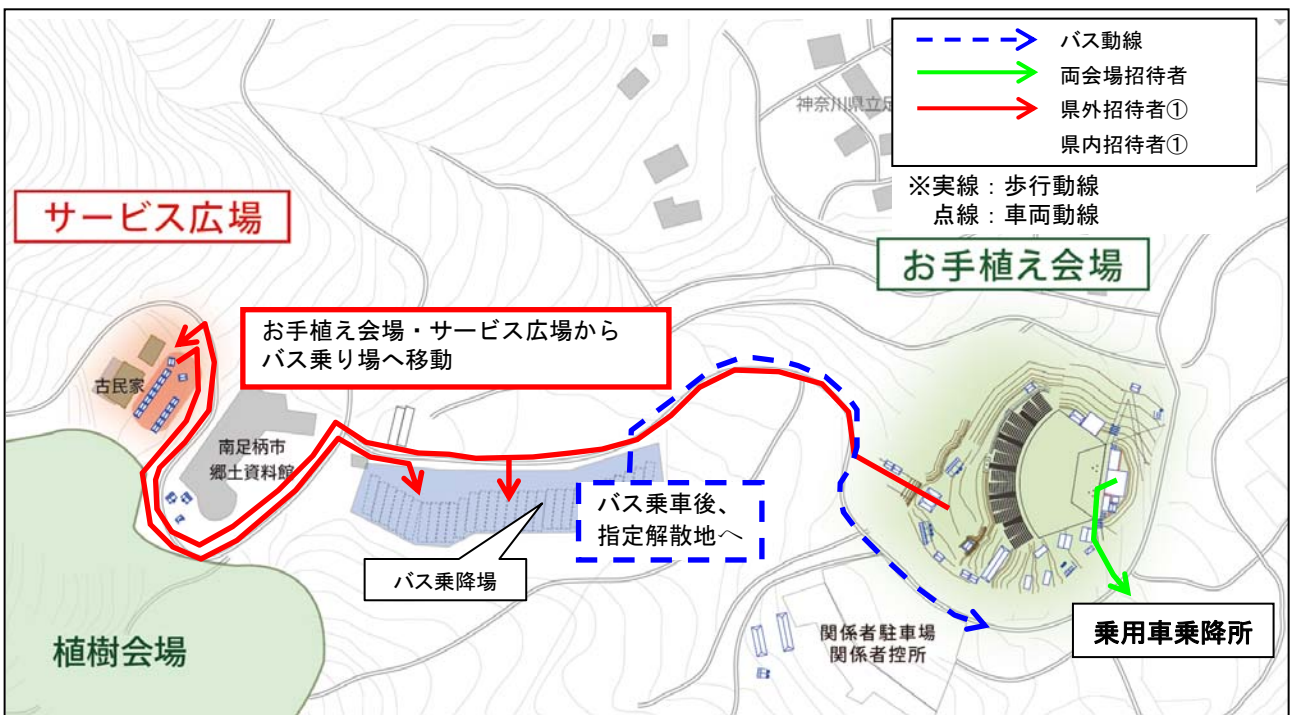
県外招待者①、県内招待者①（バス乗降場→植樹会場→お手植え会場）



#### ● 退場時

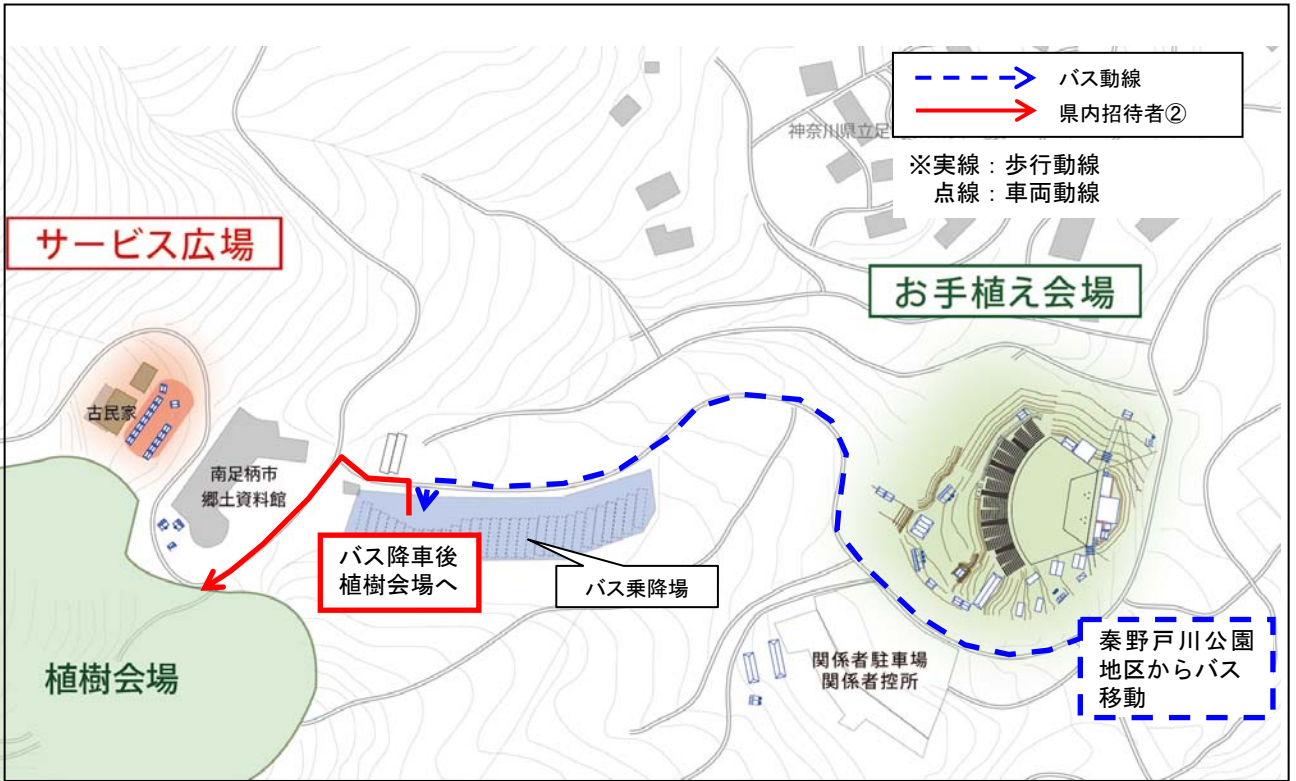
##### ■ 両会場招待者（お手植え会場→乗用車乗降所）

県外招待者①、県内招待者①（お手植え会場・サービス広場→バス乗降場）



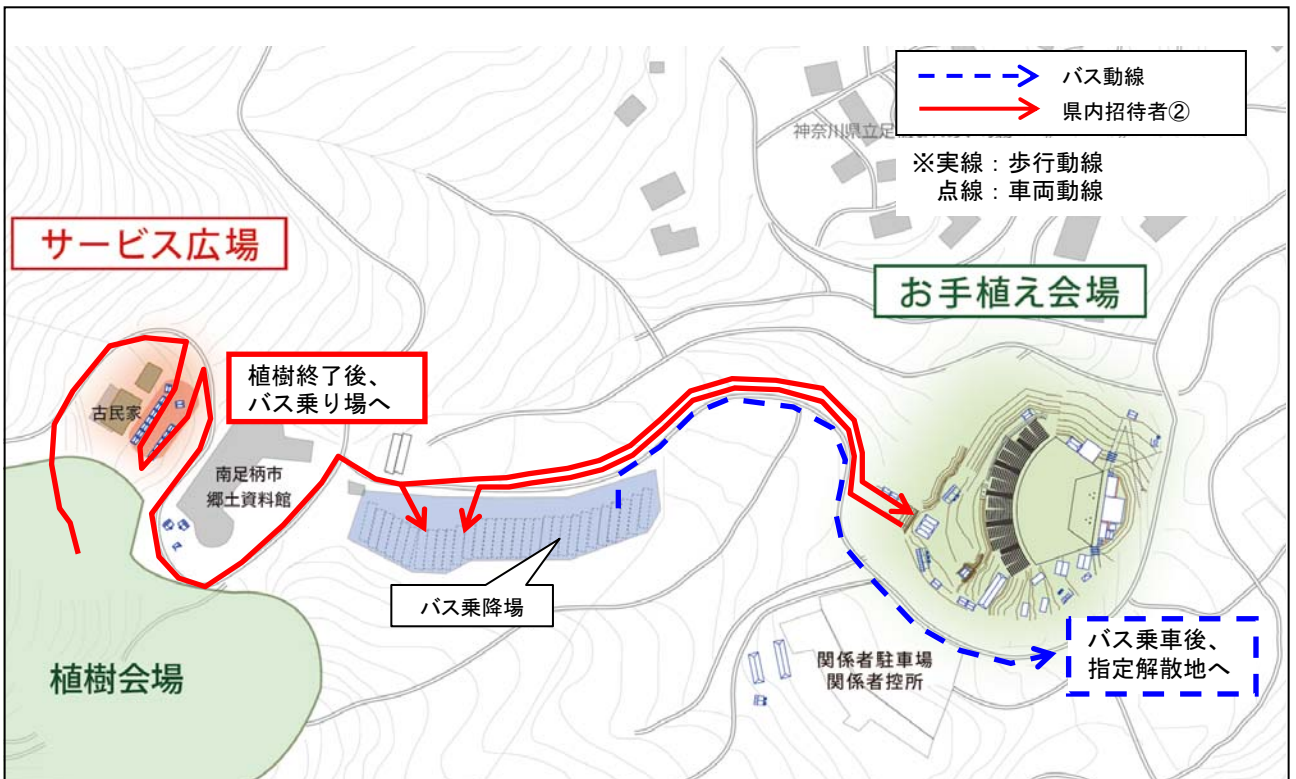
●入場時

■県内招待者②（午後植樹）（秦野式典会場→バス乗降場→植樹会場）



●退場時

■県内招待者②（午後植樹）（植樹会場→サービス広場→バス乗降場）



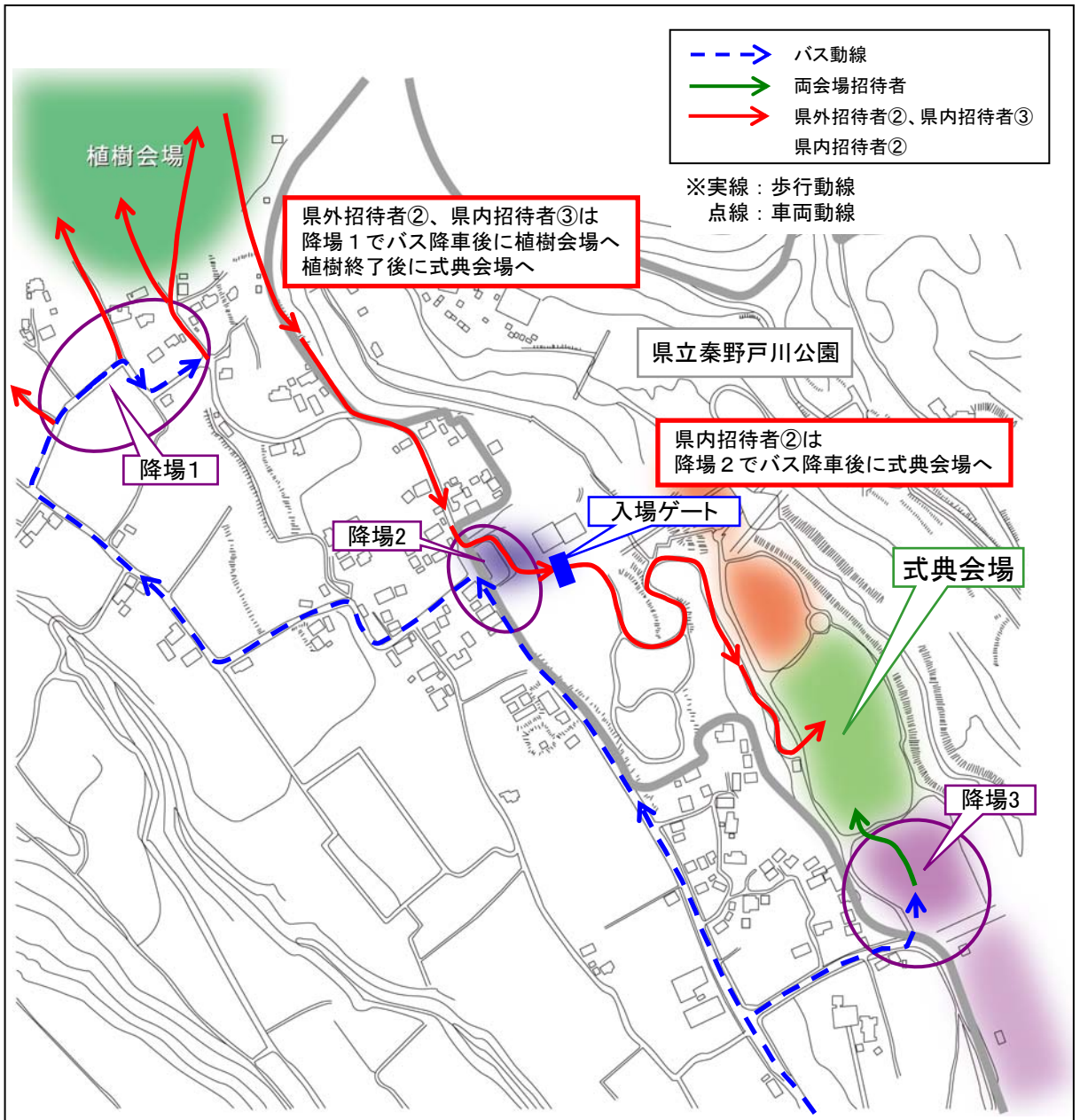
(2) 式典会場（秦野会場）

● 入場時

■ 両会場招待者（降場3 → 式典会場）

県外招待者②、県内招待者③（降場1 → 植樹会場 → 式典会場）

県内招待者②（降場2 → 式典会場）

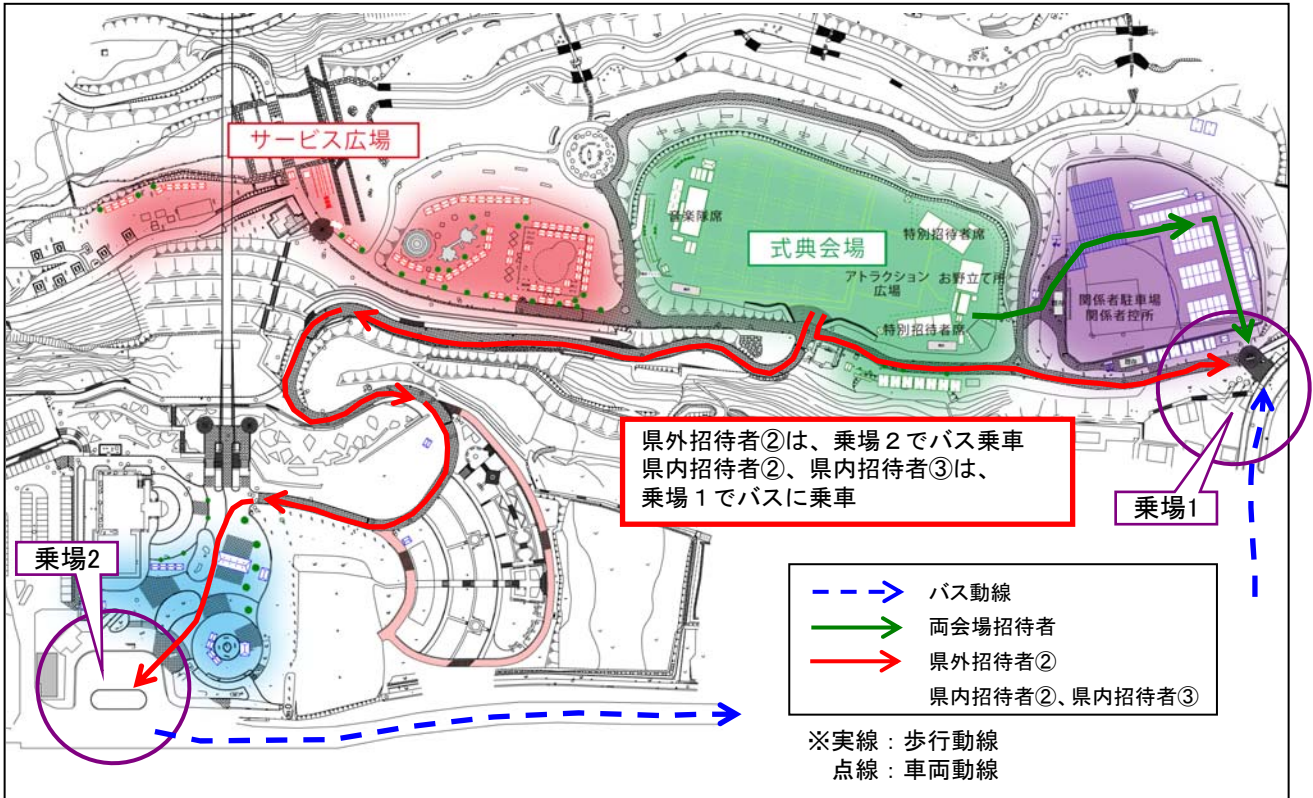


●退場時

■両会場招待者（式典会場→乗場1）

県外招待者②（式典会場→乗場2）

県内招待者②、県内招待者③（式典会場→乗場1）



## 5 受付計画

### (1) 招待者受付

- 招待者の把握及びセキュリティの確保のため、大会前日又は当日に、全ての招待者について受付を行います。

#### ①前日受付

- ・前日に宿泊する招待者については、宿泊施設において、前日受付を行います。

招待者区分	時間	場所	内容
両会場招待者	宿泊施設 到着時	宿泊施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・招待状及び身分証明書の確認 (一部の招待者を除く)</li> <li>・ルームキー及び記念品等の配付</li> <li>・宿泊案内等及びレセプションについての説明</li> </ul>
県外招待者 県内招待者 (宿泊)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・招待状及び身分証明書の確認</li> <li>・ルームキー及び記念品等の配付</li> <li>・宿泊案内等についての説明 (レセプション招待者には、レセプションの説明)</li> </ul>

#### ②当日受付

- ・前日に宿泊しない県内招待者については、指定集合地において、バス乗車時に受付を行います。
- ・宿泊施設にて前日受付を行った招待者については、バス乗車時に再度本人確認を行います。

招待者区分	時間	場所	内容
両会場招待者	お手植え 会場到着時	お手植え会場	・胸章を特別接伴員に渡す
県外招待者 県内招待者 (宿泊)	バス乗車時	宿泊施設	・IDカードの確認 (特別招待者には、胸章の配付)
県内招待者 (宿泊なし)		指定集合地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・招待状及び身分証明書の確認</li> <li>・記念品等の配付 (特別招待者には、胸章の配付)</li> </ul>

- ・お手植え会場及び式典会場の入場時には、IDカード、帽子、リストバンドや危険物等持込禁止物のチェックを行います。

## (2) 招待者に配布する記念品等

- 招待者等に対して、次の記念品等を配布します。
- 配布物には、①大会に参加するための資料・物品（大会用品）、②大会を円滑に運営し、参加者を識別するための物品（識別ツール）、③開催県・会場設置市からの参加記念品があります。
- 記念品の選定にあたっては、県産品の活用を図り、後利用のできる「もらってうれしいもの」とするとともに、遠方からの招待者の持ち帰りやすさに配慮します。
- 一般招待者と特別招待者の配布物は同一のものとします。

### ■配布物一覧

		両会場招待者	特別招待者		一般招待者		実施本部員等					
			県外	県内	県外	県内	実施本部員		出演者	出展(店)者	協力員	報道
人数		20人	200人	200人	980人	4,100人	1,600人		700人	300人	400人	50人
							1,400人 (県職員等)	200人 (その他協力者等)				
大会用品	手提げ袋・名札	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	プログラム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	持込透明袋	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	日の丸小旗	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	○
	雨合羽	○	○	○	○	○	-	-	○	-	-	○
	軍手	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	○
識別ツール	胸章	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
	IDカード	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	リストバンド	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
	帽子	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ジャンパー	-	-	-	-	-	○	○	-	○	○	-
記念品等	記念品	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○
	観光案内等	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○

### ■記念品（県・2市提供）

神奈川県	秦野市	南足柄市
		
箱根寄木細工 箸置き (会場整備に伴い発生した伐採木の一部を使用)	ピーナッツクリーム、ジャムペラ	お菓子 (チョコサンドクッキー)

## 6 作品御覧・レセプション計画

### (1) 作品御覧

#### ■目的

緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールの優秀作品及び第61回全国植樹祭ポスター原画コンクールの最優秀作品を展示し、天皇皇后両陛下に御覧いただきます。

#### ■主催

社団法人 国土緑化推進機構  
神奈川県

#### ■日時

平成22年5月22日（土） 17:30～18:00  
※第61回全国植樹祭の前日

#### ■場所

湯本富士屋ホテル 2F 和室宴会場「梅」  
（箱根町湯本）

#### ■招待者

緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール入賞者（6名）  
第61回全国植樹祭大会ポスター原画最優秀賞受賞者（1名）

### (2) レセプション

#### ■目的

第61回全国植樹祭の開催にあたり、天皇皇后両陛下の御来県を歓迎するとともに、レセプション招待者との懇親を深める場とします。

#### ■主催

神奈川県

#### ■日時

平成22年5月22日（土） 18:00～19:00  
※第61回全国植樹祭の前日

#### ■場所

湯本富士屋ホテル 2F グランドコンベンションホール「箱根」  
（箱根町湯本）

### ■招待者（400名程度）

両会場招待者（(社)国土緑化推進機構会長、国務大臣 等）

県外特別招待者（国会議員、中央団体長、中央省庁関係者、和歌山県知事、  
表彰者 等）

県内特別招待者（県議会議員、市町村長、市町村議会議員、実行委員会委員 等）

### (3) プログラム

時刻	所要時間	作品御覧次第	レセプション次第	内容・出演者等
16:30		招待者受付・入場	招待者受付・入場	
17:20		入場完了	入場完了	
17:30		進行説明	進行説明	司会者
17:47		天皇皇后両陛下作品御覧会場御着		御先導：神奈川県知事
	10'	作品御覧		
17:57		天皇皇后両陛下会場御発		御先導：神奈川県知事
	3'	天皇皇后両陛下会場御移動		
18:00	1'		天皇皇后両陛下レセプション会場御着	御先導：神奈川県知事
		招待者退場		
18:01	1'		開宴のことば	神奈川県議会議員
18:02	2'		主催者あいさつ	神奈川県知事
18:04	1'		乾杯	大会会長（衆議院議長）
18:05	24'		御歓談	
18:29	1'		天皇皇后両陛下会場御発	御先導：神奈川県知事
18:30	29'		歓談	
18:59	1'		閉宴あいさつ	(財) かながわトラスト みどり財団 理事長
19:00			閉宴	
			招待者退場	



## 7 特別接伴・接遇計画

### (1) 両会場招待者対応

- 移動には、原則として公用車・借り上げ車等の乗用車（会場間移動はマイクロバス使用）を使用することとします。
- 特別接伴員として正・副2名の実施本部員を配し、専属対応を行います。
- 前日は、出迎えからレセプションの受付、会場内の案内、誘導、宿泊場所への案内等、常時サポートします。
- 当日は、出迎えから受付誘導、会場内の案内、植樹誘導、昼食案内、見送りまで、常時サポートします。
- 両会場招待者の行動が常時把握できる通信連絡体制にします。

### (2) 特別招待者対応

- 移動には、原則としてバスを使用することとします。
- 特別招待者用バスには、1台当たり2名の実施本部員が対応します。
- 当日は、出迎えから受付誘導、会場内の案内、昼食案内、見送りまで、常時サポートします。
- 式典会場（秦野会場）では、特別招待者席を用意いたします。

## 8 昼食計画

- 食事は、県産食材をふんだんに盛り込み、神奈川県らしさを堪能できるように工夫します。
- 公募委員を含む委員会を設置し、地産地消にこだわったおいしいメニューを検討します。

### (1) 参加者区分別昼食計画

区分	人数	場所	形態	時間	備考
両会場招待者	10人	昼食会場	昼食会	13:20～	知事室所管
	10人	式典会場	弁当	13:30～	
県内外特別招待者	400人	式典会場	弁当	13:30～	
県外一般招待者	280人	お手植え会場	弁当	11:30～	
	700人	式典会場	弁当	13:30～	
県内一般招待者	700人	お手植え会場	弁当	11:30～	
	2,400人	式典会場	弁当	13:30～	
	1,000人	バス車内	弁当	13:10～	式典会場から植樹会場（南足柄）へ移動
実施本部員	1,600人	業務従事場所	弁当	随時	
出演者	700人	出演者控え室	弁当	随時	
出展（店）者	300人	出展（店）ブース内	弁当	随時	
協力員	400人	業務従事場所	弁当	随時	

- ※1 秦野戸川公園地区の式典会場から足柄森林公園丸太の森地区の植樹会場へ移動する方は、バス車内での昼食とします。
- ※2 弁当は、保冷車で運搬・保管し、衛生・安全面に万全を期すとともに、容器・包装資材についても環境配慮するように努めます。

### (2) 雨天対策

- 弁当の配布については、バスの運行スケジュールに影響のないよう、晴天時・雨天時共通とします。
- 容器については、雨天時にも対応できるよう、水濡れに強いものとします。
- 南足柄会場で植樹行事に参加する人はバス車内での昼食とします。
- 秦野会場においては、会場内の施設を有効活用し、雨よけのある場所に、高齢者・障害者・バス待機時間の長い方から優先的に配席します。

## 9 医療・衛生計画

お手植え・式典行事や記念植樹、関係リハーサル等における医療・救護及び衛生について、招待者、出演者、協力員とその他の関係者が、安全で快適な環境のもとで安心して参加できるよう、関係機関の協力を得て準備態勢、連絡体制を整備し、万全を期します。

### (1) 医療対策

- お手植え・式典会場及び植樹会場に救護所を設置し、医師や保健師、看護師を配置するとともに、医薬品やAED（自動体外式除細動器）、休憩用ベッド等を用意します。
- 近隣の消防機関や医療機関の協力を得て、緊急の場合の搬送・受け入れ体制を整えます。

	会場	対応内容
総合リハーサル	お手植え・式典会場	・各会場に救護所1箇所ずつ設置 ・救急体制として各会場近隣消防機関に協力を要請
前日リハーサル	お手植え・式典会場	・各会場に救護所1箇所ずつ設置 ・救急体制として各会場近隣消防機関に協力を要請
大会当日	お手植え・式典会場	・各会場に救護所2箇所ずつ設置 ・救急体制として各会場近隣消防機関に救急車の派遣を要請
	植樹会場（南足柄・秦野）	・各会場に救護所1箇所ずつ設置 ・救急体制として各会場近隣消防機関に協力を要請

### (2) 衛生対策

- 食品衛生や環境衛生について、保健所等の関係機関と協議を行い、衛生対策を実施します。
- 食の安全を期すため、弁当納入業者や会場内の飲食販売業者と調整を行います。
- お手植え・式典会場及び周辺的环境美化に努めます。

### (3) 新型インフルエンザ等の対策

- 事前に招待者へ送付するご案内等を通じて、手洗い、うがいを励行し、参加者の新型インフルエンザ予防、啓発に努めます。
- 新型インフルエンザの流行状況等により、参加者にマスクの持参を呼びかけます。
- リハーサル及び大会当日は、会場等にマスク（14,000枚）及び手指消毒剤を準備します。
- 大会直前に新型インフルエンザが流行した場合、「大会運営（開催）の変更等に係る判定会議（P64参照）」を設置し、開催の可否等について協議します。

## 10 消防・防災、警備計画

### (1) 消防・防災

- 近隣の消防機関の協力を得て、お手植え・式典会場に消防車・救急車を配備します。
- 喫煙所以外はすべて禁煙とし、受動喫煙の防止に努めます。また、主要施設には消火器を設置します。
- お手植え・式典会場のサービス広場の火気使用についても、指導を徹底します。
- 情報の伝達は、招待者に対するルートと実施本部員・協力員等のルートに分けて適切に行い、全員が安全に避難できる体制を整えます。
- 避難については、実施本部員へ避難経路等の周知徹底を図り、非常事態に備えます。

#### ①実施体制

実施本部の施設管理班が中心になり、実施本部員や協力員等が連携して異常の早期発見・通報に努め、災害発生時には、速やかに必要な措置を講じることができるよう、体制を整えます。

#### ②実施期間

消防・防災実施期間並びに重点期間の2段階を設定し、指導と防止策を講じます。

- ・消防・防災実施期間：植樹祭開催2週間前程度から植樹祭終了まで
- ・消防・防災重点期間：植樹祭前日及び当日

#### ③業務内容

	県	関係市町村・近隣の消防機関等
消防・防災実施期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防機関への火災予防体制の協力要請</li> <li>・消防機関への緊急避難及び救急救助体制の協力要請</li> <li>・関係機関との連絡調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防・防災実施計画の策定</li> <li>・植樹祭関連施設及び宿泊施設への査察の実施</li> <li>・火災等災害出動態勢の確立</li> <li>・消防器具及び水利等の点検整備</li> <li>・関係機関との連絡調整</li> </ul>
消防・防災重点期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火災等の災害通報、関係機関への連絡</li> <li>・気象情報の収集、関係機関への連絡</li> <li>・消防・防災の現状把握</li> <li>・関係機関との連絡調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植樹祭関連施設及び宿泊施設の防火防災の指導</li> <li>・各会場への緊急車両の配備</li> <li>・火災の警戒、避難誘導</li> <li>・関係機関との連絡調整</li> </ul>

## (2) 警備

- 会場内での事件事故を防止し、円滑な運営を図るため、警察等関係機関と協力して警備を実施します。
- 当日は、警備員や実施本部員などを配置して、警備や車両の整理、参加者の誘導を行います。
- お手植え会場及び式典会場の入場口では、金属探知機等による手荷物検査や入場者の確認を行います。
- 各会場では、使用物品等の搬入後、夜間も含め、監視・巡回警備等を行います。

### ①実施体制

実施本部員から構成される施設管理班のもと、専門の警備員等と協力して実施します。

### ②実施期間

警備実施期間並びに重点期間の2段階を設定し、万全の対策を講じます。

- ・警備実施期間：植樹祭開催2週間前程度から植樹祭終了まで
- ・警備重点期間：植樹祭前日及び当日

### ③業務内容

実施期間	目的	対策
警備実施期間	施設・備品の保全	各会場では、施設・備品等の引き渡し、搬入から植樹祭当日まで専門の警備員による会場の巡回警備を行います。
警備重点期間	雑踏事故対策	各会場では、雑踏事故防止のために会場内の要所に実施本部員等を配置します。また、入場チェックエリアや招待者動線での滞留が起らないように、実施本部員等が拡声器等で適切な整理・誘導を行います。
	交通警備	会場周辺の主要ルートには、専門の警備員又は実施本部員等を配置し、歩行者の安全確保を行います。また、関係車両には大会関係車両証の提示を義務付け、不審車両の会場内への出入りを排除します。
	自主警備	お手植え会場及び式典会場内の招待者席付近を中心に実施本部員を配置し、妨害行為の防止等会場内の秩序維持に努め、円滑な式典運営を実現するため自主警備を徹底します。また、突発事案等発生時には警察と連携しながら、適切な措置を行います。
	侵入防止対策	各会場内への無許可者の入場や会場内に設定した立ち入り禁止区域への招待者の侵入を防止するため、実施本部員の配置・誘導、ローピング、サイン設置等の対策を講じます。

### (3) 入場チェック計画（金属探知機配置計画）

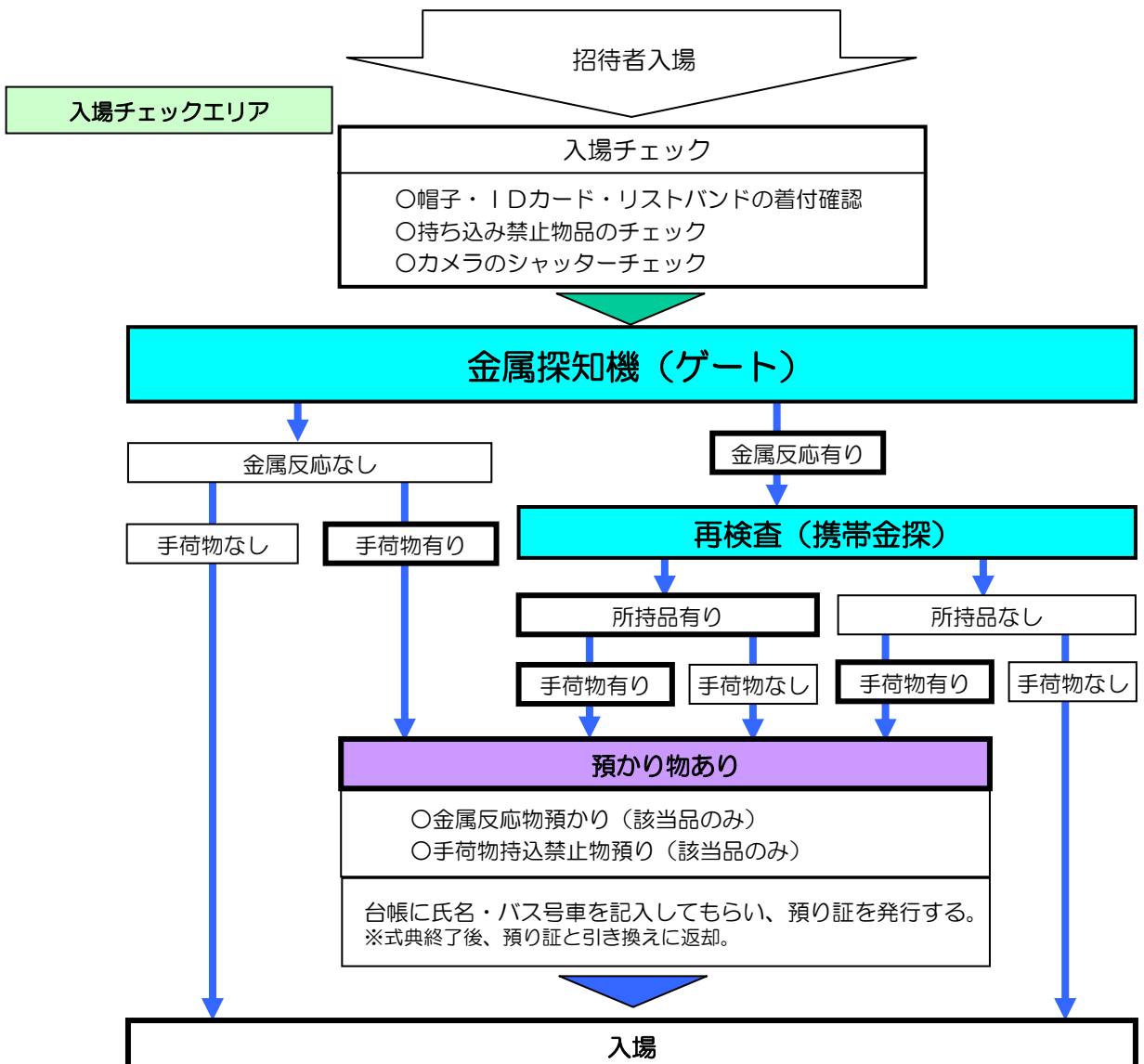
植樹祭会場への当日入場時に、識別装着確認及び金属探知機を使用して手荷物検査等の入場チェックを行い、招待者が安全に過ごせるよう万全を期します。

#### ①荷物の持込みについて

- ・あらかじめ指定された帽子・IDカード等を身に着けることを義務付けます。  
なお、前日もIDカードの着用を義務づけます。
- ・招待者の会場内への持込み荷物は、指定された透明小袋に入る必要最小限にすることを原則とします。
- ・毒劇物、火器、火薬類、その他の危険物及び、ビン、缶、ペットボトル、傘、カッター、はさみ等の凶器として使用される恐れのあるものについては、会場内の持ち込みを禁止します。

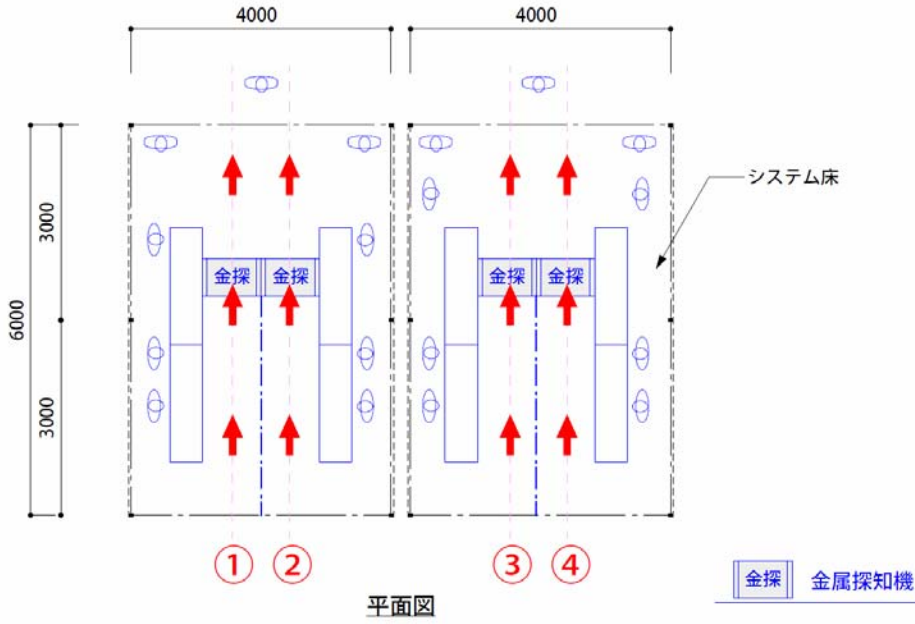
#### ②入場チェック要領

招待者の入場動線に合わせ会場に金属探知機を配置した入場チェックエリアを設け、以下の入場チェックを行います。

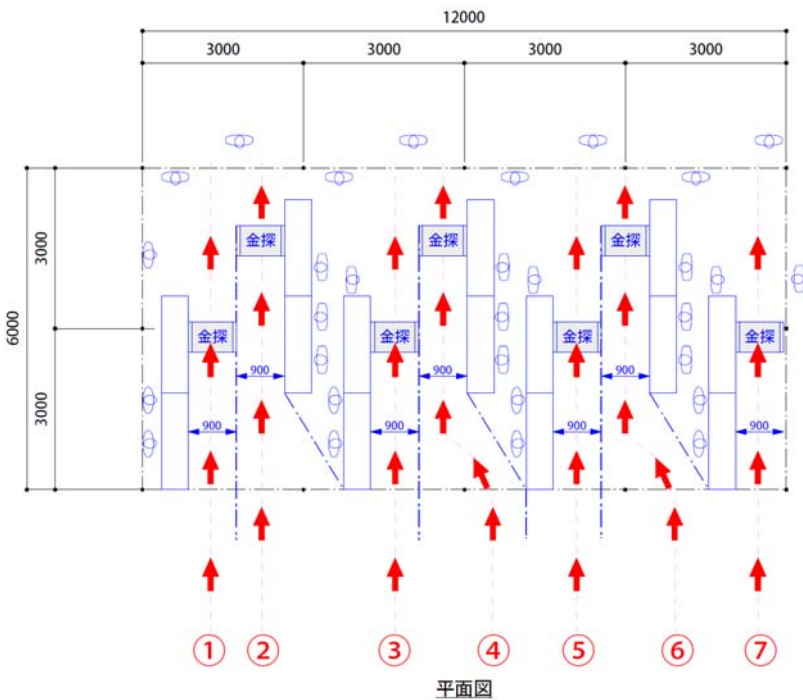


③金属探知機配置図

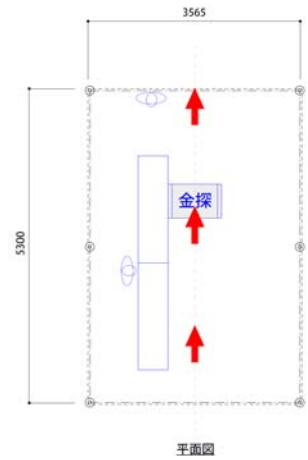
■お手植え会場（南足柄会場）



■式典会場（秦野会場）



※障がい者用



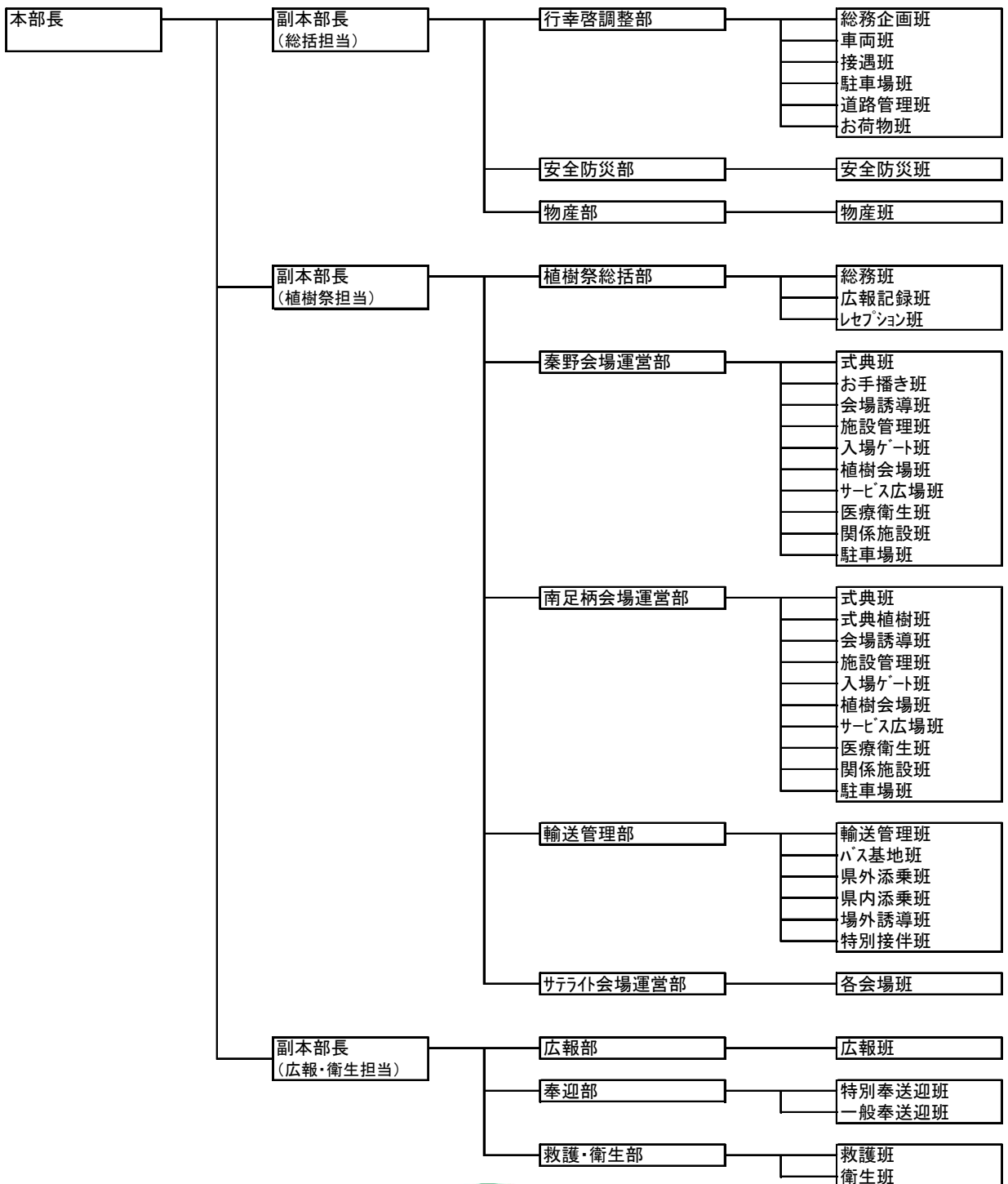
金探 金属探知機

# 11 実施本部計画

●第61回全国植樹祭開催及びこれに伴い予想される本県への行幸啓に関する事務を円滑に実施することを目的として、「全国植樹祭・行幸啓本部」(実施本部員約2,000人規模)を設置します。

## (1) 実施本部組織図

- ①本部長：知事
- ②副本部長(総括担当)：副知事
- ③副本部長(植樹祭担当)：副知事、秦野市長、南足柄市長
- ④副本部長(広報・衛生担当)：副知事





(2) 分掌事務

		部	班	分掌事務	
本部長	副本部長 (総括担当)	行幸啓調整部	総務企画班	行幸啓事務の総括、御日程の調整、宮内庁及び行幸啓先等関係機関との連絡調整、その他、他班の分掌に属さないこと 等	
			車両班	行幸啓関係車両の調達及び配車、車両運行に関すること 等	
			接遇班	お泊所及び御休所等における行幸啓関係者への接遇に関すること 等	
			駐車場班	行幸啓関係車両の駐車に係る車両誘導整理に関すること 等	
			道路管理班	御順路の整備及び美化に関すること 等	
			お荷物班	お泊所でのお荷物の受領及び輸送に関すること 等	
		安全防災部	安全防災班	気象情報及び危機管理に関する情報の収集及び提供に関すること 等	
		物産部	物産班	物産展示会場の運営に関すること 等	
		副本部長 (植樹祭担当)	植樹祭総括部	総務班	大会の進行管理、植樹祭担当各部との調整、電話等の対応に関すること 等
				広報記録班	記録写真の撮影、報道機関の受付・誘導に関すること 等
レゾナンス班	レゾナンス会場及び作品御覧会場の運営に関すること 等				
秦野会場運営部	式典班		式典の進行管理に関すること 等		
	お手播き班		お手播き行事の運営に関すること 等		
	会場誘導班		招待者の誘導・案内に関すること 等		
	施設管理班		会場内施設・用具の管理、消防・防災・警備・避難誘導、会場美化に関すること 等		
	入場ゲート班		入場ゲートの運営に関すること 等		
	植樹会場班		植樹会場の運営に関すること 等		
	サービス広場班		サービス広場の運営に関すること 等		
	医療衛生班		救護所の運営、飲食物販売所等の衛生指導と点検に関すること 等		
	関係施設班		県有土木施設の管理 等		
	駐車場班		車両誘導に関すること 等		
南足柄会場運営部	式典班		式典の進行管理に関すること 等		
	式典植樹班		お手植え・代表者記念植樹行事の運営に関すること 等		
	会場誘導班		招待者の誘導・案内に関すること 等		
	施設管理班		会場内施設・用具の管理、消防・防災・警備・避難誘導、会場美化に関すること 等		
	入場ゲート班		入場ゲートの運営に関すること 等		
	植樹会場班		植樹会場の運営に関すること 等		
	サービス広場班		サービス広場の運営に関すること 等		
	医療衛生班		救護所の運営、飲食物販売所等の衛生指導と点検に関すること 等		
	関係施設班		県有土木施設の管理 等		
	駐車場班		車両誘導に関すること 等		
輸送管理部	輸送管理班		バス総合連絡調整、指定集合地の運営に関すること 等		
	バス基地班		バス基地の運営、バスの誘導・管理に関すること 等		
	県外添乗班		県外招待者の受付・案内、バスの添乗に関すること 等		
	県内添乗班		県内招待者の受付・案内、バスの添乗に関すること 等		
	場外誘導班		交差点(分岐点)等での車両誘導に関すること 等		
	特別接伴班		特別招待者の日程調整、接伴に関すること 等		
	クラフト会場運営部		各会場班	クラフト会場の運営に関すること 等	
副本部長 (広報・衛生担当)	広報部		広報班	報道機関との連絡調整、取材箇所を選定及び設営、合同記者会見の運営に関すること 等	
	奉迎部		特別奉送迎班	特別奉送迎者への対応に関すること 等	
			一般奉送迎班	一般奉送迎者への対応に関すること 等	
	救護・衛生部		救護班	行幸啓先における救護所の設置及び運営に関すること 等	
			衛生班	行幸啓先における食品衛生、環境衛生、防疫に関すること 等	

## 12 研修リハーサル計画

- 円滑な運営に向けて、全国植樹祭・行幸啓実施本部員、協力員の研修を行うほか、出演者を含めたリハーサルを実施します。
- 全国植樹祭・行幸啓実施本部員、協力員が業務内容を把握できるように、各班単位の「運営マニュアル」を作成します。

### (1) 実施本部員等の研修計画

- 各班ごとに個別に研修を行い、必要に応じて現地視察、リハーサルへの参加等により実施します。

### (2) 研修・リハーサル概要

リハーサル 研修	時期	場所	参加者	内容
全国植樹祭・ 行幸啓実施本部員研修	2月中旬	県庁	実施本部班長	・全国植樹祭の概要説明
全国植樹祭・ 行幸啓実施本部員研修	4月中旬 ～5月	県庁	実施本部員、 協力員	・全国植樹祭の概要説明 ・本部員研修
総合リハーサル	4/25(日)	各会場	実施本部員、 協力員	・業務場所の確認、業務内容のチェック
荒天リハーサル	4/25(日)	荒天会場	実施本部員、 協力員	・業務場所の確認、業務内容のチェック
前日リハーサル	5/22(土)	各会場	実施本部員、 協力員	・最終調整

## 13 大会運営(開催)の変更等に係る判定会議の設置

荒天時、地震、突発事案等の非常事態に迅速かつ的確に対応するため、開催の可否並びに荒天会場の使用等について判断する判定会議を設置します。

### (1) 業務

- 大会行事の変更、中止等を協議し、その結果を大会会長及び実行委員会会長に報告し、了承を得ます。
- 気象情報、地震情報、火災情報、突発事案関係情報等の収集・分析を行います。

### (2) 構成員

議長	神奈川県環境農政部長
議員	(社)国土緑化推進機構専務理事 (社)国土緑化推進機構常務理事 神奈川県環境農政部副部長 神奈川県環境農政部次長 神奈川県森林課全国植樹祭推進室長

必要に応じ、神奈川県警察、県安全防災局、会場地（秦野市・南足柄市）を所管する消防局等との協議を行うこととします。

### (3) 判定会議の招集

#### ①第1回判定会議（必要な場合のみ開催）

日時：平成22年5月17日（月） 未定時  
場所：神奈川県庁内

#### ②第2回判定会議（必要な場合のみ開催）

日時：平成22年5月20日（木） 未定時  
場所：神奈川県庁内

#### ③第3回判定会議（必要な場合のみ開催）

日時：平成22年5月22日（土） 未定時  
場所：式典行事会場又はレセプション会場

#### ④第4回判定会議（必要な場合のみ開催）

日時：平成22年5月23日（日） 未定時  
場所：式典行事会場

#### ⑤その他必要に応じて開催

#### (4) 大会中止判断基準と対応

大会プログラムの変更、荒天会場への変更や大会中止の判断については、次の基準を参考として判定会議で検討します。

##### ①気象情報に関するもの

・対象情報

横浜地方気象台発表の大雨、洪水、暴風、強風に関する情報

・判断時期

前日まで

横浜地方気象台発表の予報を参考に判断基準に照らしてプログラム変更、荒天会場切替を検討する。

当日

横浜地方気象台発表の予報及び会場地の現況を踏まえ、判断基準に照らしてプログラム変更、荒天会場切替及び大会中止を検討する。

・判断基準

風速(平均速度)	前日までの対応	当日の対応
0m/s ~ 11m/s	—	—
12m/s ~ 15m/s	プログラム変更、荒天会場切替の検討	プログラム変更、荒天会場切替の検討
15m/s ~ 24m/s	プログラム変更、荒天会場切替の検討	大会中止の検討
25m/s以上 ~	プログラム変更、荒天会場切替の検討	原則大会中止

雨量(1時間雨量)	前日までの対応	当日の対応
0mm/h ~ 19mm/h	—	—
20mm/h ~ 29mm/h	プログラム変更、荒天会場切替の検討	プログラム変更、荒天会場切替の検討
30mm/h以上 ~	プログラム変更、荒天会場切替の検討	プログラム変更、荒天会場切替、大会中止の検討

参考：会場地(市)における注意報・警報の種類及び発表基準(横浜地方気象台)

種類(区域)		基準要素	注意報	警報
大雨	(南足柄)	雨量	1時間雨量30mm以上あるいは3時間雨量50mm以上	1時間雨量70mm以上
		土壌雨量指数	91以上	130以上
	(秦野)	雨量	1時間雨量30mm以上あるいは3時間雨量50mm以上	1時間雨量50mm以上
		土壌雨量指数	90以上	129以上
洪水	(南足柄)	雨量	1時間雨量30mm以上あるいは3時間雨量50mm以上	1時間雨量70mm以上
		土壌雨量指数	5以上	17以上
	(秦野)	雨量	1時間雨量30mm以上あるいは3時間雨量50mm以上	1時間雨量50mm以上
		土壌雨量指数	7以上	13以上
暴風	平均速度	—	25m/s	
強風	平均速度	12m/s	—	

## ②地震情報に関するもの

会場地(市)において地震が発生した場合の対応

発生時刻	対 応
各行事開始前 (開場前)	各会場の仮設物等の安全を確認します。 大会関連施設に倒壊等の危険が認められ、短時間での修復が困難と判断された場合はプログラム変更、雨天会場切替又は、大会中止とします。
各行事進行中 (開場後)	各会場の仮設物等の安全を確認します。 (必要に応じて行事を一時中断します) 大会関連施設に倒壊等の危険が認められ、短時間での修復が困難と判断された場合はプログラム変更又は、大会中止とします。

## 14 雨天時・強風時対応計画

- 雨天時計画を策定し、雨天時や強風時に円滑な運営ができるように備えます。
- 晴天時の計画と同じ内容で行うことを基本に、必要な配慮・準備を行います。  
ただし、雨や風の程度に対応した変更プログラムを作成します。
- 各アトラクションは天候に応じ、出演団体・関係者と協議し、変更内容を決定します。
- 会場警備の関係上、傘の持ち込みができないため、全員に雨具を事前に配布し対応します。

### (1) 雨天対策

項目	雨天時運営対応要領
服装	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場警備上、小雨・大雨に関わらず式典・お手植え会場及び植樹会場での傘の使用を原則禁止する。</li> <li>・各参加者の雨具については、大会用品として事前配布する雨具の着用を基本とする。</li> <li>・参加者に履き慣れた滑りにくい靴での来場を事前に告知する。</li> <li>・実施本部員・協力員は、IDカードが透けて見える雨合羽を着用する。</li> <li>・円滑な運営を行うために、雨天時の注意・禁止事項を事前に参加者に案内する。</li> </ul>
バス乗降・案内誘導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各参加者とも乗降場所は晴天同様とする。</li> <li>・スムーズな降車を行うため、雨具は会場到着前に余裕をもって着用いただくよう案内する。</li> <li>・式典終了後の濡れた雨具の持ち込みは、バス内が滑りやすくなるため、回収箱等を用意する。</li> <li>・誘導時に使用するプラカードについては、雨天時にも使用可能なものを作成する。</li> <li>・主動線については、水たまり・ぬかるみ対策の養生等を行う。</li> </ul>
弁当配布	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスの運行スケジュールに影響のないよう、晴天時・雨天時共通とする。</li> <li>・容器については、雨天時にも対応できるよう、水漏れに強いものとする。</li> </ul>
施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般招待者や式典音楽隊等の座席を雑巾等で拭く。</li> <li>・お野立所は、両陛下御到着の直前まで床等を養生する。</li> </ul>

### (2) 強風対策

項目（場所等）	強風時運営対応要領
植樹会場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テント等が飛ばされないよう強風対策を実施する。</li> </ul>
式典会場 お手植え会場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・式典・お手植え</li> <li>・マイクにウィンドスクリーンを設置する。</li> <li>・マイク等物品が飛ばされないよう強風対策を実施する。</li> <li>・お手植え後、苗木が倒れないよう強風対策を実施する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音響・映像</li> <li>・音響・映像機器は、必要な強風対策を実施する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽隊席</li> <li>・楽器や譜面、マイク等は必要な強風対策を実施する。</li> </ul>
サービス広場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テント等が飛ばされないよう強風対策を実施する。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喫煙所、その他火気を使用する場所の巡回を強化する。</li> </ul>

## 1 基本的な考え方

- 宿泊施設の収容人員、宿泊料金、道路交通事情、送迎体制、式典終了後の視察ルート等を総合的に勘案し、無理のない宿泊・輸送体制を整えます。
- 安全で円滑な輸送を図るため、運行ルート、輸送スケジュール及び交通規制などについては、関係者で綿密な検討を行うとともに、バス添乗員の配置・案内等により招待者が快適に移動できる体制を整えます。
- また、環境やバリアフリーに配慮した体制とします。
- 県外招待者に対して、視察コースを設定し、神奈川県内の森林・林業や木材産業に対する理解を深めていただくとともに、神奈川県内の魅力をアピールします。

## 2 宿泊計画

県外招待者等宿泊が必要な招待者の宿泊施設は、植樹会場までのアクセスや宿泊環境の快適性、神奈川県内の地元食材を味わっていただけること等を考慮して、神奈川県実行委員会が指定します。

### (1) 宿泊施設の選定

- 宿泊施設は、接客サービス、館内施設の充実している利用者の満足度の高い旅館、ホテルから選定します。
- 収容人員、宿泊料金、道路事情、式典当日の招待者の輸送体制との関連、式典終了後、視察ルート等を総合的に検討し、最適な施設を選定します。
- 宿泊料金（1泊2食付き、税、サービス料込み）は招待者負担とします。
- 食事メニューに関しては「神奈川の地元食材」を積極的に使用し、神奈川の味を堪能できるよう、旅館・ホテルと打合せを行い、工夫します。
- グリーン購入やCO<sub>2</sub>削減、ゼロエミッションなどに積極的な宿泊施設を優先手配し、神奈川県内の環境に対する取組を発信していきます。

### (2) 宿泊候補地

- 県外招待者の宿泊地は、式典運営等の時間設定、道路の車両運行、休憩所の配置などを考慮し、お手植え会場及び式典会場からバスで概ね90分以内で、まとまって利用できる箱根・小田原エリアを中心に選定します。
- 全国林業後継者大会の参加者向けの宿泊地は、伊勢原市大山地区を選定します。

### 3 輸送計画

- 招待者の輸送は、バスを基本とした招待者区分ごとの計画を作成し、安全・快適・円滑に実施します。
- 必要な輸送機関の確保は、県内のバス会社・タクシー会社の協力を得て手配します。

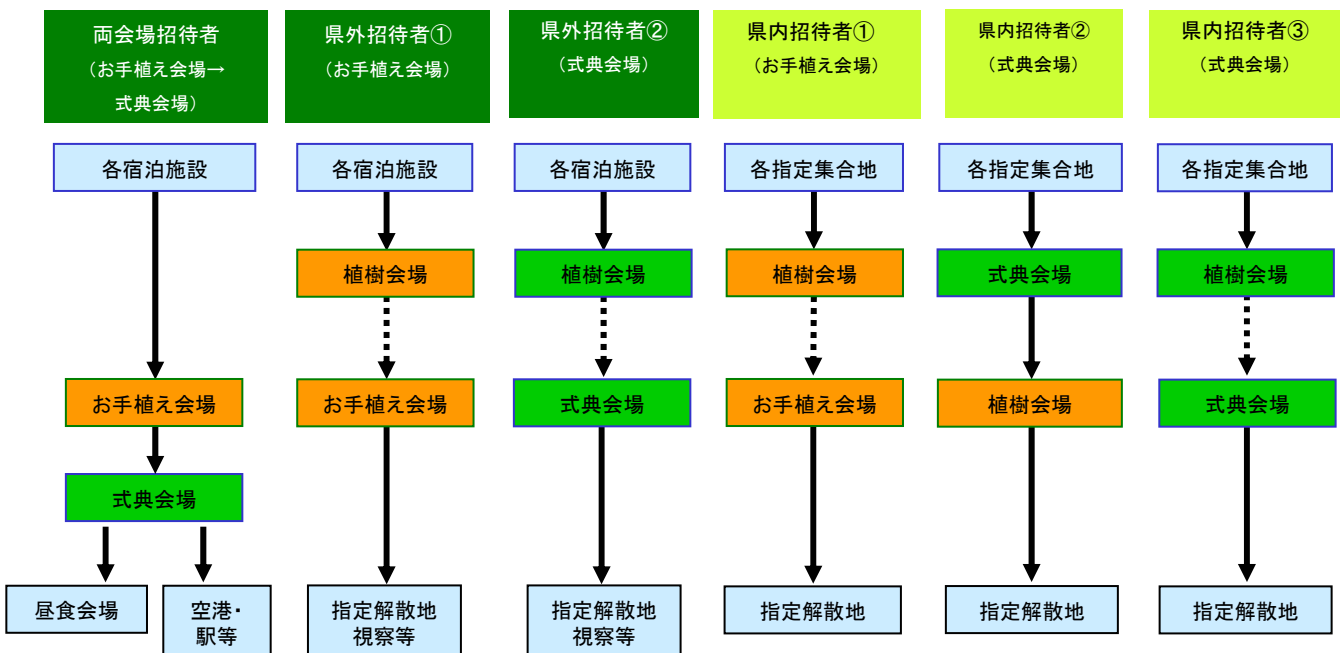
#### (1) 招待者ごとの輸送方針

- 両会場招待者については、随行員を含め乗用車での輸送を基本とし、実施本部員（特別接伴員）を配し、出迎え、見送り、車両添乗、誘導等業務を行います。
- 両会場招待者以外の招待者は、バスでの輸送を基本とします。
- 招待者のバスについては、添乗した実施本部員が、受付、植樹や式典についての説明や各種案内、誘導業務を行います。
- 県外招待者を対象とした視察バスについては、旅行会社のスタッフが添乗します。
- バスをはじめとした輸送手段には環境配慮を行い、排出ガス規制対応バス等の低公害車をできる限り手配します。

区分	使用車両	実施本部員	対応業務内容
両会場招待者	乗用車等	特別接伴員	出迎え、見送り、接伴、誘導
県外招待者	バス	添乗員	各種案内、誘導、視察案内
県内招待者			各種案内、誘導
実施本部員・協力員 出演者・出展(店)者等	バス等	運営部	受付、誘導

#### (2) 輸送フロー

- 招待者は、各宿泊施設又は、予め指定された集合地において主催者の準備した車両を利用し、各会場に向かいます。



※招待者区分については、P45の「参加者行動表(植樹祭当日)」を参照。



■お手植え会場・式典会場周辺のバス輸送ルートマップ



箱根・小田原エリア  
 【県外招待者宿泊】

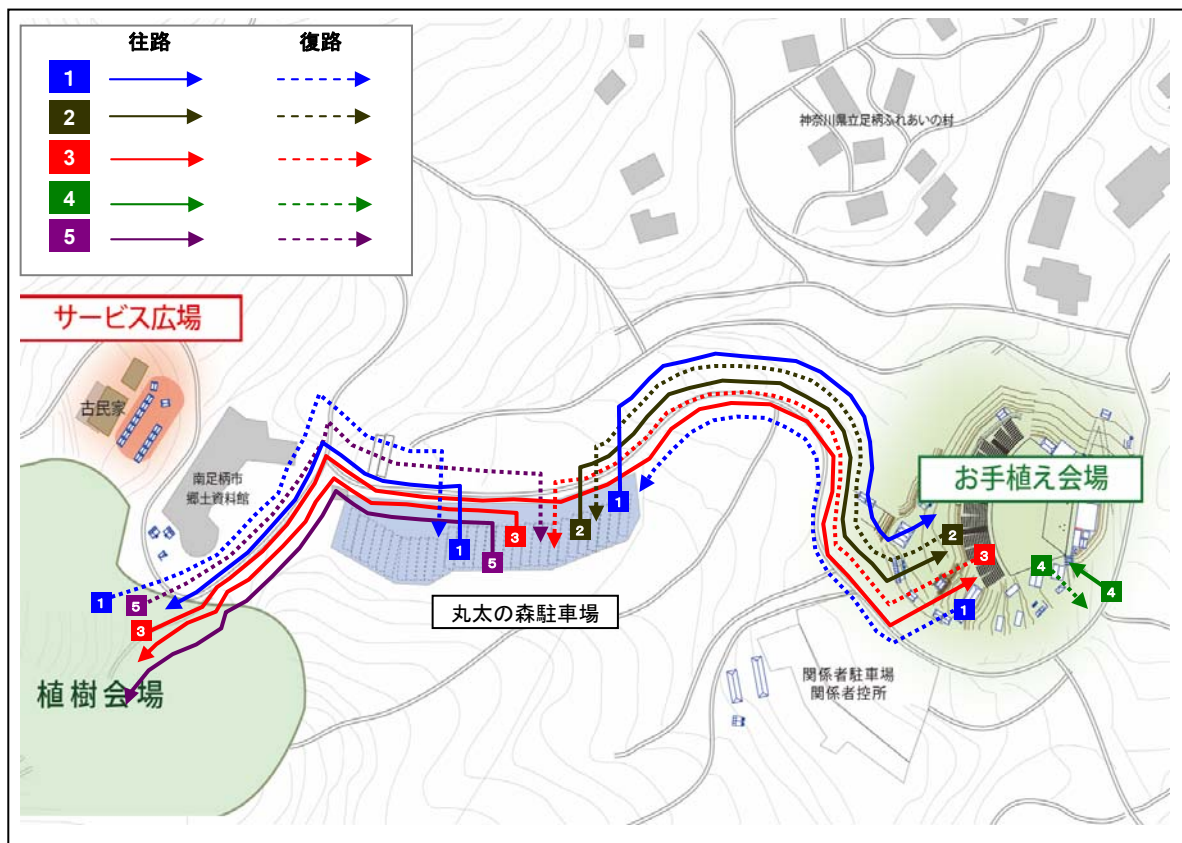
(3) 乗降計画

●参加者別乗車・降車方法

■足柄森林公園丸太の森地区

到着順	参加区分	台数	乗車・降車方法
1	実施本部長・協力員等	10	○丸太の森駐車場で降車し、徒歩で植樹会場、丸太の森、又はお手植え会場へ移動 ○業務終了後、丸太の森駐車場へ徒歩で移動しバスに乗車
2	出演者	10	○丸太の森駐車場で降車し、徒歩でお手植え会場へ移動 ○業務終了後、丸太の森駐車場へ徒歩で移動しバスに乗車
3	県内・県外招待者	33	○丸太の森駐車場で降車し、徒歩で植樹会場へ移動 ○お手植え行事終了後、丸太の森駐車場へ徒歩で移動しバスに乗車
バス台数合計		53	
4	両会場招待者	20 (マイクロバス2台)	○お手植え会場前で降車し、徒歩でお手植え会場へ移動 ○お手植え行事終了後、徒歩で乗車場に移動し式典会場へ移動
乗用車台数合計		20	
5	県内招待者（午後植樹）	36	○丸太の森駐車場で降車し、徒歩で植樹会場へ移動 ○植樹終了後、丸太の森駐車場へ徒歩で移動しバスに乗車
バス台数合計		36	

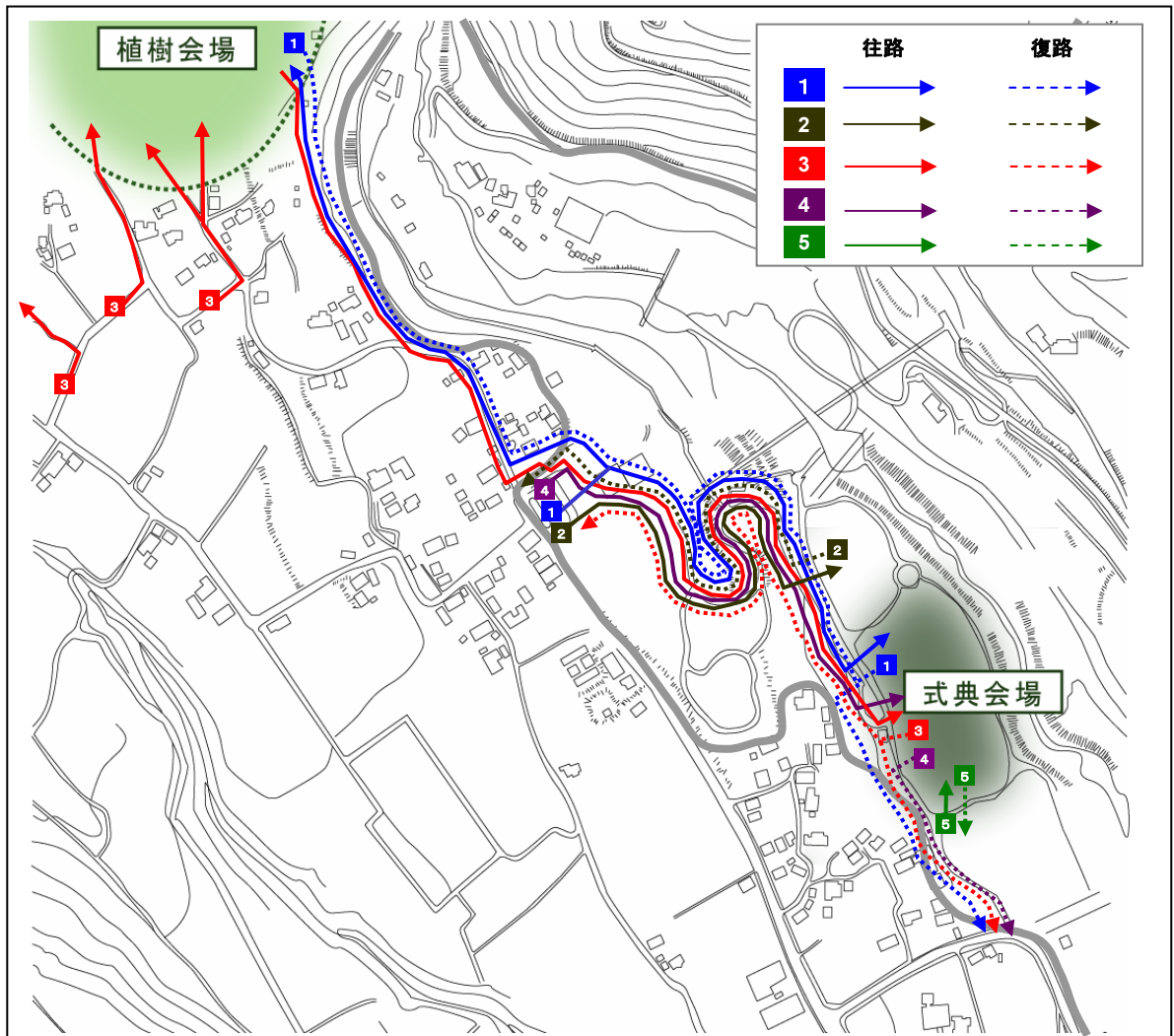
■乗降場所と参加者の動線



■秦野戸川公園地区

到着順	参加区分	台数	乗車・降車方法
1	実施本部長・協力員等	30	○式典会場のバス降車場で降車し、徒歩で植樹会場又は式典会場へ移動 ○業務終了後、バス乗車場へ徒歩で移動しバスに乗車
2	出演者	26	○式典会場のバス降車場で降車し、徒歩で式典会場へ移動 ○業務終了後、バス乗車場へ徒歩で移動しバスに乗車
3	県内・県外招待者	116	○植樹会場付近のバス降車場所で降車し、徒歩で植樹会場へ移動 ○式典終了後、バス乗車場に徒歩で移動しバスに乗車
4	県内招待者（午後植樹）	36	○式典会場のバス降車場所で降車し、徒歩で式典会場へ移動 ○式典終了後、バス乗車場に徒歩で移動しバスに乗車、丸太の森地区の植樹会場へ向かう
バス台数合計		208	
5	両会場招待者	(マイクロバス2台) 20	○式典会場前で降車し、徒歩で式典会場へ移動 ○式典行事終了後、徒歩で乗車場に移動し乗用車に乗車
乗用車台数合計		20	

■乗降場所と参加者の動線



## (4) 関係車両一覧表

区分	内容		乗用車	バス	トラック	その他
両会場招待者	両会場招待者（随行含）		20	2		
小計			20	2		
特別招待者	県外特別招待者			7		
	県内特別招待者			7		
小計				14		
一般招待者	県外一般招待者			46		
	県内一般招待者			125		
小計				171		
出演者	お手植え会場	出演者・道具輸送	15	10	2	
	式典会場	出演者・道具輸送	30	26	4	
実施本部 出展（店）者等	お手植え会場	実施本部員	40	10		
		協力員				
		出展（店）者				1
	式典会場	実施本部員	80	30		
		協力員				
		出展（店）者				3
報道関係者	林野庁、先行記者			3		
	当日記者		30	2	2	
関連業者等	お手植え会場	演出運営	10	1	1	
		中継車				2
		関連業者（JV・JTB）	13	1	1	
	式典会場	演出運営	20	2	2	
		中継車				2
		関連業者（JV・JTB）	24	2	2	
小計			262	87	18	4
救急車	お手植え会場					1
	式典会場					1
消防車	お手植え会場					2
	式典会場					2
弁当業者	お手植え会場・式典会場				19	
	両植樹会場				6	
緊急対応車両	2会場			2		2
予備電源車	2会場					2
無線・保守車	2会場					4
小計			0	2	25	14
合計			282	276	43	18
総合計			619			

## (5) 運行管理体制

- お手植え会場、式典会場周辺に輸送管理本部を設置し、運行状況の管理を一元的に行います。
- 植樹祭参加車両の運行状況を把握し、安全で円滑な運行体制を実現するため、輸送ルート上にチェックポイント、休憩所、バス運行調整地を設置し、それぞれ、係員を配置し、携帯電話や無線機によりリアルタイムの連絡体制を確保します。

### ①休憩所、チェックポイント、調整地

#### ○休憩所

輸送ルート上に設け、輸送時間が90分を超える場合に、トイレ休憩をとります。

#### ○チェックポイント

通過車両を確認し、運行状況の把握、緊急時の対応を行います。

#### ○調整地

会場への車両の乗り入れを円滑に進めるため、係員が輸送バスの車両確認を行い車両区分ごとに会場へ出発させます。

### ②指定集合地

県内招待者の集合地として、県の合同庁舎・市役所等の大型駐車場を備えた集合地を県内各地に指定し、効率的な輸送を行います。

## (6) 駐車場計画

バス等の駐車場は、会場周辺で確保します。

## ① 足柄森林公園丸太の森地区駐車場一覧

## ■ お手植え会場

No	駐車場名	内容	普通	バス	トラック	その他	
1	足柄森林公園丸太の森駐車場	招待者		33 (午後植樹36)			
2	おんりーゆー駐車場	出演者	15	10	2		
		出展(店)者	10		1		
		報道関係者	8	2	1		
		関連業者	10	2	2	2	
		救急車					1
		消防車					2
		弁当業者				10	
		予備電源車					1
		無線・保守車					2
3	県営明神林道	実施本部員等	30				
		関連業者	13				
合計			86	47	16	8	

## ■ バス運行調整地

No	駐車場名	内容	普通	バス	トラック	その他
1	南足柄市防災広場	招待者		36		
		実施本部員等		10		
		緊急対応車		1		1
合計			0	47	0	1

## ②秦野戸川公園地区駐車場一覧

## ■式典会場

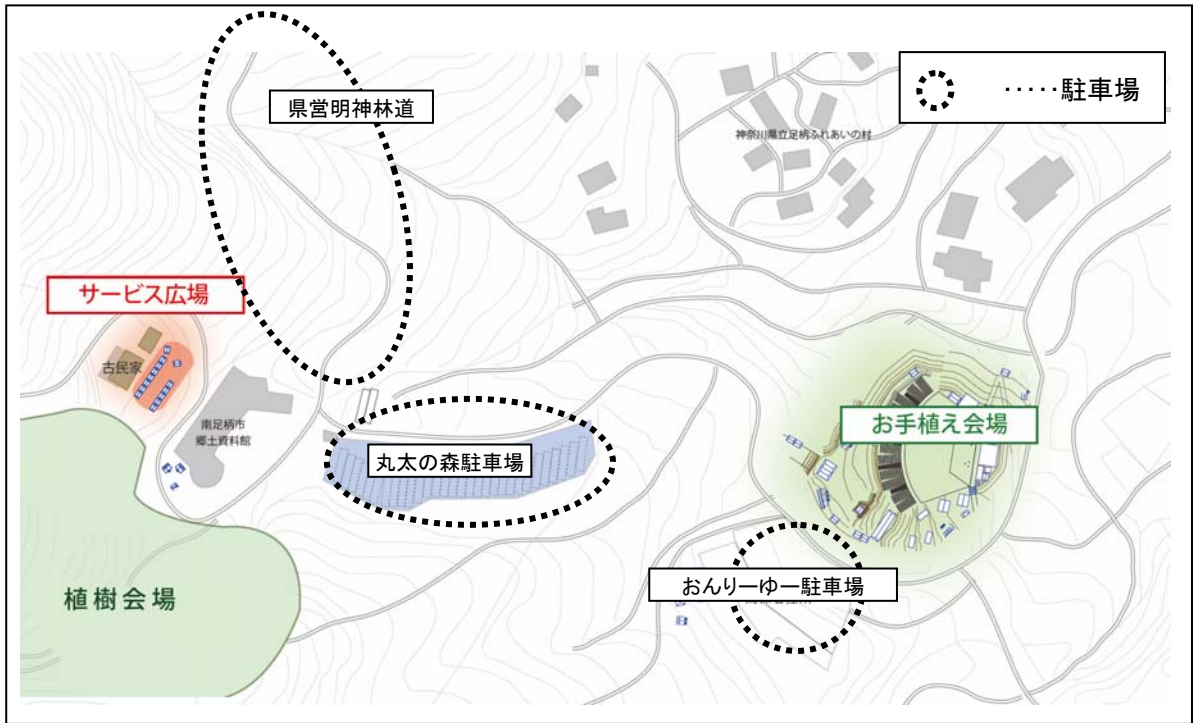
No	駐車場名	内容	普通	バス	トラック	その他
1	秦野戸川公園水無川駐車場	両会場招待者	20	2		
		報道関係者	22	3		
2	秦野戸川公園少年野球場	出演者	8	5	2	
		報道関係者			1	
		関連業者	20	4	4	2
		予備電源車				1
		無線・保守車				2
3	秦野戸川公園大倉駐車場	出展(店)者	30		3	
		救急車				1
		消防車				2
4	秦野戸川公園諏訪丸駐車場	実施本部員等	20			
		弁当業者			15	
5	秦野戸川公園河川敷駐車場	関連業者	24			
合 計			144	14	25	8

## ■バス運行調整地

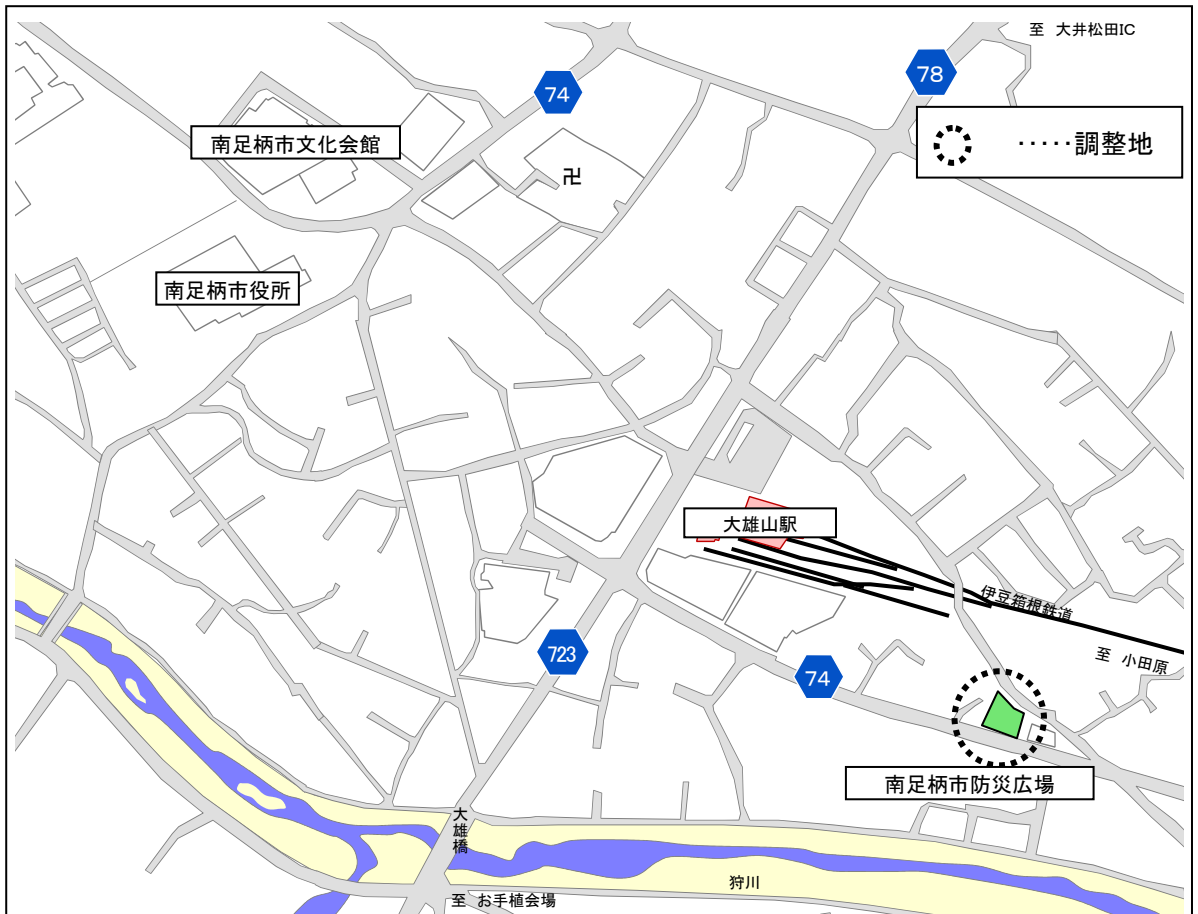
No	駐車場名	内容	普通	バス	トラック	その他
1	スタンレー電気(株)	招待者		36		
2	日産車体(株)	招待者		72		
3	(株)日立製作所	招待者		44		
4	(株)島津製作所グランド	実施本部員等	30	20		
5	秦野市総合体育館及び文化会館臨時駐車場	出演者	22	21	2	
		実施本部員等		10		
		緊急対応車		1		1
合 計			52	204	2	1

③足柄森林公園丸太の森地区

■ 駐車場配置図



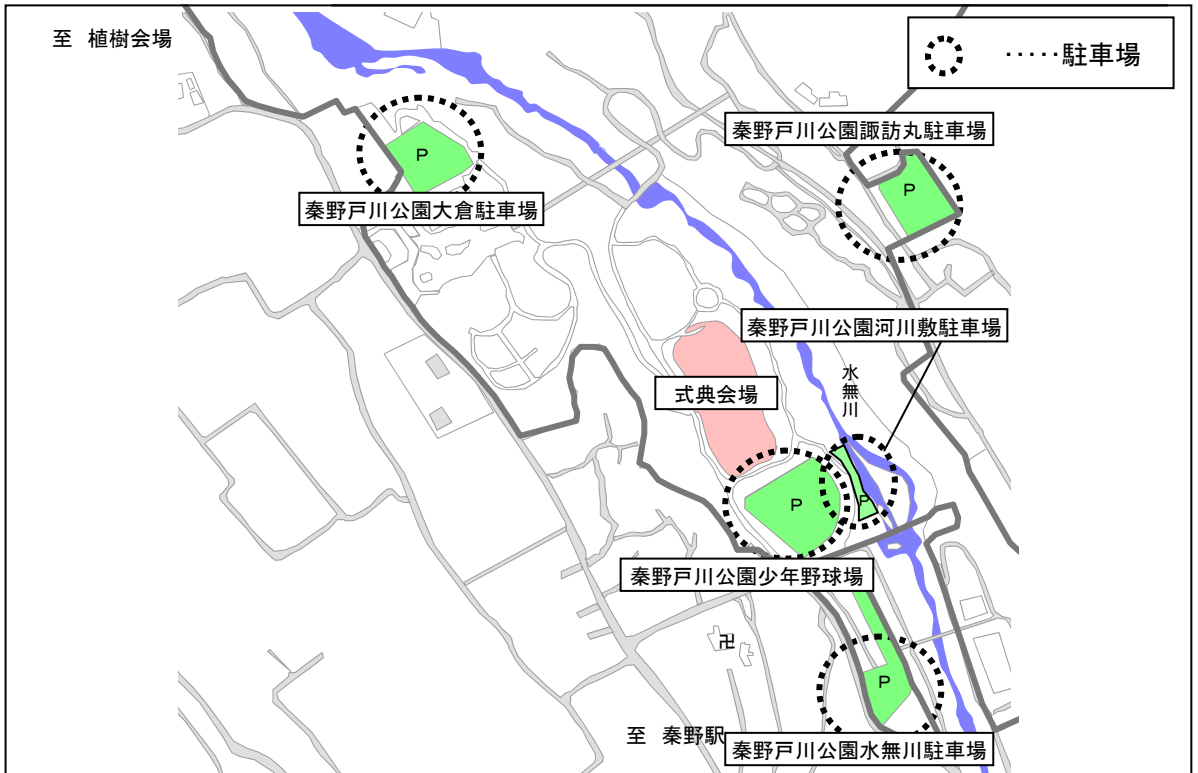
■ バス運行調整地



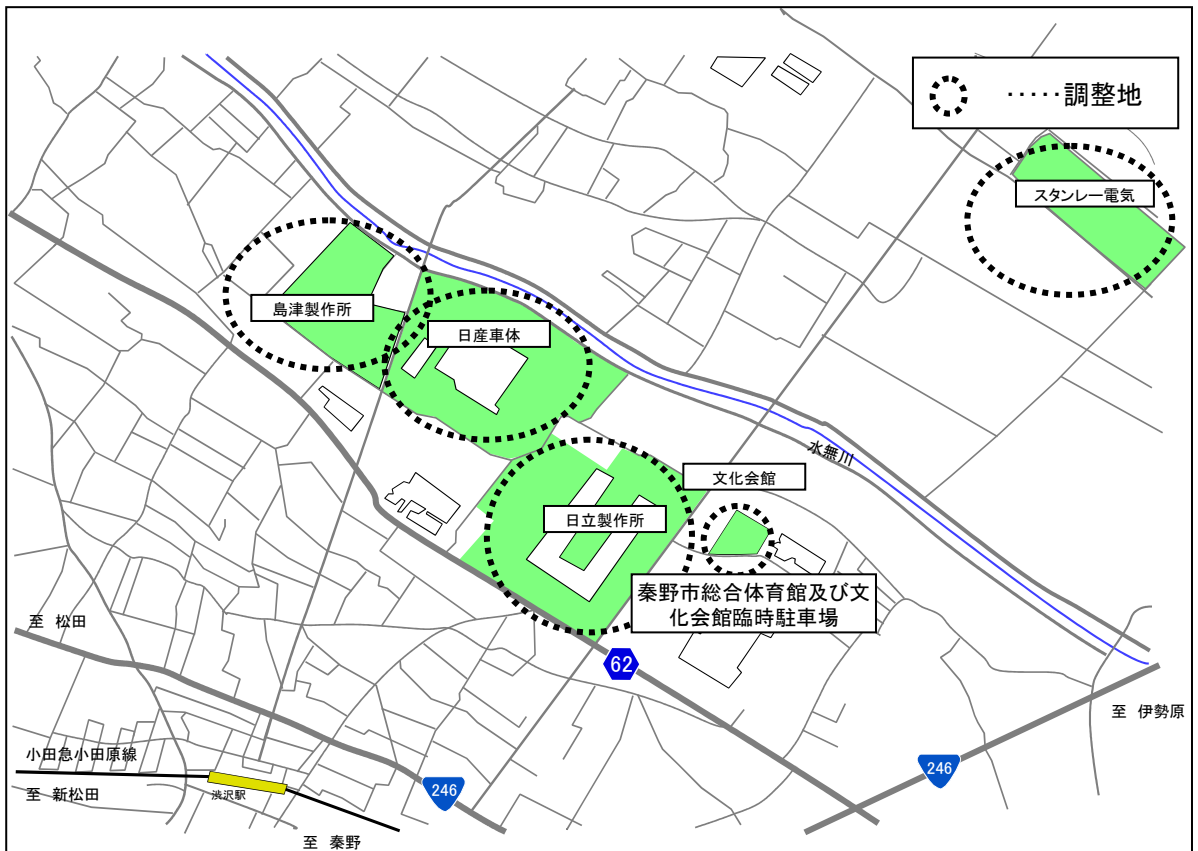


④ 秦野戸川公園地区

■ 駐車場配置図



■ バス運行調整地



## (7) 道路交通対策及びサイン計画等

- お手植え会場及び式典会場周辺の道路や招待者の輸送ルートにあたる道路については、事前に道路管理者と協議の上、道路工事や道路占有許可等の必要な処置を講じます。
- 交通対策については、招待者及び周辺住民等の交通の安全の確保と、車両の円滑な運行を行うため、関係機関の協力を得て、交通整理等を実施します。
- 円滑な輸送を実施するため、主要ポイント（インターチェンジ出口付近、主要交差点、会場周辺交差点）に定置看板を設置します。

区分	対策
駐車許可証の作成	植樹祭で使用する駐車場を利用する車両には駐車許可証を発行し、その管理を行います。
交通混雑等の事前告知及び広報	県内主要アクセス道路及び植樹祭会場周辺道路に、交通混雑等の告知看板を設置します。 交通混雑告知案内チラシ等の作成配布、地元説明会などにより広報します。
交通整理員の配置	バス乗降所や調整地、その交差点周辺に交通整理員を配備し車両の誘導整理を行います。 会場周辺の交差点・対面交通の際に誘導が必要な箇所などに警備員もしくは交通整理員を配置し、関係車両や一般車両の整理誘導を行います。
誘導看板の設置	会場周辺の交差点に誘導看板を設置します。 会場周辺の必要な箇所にカラーコーンなどを設置し、招待者の通行・待機場所等を確保します。 バス乗降所や調整地などに誘導をスムーズに行うための停車位置を表示します。
会場、駅、宿泊地での乗降所の確保	会場でのスムーズな乗降のため、十分な乗降スペースを確保します。 JR小田原駅等に、十分な乗降スペースを確保します。

## (8) 緊急時対応

- 大型バスなど多数の車両が運行するため、安全に細心の注意を払うとともに、万が一の場合に備え、緊急時に迅速な対応ができる体制を整えます。
- 輸送管理部、各休憩所、調整地を緊急時連絡先として、車両事故に備えて、レッカー車や代替えバスを会場周辺に配備します。
- 交通渋滞や万が一の事故に備えて、あらかじめ迂回路を策定します。

## 4 視察計画

- 県外招待者を対象に、神奈川県豊かな自然、観光名所、歴史、文化等を紹介できるよう視察コースを設定します。
- 視察箇所の選定にあたっては、森林や自然、食文化を紹介できる施設や体験型施設をできる限り取り入れることとします。
- 輸送手段を中心として、各旅程中に環境配慮やCO2削減、ゼロエミッションなどを盛り込んだ設定をします。

## 1 基本的な考え方

- 神奈川県全体を全国植樹祭のステージとして、多くの県民に参加していただき、全国植樹祭で発信する神奈川県の森林再生の取組を広く理解していただけるようサテライト会場を設置します。
- サテライト会場で実施するイベントでは、各地域で活動する方々と協働し、地域の特性に応じた森林再生の取組を発信します。
- イベントの実施については、環境に配慮して運営します。

## 2 開催概要

### ①開催期日

平成22年2月6日（土）から5月23日（日）までの間

### ②開催地



## ■会場紹介

会場名	開催日	会場	来場者数	植樹本数
湯河原会場	平成22年2月6日(土)	湯河原梅林公園及び桜郷地区 (足柄下郡湯河原町鍛冶屋ほか)	10,000人	20本
横浜会場	平成22年3月13日(土)	玄海田公園 (横浜市緑区)	1,000人	10,000本
小田原ふるさとの森会場	平成22年3月20日(土)	久野塔ノ峰山頂付近 (ふるさとの森づくり運動実施箇所) (小田原市久野)	500人	2,500本
相模原会場	平成22年4月3日(土)	県立津久井湖城山公園水の苑地 (相模原市城山町)	20,000人	205本
厚木会場	平成22年4月24日(土)	若宮公園 (厚木市森の里)	40,000人	300本
小田原わんぱくらんど会場	平成22年4月29日(木)	小田原こどもの森公園わんぱくらんど (小田原市久野)	1,500人	1,500本
山北会場	平成22年4月29日(木)	大野山山頂 (足柄上郡山北町皆瀬川)	3,000人	1,000本
横須賀・葉山会場	平成22年5月2日(日)	湘南国際村 (横須賀市湘南国際村、 三浦郡葉山町上山口)	2,000人	3,000本
伊勢原会場	平成22年5月8日(土)	伊勢原市総合運動公園 (伊勢原市西富岡)	20,000人	300本
川崎会場	平成22年5月16日(日)	生田緑地 (川崎市多摩区)	5,000人	3,000本
藤沢会場	平成22年5月22日(土)	ひきちがわ 引地川親水公園一帯 (藤沢市大庭)	1,000人	30本
海老名会場	平成22年5月23日(日)	海老名市役所周辺 (海老名市勝瀬)	40,000人	500本
開成会場	平成22年5月23日(日)	中家村公園 (足柄上郡開成町吉田島)	1,000人	10本
合 計			約145,000人	約22,000本

③規模(来場者数) 約14万5千人

## ④実施行事

## ■体感行事

全国植樹祭と共通の取組を体感できるもの

- ・来場者による地域の特性に応じた樹種の植樹
- ・代表者等によるサテライト会場イベントを記念した植樹

## ■情報発信

全国植樹祭の趣旨（森林づくり・森林再生の取組）の理解を促進するもの

- ・森林づくり・森林再生の取組に関する報告、パネル展示
- ・森林に関するシンポジウム
- ・森林づくり活動団体の発表等

## ■関連行事

森林への親しみを深め、森林への恵みを感じるもの

- ・木や自然とのふれあい体験
- ・県産木材、間伐材を使った工作教室
- ・それぞれの市民・町民によるテーマソングの合唱や演奏

## 3 会場計画（開催順）

### (1) 2月開催

#### 【湯河原会場】

開催日 平成22年2月6日（土）

#### ■コンセプト

四季彩のまちづくり

#### ■場所

湯河原梅林公園及び桜郷地区  
さくらごう  
かじや  
 （足柄下郡湯河原町鍛冶屋ほか）

#### ■内容（来場者 10,000人）

- ・四季を通じて自然と触れ合える場所で、代表者による植樹（20本）



雄大なまくやまを目前にし、冬は梅、春は桜と季節の花を配置した格好の場所です。

また、隣接地は、現在整備中ではありますが、改植予定地となっており、完成後桜の花で埋め尽くされます。

## (2) 3月開催

## 【横浜会場】

開催日 平成22年3月13日（土）

## ■コンセプト

次世代につなぐ豊かな森づくり

## ■場所

げんかいだ

玄海田公園（横浜市緑区）

## ■内容（来場者 1,000人）

- ・150万本植樹行動及び開港150周年の森づくりとして、市民参加による植樹を実施
- ・市民から寄せられたドングリから育てた苗木（クヌギ、コナラ、スダジイ等）を中心に植樹（10,000本）



げんかいだ  
玄海田公園は、自然環境の保全と公園利用の調和のとれた、緑を次世代に継承していく、誰もが楽しめる公園として整備が進められています。

## 【小田原ふるさとの森会場】

開催日 平成22年3月20日（土）

## ■コンセプト

生活環境を守るふるさとの森づくり

## ■場所

くのとうのみね

久野塔ノ峰山頂付近

（ふるさとの森づくり運動実施箇所）

（小田原市久野）

## ■内容（来場者 500人）

- ・ふるさとの森づくりを目指し、参加者による広葉樹の植樹（2,500本）
- ・ミニ木工教室



くのとうのみね  
塔ノ峰の山頂付近のハイキングコース沿いに5年間をかけて、市民運動により約7ヘクタールの広葉樹林帯を創る「ふるさとの森づくり運動」を展開しています。

## (3) 4月開催

## 【相模原会場】

開催日 平成22年4月3日(土)

## ■コンセプト

未来へ引き継ぐ水源の森林づくり

## ■場所

しろやま  
 県立津久井湖城山公園水の苑地  
 (相模原市城山町)

## ■内容(来場者 20,000人)

- ・代表者による記念植樹(5本)
- ・地域住民による植樹(3月実施)(200本)
- ・森林づくりの活動団体の発表
- ・第61回全国植樹祭大会テーマソングの演奏



しろやま  
 県立津久井湖城山公園は、城山(津久井城跡)を中心とし、四季を通じて様々な花が楽しめる花の苑地と、水をテーマにした水の苑地があり、会場となる水の苑地では津久井湖と城山が一望できます。

## 【厚木会場】

開催日 平成22年4月24日(土)

## ■コンセプト

潤いとやすらぎを感じられる緑の街づくり

## ■場所

若宮公園(厚木市森の里)

## ■内容(来場者 40,000人)

- ・参加者、代表者による植樹(300本)
- ・森林に関するブース展示



厚木市の西部に広がる自然環境と調和した都市空間を目指してつくられた森の里地区内に位置し、豊かな水と緑の潤いを感じながら、開放感を満喫できる会場です。

## 【小田原わんぱくらんど会場】

開催日 平成22年4月29日（木）

## ■コンセプト

生活環境を守るふるさとの森づくり

## ■場所

小田原こどもの森公園わんぱくらんど  
(小田原市<sup>くの</sup>久野)

## ■内容（来場者 1,500人）

- ・参加者による広葉樹の植樹（1,500本）  
（公園内の森づくり）



「遊びに熱中できる感動と発見の公園」をテーマに、21世紀を担う子どもたちの健やかな成長に質するため、みどり豊かな自然環境のなかで、子どもの心のたかまりや感激、驚き、スリルを発見する喜びなどが体得できる空間の創出を目指した公園です。

## 【山北会場】

開催日 平成22年4月29日（木）

## ■コンセプト

町民とつくる未来につなげる美しい森づくり

## ■場所

大野山山頂（足柄上郡山北町<sup>みなせがわ</sup>皆瀬川）

## ■内容（来場者 3,000人）

- ・参加者、代表者による広葉樹の植樹（1,000本）
- ・大野山の山開きに併せて、牛乳配布やフォルクローレの演奏



サテライト会場となる大野山山頂は見晴らしが良く、また周辺は、乳牛育成牧場となっていて牧歌的な雰囲気がします。今回、大野山山頂に行く遊歩道を整備して、植樹会場としています。



## (4) 5月開催

## 【横須賀・葉山会場】

開催日 平成22年5月2日(日)

## ■コンセプト

人を育て、人が憩う  
次世代に引き継ぐ森づくり

## ■場所

湘南国際村  
(横須賀市湘南国際村、  
三浦郡葉山町上山口)

## ■内容(来場者 2,000人)

- ・参加者による多様な樹種の植樹(3,000本)
- ・持続可能な森林づくりに関する特別講演会など  
(5月3日から5月5日開催の湘南国際村フェスティバルで実施)



三浦半島中央部の丘陵地にあり、半島最高峰の<sup>おおくすやま</sup>大楠山を望みます。12の研究・研修施設及び住居が立地するA地区と、協働参加型植樹や自立的持続可能な森林マネジメントの探求等を行うB・C地区からなります。

## 【伊勢原会場】

開催日 平成22年5月8日(土)

## ■コンセプト

私たちの美しいふるさと 花と緑のまちづくり

## ■場所

伊勢原市総合運動公園(伊勢原市西富岡)

## ■内容(来場者 20,000人)

- ・参加者、代表者による植樹  
(参加者植樹は5月中旬に実施) (計300本)
- ・間伐材工作教室
- ・緑化スタンプラリー



市北部の丘陵地に位置し、周囲にゆるやかな田園風景が広がり遠くに湘南平や相模灘、ふり返れば間近に大山の山肌を仰ぐことができます。公園内には、体育館・野球場・自由広場が整い、また、展望広場・自然散策路などもあります。

## 【川崎会場】

開催日 平成22年5月16日（日）

### ■コンセプト

市民が進める多摩丘陵の森づくり

### ■場所

生田緑地（川崎市多摩区）

### ■内容（来場者 5,000人）

- ・市民、企業の協働による  
自然との共生を目指した植樹（3,000本）
- ・市民参加型のイベント、市民緑化運動キャンペーンの実施



ばら苑をはじめとして四季おりおりの自然を楽しめる川崎市有数のレクリエーション基地であるとともに、市民の手によって豊かな自然の守られている貴重な財産となっています。

## 【藤沢会場】

開催日 平成22年5月22日（土）第61回全国植樹祭開催日前日

### ■コンセプト

みんなで育てよう

「湘南藤沢の緑と水」の街づくり

### ■場所

ひきちがわ ひきちがわ おおぼ おおぼ  
引地川親水公園一帯（藤沢市大庭）

### ■内容（来場者 1,000人）

- ・より過ごしやすい公園を目指した植樹（30本）
- ・クラフト教室 体験・展示
- ・みどりいっぱい市民の会PR



ひきちがわ  
藤沢会場となる引地川親水公園は、親水護岸や大庭遊水池を活用した市民が緑や水に親しめる公園として、春には桜やフジなどが咲き、年間を通じて多くの市民でにぎわっています。

## 【海老名会場】

開催日 平成22年5月23日（日）第61回全国植樹祭開催日

## ■コンセプト

緑あふれる心のふるさと えびなの森づくり

## ■場所

海老名市役所周辺（海老名市勝瀬）

## ■内容（来場者 40,000人）

- ・第61回全国植樹祭と一体となった植樹行事などの実施（500本）
- ・参加者、代表者による植樹
- ・「えびなの森創造事業」活動経過報告



メイン会場を海老名市役所とし、市役所を中心に、いくつかの場所で市民植樹を実施します。少しずつですが、海老名をみどりあふれる街にするため、市民・団体・企業・行政が共に力を合わせて取り組んでいます。えびなの森創造事業を通して、第61回の全国植樹祭を盛り上げます。

## 【開成会場】

開催日 平成22年5月23日（日）第61回全国植樹祭開催日

## ■コンセプト

町民による緑あふれる住みよい街づくり

## ■場所

中家村公園（足柄上郡開成町吉田島）

## ■内容（来場者 1,000人）

- ・町立小学校2校の代表児童による記念植樹（10本）
- ・間伐材丸太切り大会
- ・緑のコンサート



開成駅から徒歩10分程度の市街地にある公園で、公園設置以前から屋敷林があり町内では数少ない緑地であったことから、地域住民の要望により緑地を多く取り入れた緑化公園となっています。山や森のない開成町にとっては、人々に潤いと安らぎを与えてくれる貴重な公園です。

## 1 基本的な考え方

暴風雨、集中豪雨等の荒天に見舞われ、晴天会場での式典実施が困難であると「大会運営（開催）の変更等に係る判定会議（P64参照）」で判断された場合は、荒天時プログラムに変更し、荒天会場で式典を実施します。

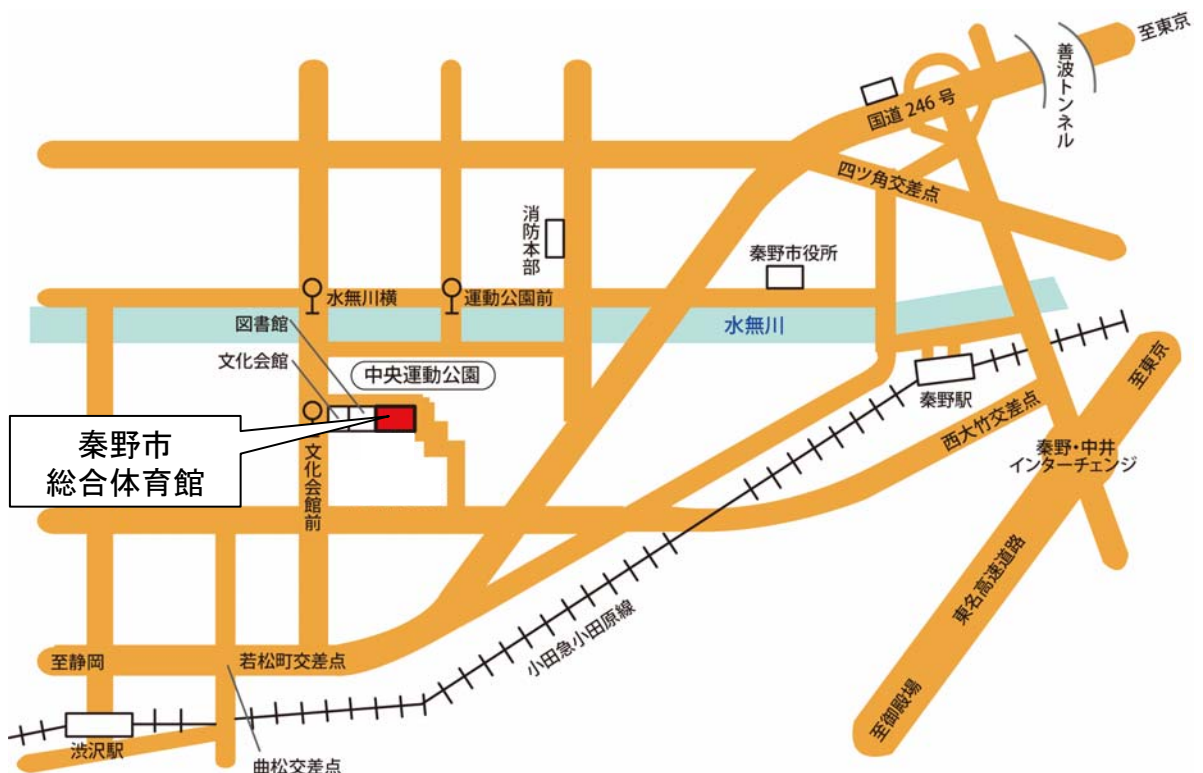
## 2 開催規模

荒天時式典の参加者数は、招待者900人、実施本部員等300人の計1,200人程度とします。

参加区分	人数	備考
両会場招待者	20人	国務大臣、林野庁長官、（社）国土緑化推進機構会長・理事長、神奈川県知事・県議会議長等
県外招待者	280人	国会議員、中央省庁・団体関係者、緑化功労者、被表彰者等
県内招待者	600人	県議会議員、市町村長、市町村議会議長、被表彰者、実行委員会委員等
実施本部員・協力員等	300人	実施本部員、協力員等
合計	1,200人	

## 3 会場

### ■ 秦野市総合体育館（秦野市平沢）

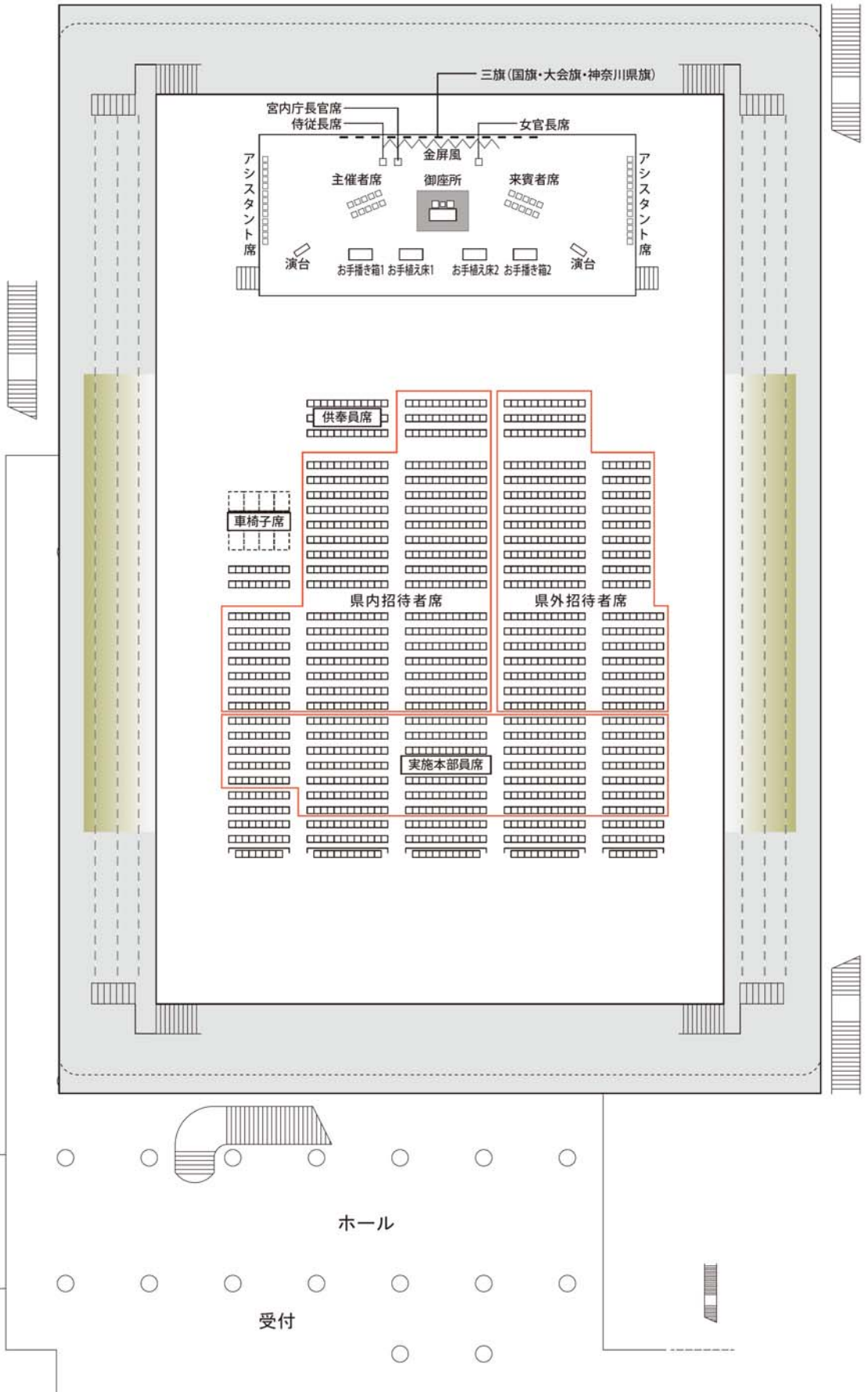


## 4 実施内容

## ■荒天時式典プログラム

時間	プログラム	登壇者
10:40	プロローグ説明	
10:44	プロローグアトラクション	
11:00	式典案内	
11:10	天皇皇后両陛下 御着	御先導:神奈川県知事 お出迎え:大会会長、国土緑化推進機構理事長
11:14	開会のことば	国土緑化推進機構副理事長
11:15	国歌斉唱	
11:17	主催者あいさつ	大会会長、神奈川県知事
11:21	表彰 国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール 緑化功労 全日本学校関係者緑化コンクール 神奈川県緑化功労	大会会長 農林水産大臣 文部科学大臣 神奈川県知事
11:27	苗木の贈呈	農林水産大臣、環境大臣
11:29	天皇皇后両陛下のお手植え、お手播き	御先導:国土緑化推進機構理事長、神奈川県知事 介添え:緑の少年団
11:41	大会宣言	国土緑化推進機構理事長
11:43	リレーセレモニー	神奈川県知事、和歌山県知事
11:46	閉会のことば	神奈川県議会議長
11:48	天皇皇后両陛下 御発	御先導:神奈川県知事 お見送り:大会会長、国土緑化推進機構理事長
11:52	エピローグアトラクション説明	
11:54	エピローグアトラクション	
12:10	終了	

■会場平面図



## 5 招待者行動スケジュール

全体進行	両会場招待者	県外招待者	県内招待者
	20人	280人	600人
			指定集合地
	宿泊施設	宿泊施設	
	受付・着席 10:35	受付・着席 10:30	受付・着席 10:30
10:40 プロローグ	荒天会場	荒天会場	荒天会場
11:00 式典案内			
式典 11:10 〜 11:48			
11:52 エピローグ			
12:10 終了	昼食会場	昼食（会場内）	
	空港・駅等	指定解散地等	指定解散地

## 1 基本的な考え方

- 全国植樹祭の開催を契機に、「かながわ森林再生50年構想」を促進するため、県民、活動団体、事業者、市町村が一体となり、神奈川県力をもって取り組みます。
- 全国に先駆けて、森林再生の取組を積極的に行ってきたNPO等とともに、さらなる県民運動の発展を目指します。
- 全国植樹祭の開催に関わるすべての参加者に、森林再生への参加を呼びかけ県民運動の広がりを目指します。
- 県民誰もが参加しやすい運動形態とし、地域の活動と連携し地域の特性を生かした取組を展開します。
- 継続的に拡大、広がる運動を目指します。

## 2 運動の進め方

- 現在取り組まれているNPO等の活動、市町村の活動、事業者の活動と連携・協働し、県民運動の軸を構築し、全県的な運動の展開を、神奈川県力を持って、取り組みます。
- 県民一人ひとりの自発的、積極的な活動を基本として、展開します。
- 全国植樹祭への参加や、県民運動へ参加いただいた県民一人ひとりが、開催理念や目的、体験・経験したことをインタープリターとして、身近な人へ、伝え、発信し、県民全体への広がりを促進します。
- 参加しやすい運動形態をとるとともに、幅広く広報活動することで、県民の参加機会を促進します。
- かながわ森林再生50年構想推進の原動力として、また継続的な運動に発展させるため、森林づくり活動団体をはじめとしたNPO等との協働をさらに進めるとともに、全国植樹祭開催後にも継続的に実施する取組等を検討していきます。

### ■ 県民参加の方向性

区分	参加機会の例	参加対象項目						
		県民 (一般公募)	NPO団体	青少年団体	地域団体	文化芸能団体	林業関係団体	その他 (学校等)
広報関連	・大会テーマ、シンボルマーク、大会ポスター原画等の一般公募	○						
植樹関連	・植樹指導 ・第61回全国植樹祭で植樹された樹木の管理・育樹		○	○			○	○
式典関連	・植樹介添え ・表彰、アトラクション等		○	○		○		○
運営関連	・会場案内、清掃、ゴミの分別指導など		○	○	○			○
会場整備関連	・森林整備、飾花、清掃、装飾活動など	○	○	○	○	○	○	○
記念事業	・プレ全国植樹祭 ・ポスト植樹祭 ・苗木のホームステイ (ドングリからの苗木づくり) ・森のリレーフェスタ ・かながわジュニア・フォレスター教室 ・カウントダウンセレモニー ・飾花プランターづくり	○	○	○	○	○	○	○
関連事業	・全国林業後継者大会 ・森林循環フェア ・水源林のつどい ・成長の森事業 ・定着型ボランティア ・水源林パートナー・森林再生パートナー ・開催会場市(楽野市、南足柄市)の取組 ・サテライト会場設置市町の取組	○	○	○	○	○	○	○
その他	・NPO等による自主企画事業の実施 ・個人、企業、団体による協賛金	○	○			○		○

注：○印は特に参加を意識した対象項目であり、無印の場合でも参加可能



### 3 県民運動を促進する、神奈川力について

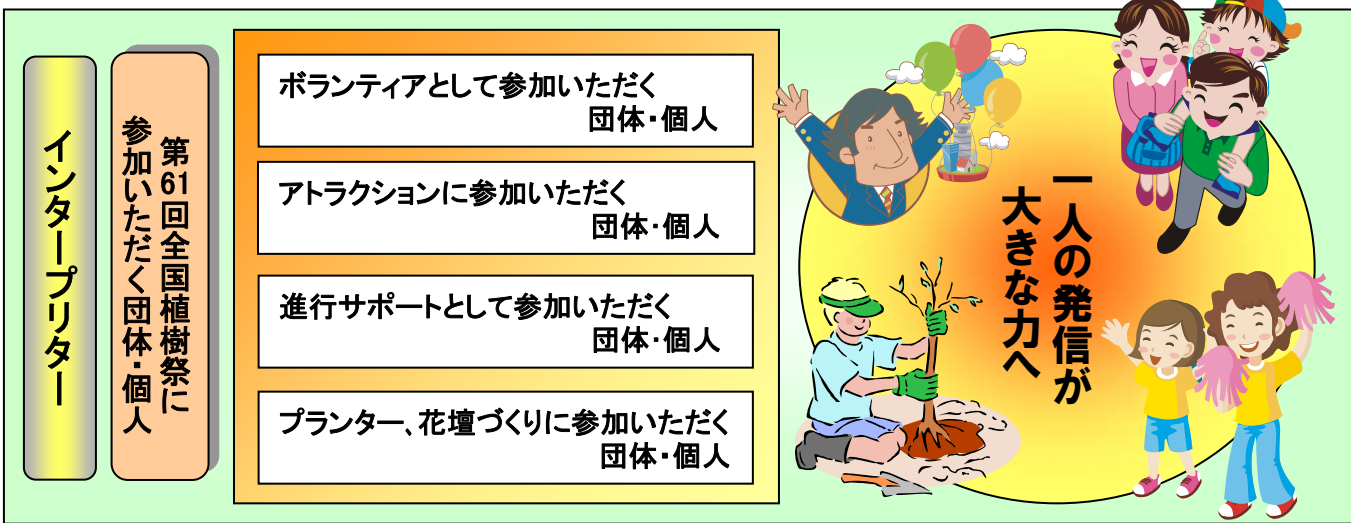
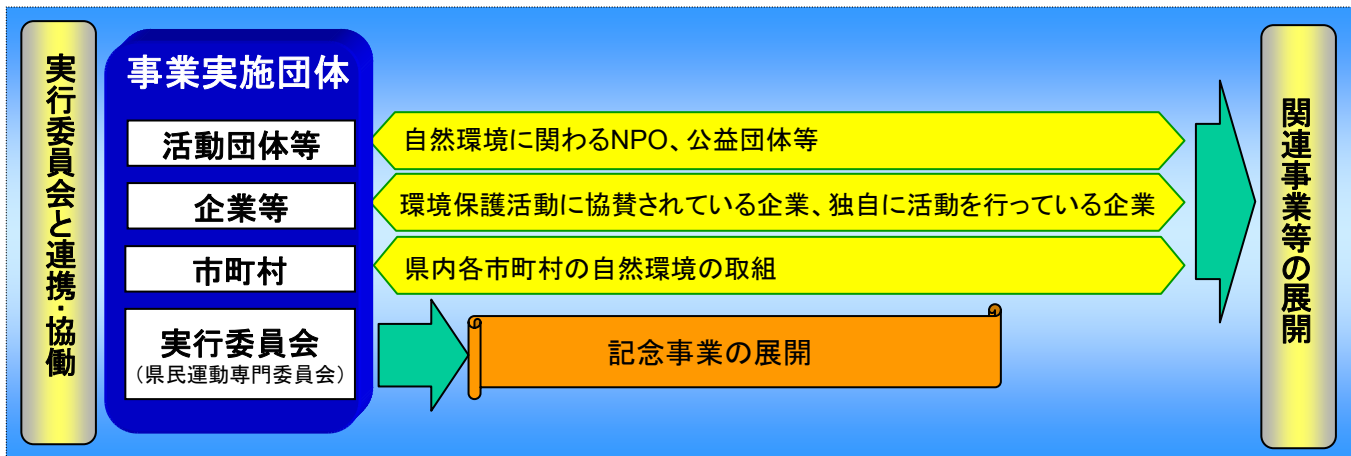
- 県民運動を促進するために、神奈川力を発揮します。
- 県民運動の積極的参加を促進し、参加された県民一人ひとりが、身近な人へ、伝え、発信し、県民全体への広がりを目指します。
- 神奈川力の考え

全国植樹祭における、神奈川力とは、地域活動団体、事業者、市町村等と神奈川県実行委員会が連携、協働し展開する事業の総合力であり、またこの事業や、全国植樹祭に参加される、県民一人ひとりの自発的発信力を最大限に活かし、生み出される力の広がりを、神奈川力と考えます。



## 4 運動の推進組織

- 神奈川県実行委員会が、関連団体、事業者、市町村と連携、協働しながら、県民運動を円滑に推進します。
- 県民運動の軸になる関係団体の事業や、全国植樹祭にいろいろな角度で参加されるすべての県民が、運動を進める一員としての役割を担い、幅広く広がる組織を目指します。



**記念事業及び関連事業や、全国植樹祭に参加された  
一人ひとりがインタープリターとなり  
さらに多くの県民へ広がり、未来へと継続します。**

インタープリターとは、解説者・通訳者という意味です。  
野外でこの言葉を使う場合、自然解説者とか自然案内人として使われています。自然は多くの事柄を私たちに語りかけていますが、それらはいわゆる言葉や文字ではないものです。  
そんな自然からのメッセージを、身近な方に解りやすくお伝えし、県民運動（森林再生に必要な取組）への参加へのご案内するのが、インタープリターです。

## 1 基本的な考え方

- 記念事業・関連事業等では、全国植樹祭の開催PR、開催への機運の盛り上げ、森林再生の取組のPRを図るとともに、森林のもたらす恵みや手入れの必要性などについて県民に広くアピールしていきます。
- 全国植樹祭の開催を契機とした記念事業、関連事業を通じて、森林再生に向けた県民協働の取組をさらに広め、かながわ森林再生50年構想を促進していきます。
- かながわの特性である、山エリア、都市エリア、海エリアのそれぞれの環境を踏まえ地域特性を生かした展開を目指します。
- 子どもから、大人、お年寄りまで幅広い参加を促すため、楽しみながら体験できるプログラムや、幅広い参加形態で構成します。
- 記念事業・関連事業等の実施内容の検討にあたっては、広く県民提案を募集し、幅広いアイデアを集めるとともに、多様な主体のかかわりを促進していきます。

### 【県民提案事業の募集について】

記念事業・関連事業等の実施内容の検討にあたり、以下のとおり県民提案の募集を実施し、県民の皆様から、森林づくり活動をはじめ、音楽や芸術など、イベントを盛り上げる28件の提案をご応募いただきました。提案いただいたアイデア等を活かし、記念事業・関連事業等を企画・実施していきます。

#### < 県民提案募集結果 >

- 募集期間 平成21年1月21日～3月2日
- 応募件数 28件

## 2 記念事業の内容

全国植樹祭の目的を達成するため、神奈川県実行委員会が主体となって行事等を実施します。実施にあたっては、県民参加を図るとともに、参加者同士が互いに交流・協力・知識の習得等をしあえるよう配慮します。

### ■ 苗木のホームステイ（ドングリからの苗木づくり）

全国植樹祭で使用する苗木の一部を育成するため、地元小学生等の参加を募り開催会場周辺でドングリを採取するとともに、「苗木のホームステイ」の取組により小学生等による苗木の育成を行いました。これらの活動を通じて、緑の大切さを伝え、子どもたちの森づくりへの関心を高めました。

- 時期 平成19年秋季～平成22年春季
- 場所 ドングリ採取：秦野市・南足柄市会場周辺  
苗木の育成：秦野市・南足柄市の小学校、  
県内の緑の少年団
- 規模 参加者 約2,000人  
育成ポット数 約3,300ポット
- 内容 ドングリ採取、ドングリから苗木を育成、全国植樹祭で使用



### ■森のリレーフェスタ

大会への機運を全県的に盛り上げていくために、「植える」・「育てる」・「活用する」といった取組を県民の皆様に体験していただくイベントを全国植樹祭開催までの間に、県内各地をリレー方式で回りながら実施しました。また、実施にあたっては、植樹祭開催後の継続を目指し、森林づくりや自然体験の取組を進めるNPO団体等と協働して行いました。

- 時期 平成20年7月～平成22年2月
- 場所 県内各地(サテライト会場設置市町を中心として)
- 規模 各回100名程度、7回程度実施
- 内容 植樹、育樹、自然観察、森林体験など



### ■飾花プランターづくり（会場間伐材の活用と子どもたちの木工体験）

プレ全国植樹祭で会場を飾るプランターをお手植え会場（南足柄市）で発生した間伐材を活用して製作しました。製作にあたっては、県内の子どもたち（主として中高生）を中心としたボランティアの参加をいただき作成しました。

- 時期 平成21年5月16日(土)
- 場所 県立21世紀の森
- 参加者 46名



### ■プレ全国植樹祭

第61回全国植樹祭の開催PRと機運の盛り上げ、森林再生の必要性のPRを目的として開催しました。開催にあたっては、かながわ森林インストラクターや緑の少年団、ボーイスカウト・ガールスカウトを始め多くの県民・団体（NPO、学校、企業等）のご協力をいただきました。

- 時期 平成21年5月24日(日)
- 場所 秦野戸川公園地区、足柄森林公園丸太の森地区
- 参加者 3,042人(秦野会場2,078人、南足柄会場964人)
- 内容 記念植樹、式典、アトラクション、特産品販売、パネル展示など



### ■かながわジュニア・フォレスター教室

子どもたちの森づくりへの関心を高めるとともに、自然や森林に関する知識と経験の向上を目指し、小学3年生から高校2年生までを対象とした森林体験活動等を行いました。実施にあたっては植樹祭開催後も継続することを目指し、森林づくりや自然体験の取組を進める全国森林インストラクター神奈川会と協働して行いました。

- 時期 平成21年度
- 場所 県内各地、4回実施
- 内容 自然観察、子ども樹木博士教室、林業体験、キャンプ体験など



### ■カウントダウンセレモニー

県民に広く全国植樹祭への参加をアピールするため、全国植樹祭当日にご参加いただく参加者の公募開始にあわせ、今井通子氏（医師・登山家）による講演等を行うとともに、森林再生の取組を進めるNPOの活動発表を（財）かながわトラストみどり財団と協力して実施しました。また、全国植樹祭当日へ向け、開催への機運を高めるため、カウントダウンを開始し、作詞作曲した白井貴子氏の歌唱によって、テーマソング発表を行いました。

- 時期 平成21年10月10日（土）
- 場所 横浜赤レンガ倉庫イベント広場
- 規模 約22,000人
- 内容 講演、森林再生活動発表、テーマソング発表、カウントダウンなど
- 共催 （財）かながわトラストみどり財団  
（社）国土緑化推進機構



### ■全国植樹祭の記録誌発行、記録映像作成

第61回全国植樹祭の式典、植樹行事をはじめ、各種の記念行事や県民運動の活動状況等を、記録誌や記録ビデオ等にまとめます。

### ■記念碑の建立

第61回全国植樹祭の開催を記念して、御製碑を建立します。

### ■ポスト植樹祭

第61回全国植樹祭以後も開催理念を伝え広げるため、植樹や育樹の体験型イベント等を行い、県民参加による森づくりを継続します。

- 時期 平成22年度以降
- 場所 未定
- 内容 植樹、育樹、自然観察会、木工体験、その他森林体験など

### 3 関連事業等の内容

関連団体が企画・運営する事業のうち、全国植樹祭の目的と関わりが深く、互いに連携していく必要がある事業を関連事業と位置づけ取り組んでいきます。

#### ■第39回全国林業後継者大会

全国の林業後継者が一堂に会し、森を育む担い手として果たす役割について意見を交わし、健全な森づくりにより、豊かな社会を築くことを国民に発信するための大会とします。

- 時期 平成22年5月22日(土) (第61回全国植樹祭開催日の前日)
- 場所 伊勢原市民文化会館
- 内容 式典、活動発表、基調講演、パネルディスカッションなど

#### ■森林循環フェア

「森林資源の循環」の仕組みを再構築していくため、森林づくりや木材に対する県民の関心を高めるとともに、林業・木材産業並びに家づくりや家具づくりの関係者等の連携を図り、県産木材のより一層の利用を促進するため開催します。

- 時期 毎年秋季
- 場所 県内各地
- 規模 約15,000人
- 内容 企画展示、県産木材木工コンクール、ブース出展、体験コーナー、住宅相談会、クイズラリー

#### ■水源林のつどい

神奈川県における水源の森林づくりへの理解を深めていただくため、森林再生に取り組むNPO団体や企業等と連携・協働して開催します。

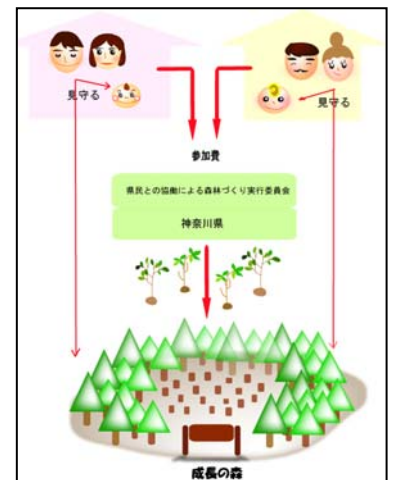
- 時期 毎年秋季
- 場所 やどりき水源林(松田町寄)
- 規模 約500人
- 内容 水源林トレッキング、間伐体験、木工工作、森のコンサート、野点、森のゲームなど



#### ■成長の森事業

神奈川の森林再生のための象徴的な取組として、赤ちゃんが生まれたご家族等を参加者とし、赤ちゃんの誕生を記念して「成長の森」をつくり、次の世代へ引き継いでいくことを目的として、(財)かながわトラストみどり財団が県と協力して実施します。

- 時期 平成19年秋季～
- 場所 やどりき水源林(松田町寄)
- 内容 植樹(参加者による苗木の寄付)、見学会など



### ■定着型ボランティア

県の水源林の一定エリアを10年間、活動フィールドとして提供を受けた参加グループが、森林づくりの目標をもって、主体的な森林づくりの活動を行っていただく取組を進めます。

- 時期 平成19年度～平成29年度
- 場所 やどりき水源林（松田町寄）  
魚止めの森（相模原市津久井町鳥屋）など
- 内容 森林づくり活動など

### ■水源林パートナー・森林再生パートナー

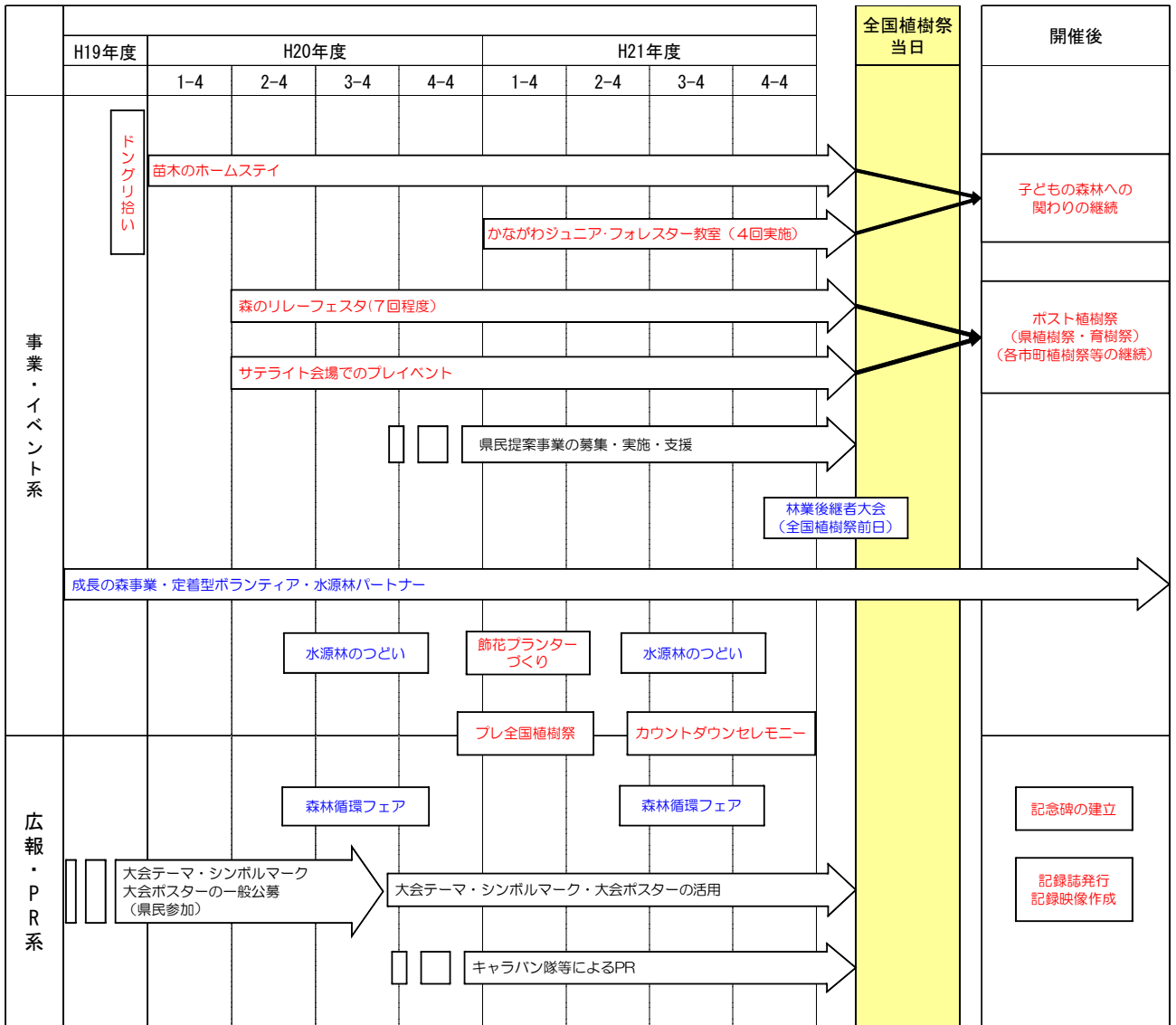
企業・団体等(水源林パートナー・森林再生パートナー)から5年間、継続した寄附を頂くとともに、森林活動により水源の森林づくりに参加協力をいただく取組を進めます。

- 時期 毎年(通年)
- 場所 やどりき水源林（松田町寄）、ほか水源確保地
- 内容 森林づくり活動など（企業団体等は命名、銘板の設置が可能）

記念事業・関連事業等については、本計画に記載の事業の他、実行委員会や県主催事業をはじめ、開催会場である秦野市・南足柄市やサテライト会場の所在市町（横浜市、川崎市、横須賀市、藤沢市、小田原市、相模原市、厚木市、伊勢原市、海老名市、葉山町、山北町、開成町、湯河原町）及び関係団体等の連携協力のもと大会趣旨にふさわしい多くの行事等を展開し、全国植樹祭を盛り上げていきます。

〔実施事業の展開〕

※記念事業  
 ※関連事業  
 ※その他（広報・協賛等含む）





## 1 基本的な考え方

- 広報活動や企業協賛を通じて、大会の開催を広くPRするとともに、開催への機運を高めていきます。
- これらの活動を通じて、神奈川の森林の現状やそれを再生していくための手段なども併せて周知し、森林づくりの県民運動への参加につなげていきます。

## 2 広報計画

### (1) 広報計画の考え方

各種媒体を活用し、わかりやすく、タイムリーな情報の発信により、全国植樹祭を周知するとともに、大会や県民運動への参加を呼びかけます。

- 全国植樹祭の開催と、森林のもたらす恵みや手入れの必要性などについて、県民に広くアピールし、森林の再生に向けた協働の取組を前進させます。
- 各種広報媒体の特性を活かした情報発信による、県民との“コミュニケーションづくり”により、全国植樹祭の県民運動の推進を図ります。
- 全国植樹祭や各種記念事業について、広く県民に発信し、開催に向けた機運を醸成します。
- 公募により、決定した大会テーマ、シンボルマーク、大会ポスター原画を各種パンフレットなどに活用し、第61回全国植樹祭の開催を県内外に広報します。



かなりんちゃんピンバッチ



かなりんちゃんぬいぐるみとミニのぼり



プレ大会ポスター

## (2) キャラバン活動

市町村や団体が実施する南足柄市民文化祭や秦野市民の日などの各種イベント、街頭・駅前などに延べ200日、大会マスコットの着ぐるみを登場させてチラシの配布を行うなどのキャラバン活動を行い、子どもたちを含め多くの県民の皆さんに大会への関心を高めていただき、大会に向けた機運を全県的に盛り上げていきます。

広報チラシ約350,000枚配布予定



相模大野駅でのキャラバン活動の様子

## (3) 県や市町村等の公共広報の活用

- 県のたよりや広報番組を有効に活用して、全国植樹祭開催についての情報を提供しています。

県のたより：各種記念事業の開催案内や全国植樹祭の参加者公募などの情報を掲載したほか、H21年4月から毎号全国植樹祭に関するクイズを掲載するなどして、大会の広報を行っています。

県の広報番組：ハマランチョ、コンシェルジュ神奈川などで大会を広報しました。

- ・ハマランチョ（tvk）：全国植樹祭開催とプレ全国植樹祭の参加者公募について、H21年3月18日に放送。
- ・KANAGAWA MORNING CAFÉ（FMヨコハマ）：プレ全国植樹祭の開催結果についてH21年6月6日に放送。
- ・コンシェルジュ神奈川（tvk）：プレ全国植樹祭の開催結果についてH21年6月7日に放送。

- 市町が発行する広報誌やイベントで、市町と連携した広報を行っています。

市町の広報誌：プレ全国植樹祭の情報や大会参加者の公募情報を掲載しました。

市町のイベント：厚木市緑のまつりなど市町が開催するイベントで広報活動を行いました。



厚木市緑のまつり



えびなの森創造事業 第2回市民植樹祭



伊豆箱根鉄道大雄山線に掲出したポスター

## (4) 県内メディアを中心とした各種メディアの有効活用

全国植樹祭、記念行事、県民運動等を伝えるために、県内の新聞、テレビ、ラジオ、インターネット、交通広告を通じて参加者公募の広告を行う等、それぞれの媒体特性を活かした適時・適切な情報発信を行っています。

## (5) インターネットの活用

第61回全国植樹祭の公式ホームページを活用し、「各種イベント」の実施や「神奈川の森林づくり」に関する取組を積極的に情報発信するほか、各種申込等についてもインターネットを効率的に利用します。



- ・全国植樹祭とは
- ・大会会場
- ・各種計画
- ・シンボルマークかなりんちゃんなど
- ・トピックス
- ・苗木のホームステイ
- ・森のリレーフェスタ
- ・かながわジュニア・フォレスター教室
- ・全国植樹祭だより

- ・募集情報
- ・関連リンク集
- ・チラシ・ポスターのPDF
- ・協賛募集
- ・入札情報

## (6) 企業・団体との連携

神奈川の協働力を発揮し、県内企業・団体にご支援・協力をいただき、企業のイベントで広報活動を行うなどしています。



企業のイベントでの広報活動

## (7) その他の広報

### ①定期広報誌の発行

「全国植樹祭だより かながわ未来の森」を発行し、「第61回全国植樹祭」の開催準備の状況、県民運動、記念事業等に関する情報を定期的に情報誌によって発信し、周知します。

「全国植樹祭だより かながわ未来の森」季刊 発行予定回数10回（15,000部/毎回）

### ②PR用品の作成・配布

第61回全国植樹祭のシンボルマーク等をデザインしたうちわ（間伐材活用）やポケットティッシュなどを作成し、各種の行事で配布し、大会イメージの定着及び大会開催機運の醸成を図ります。



コースター(間伐材活用)  
2,250個作成



うちわ(間伐材活用)  
1,900枚作成



ポケットティッシュ(環境仕様)  
30,000個作成



ウェットティッシュ(環境仕様)  
6,000個作成

### ③大会テーマソングの制作（実施済み）

第61回全国植樹祭を広く県民の皆さまにお知らせし、大会を親しみやすいものとしていくため、藤沢市出身・鎌倉市在住で、かながわ環境大使でもある白井貴子さんに森づくり・森林再生へのメッセージを込めた大会テーマソング「森へ行こう！」を制作していただき、平成21年10月10日（土）に開催したカウントダウンセレモニーにおいて披露しました。



松沢知事より委嘱状の交付を受ける制作者の白井貴子さん

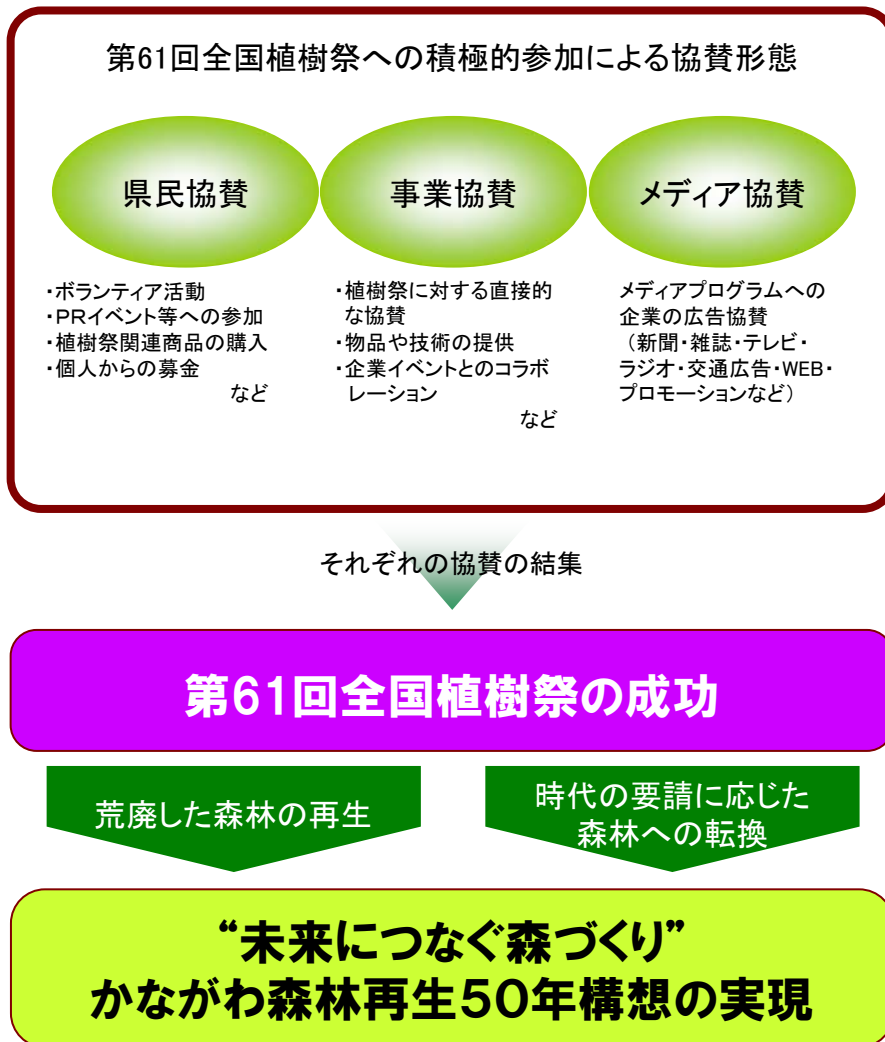
### 3 協賛計画

#### (1) 協賛計画の考え方

全国植樹祭を一過性のイベントとして終わらせることなく、これを契機として県民運動を加速していくため、県内の企業や団体、個人に対し、広く支援を求めていきます。

- 協賛は“財源”として捉えるのではなく、“それぞれが持つ力の結集”と位置づけます。
- 県民や県内企業を中心に、持続可能な活動としての森林づくりの意義や必要性を、理解していただくよう求めていきます。

#### (2) 協賛形態



### (3) 協賛内容

#### ① 県民協賛

第61回全国植樹祭や各種記念事業へのボランティア参加や、関連商品の購入、募金などによる協力

#### ■ かなりんちゃん募金（個人協賛）

第61回全国植樹祭を応援してくださる個人やグループの方を対象としてかなりんちゃん募金を実施しています。

募金された方に「かなりんちゃんファンクラブ」の会員となっただき、神奈川の森林再生に協力していただきます。

＜かなりんちゃんファンクラブ会員規則＞

- 1 私は、全国植樹祭を応援します。
- 2 私は、神奈川の木や森を守ることに協力します。
- 3 私は、「かなりんちゃん」を通して、森林の大切さをみんなに伝えます。



かなりんちゃんファンクラブ会員証  
(缶バッジ)

#### ② 事業協賛

第61回全国植樹祭や各種記念事業の運営・広報等に対する資金提供や物品提供などによる協力



キャラバンカー「かなりんちゃん号」



カウンタダウンボード



かなりんちゃん  
パッケージのお菓子

#### ③ メディア協賛

第61回全国植樹祭や各種記念事業についての各種メディアや自社媒体（PR冊子、広報誌等）を活用した広告等による協力

### (4) 協賛による主な特典

- 大会公式ホームページへの協賛者名の掲示及び協賛者のホームページへのリンク
- 大会会場内の掲示板、大会公式印刷物、記録誌やイベント等で配付するPRグッズへの協賛者名の掲示
- 第61回全国植樹祭への招待
- 第61回全国植樹祭呼称権※の使用

※呼称権

協賛者が行う広告で、第61回全国植樹祭の応援文を記載する「〇〇は第61回全国植樹祭を応援しています」

## かながわ森林再生50年構想

県内には、丹沢大山や箱根といった山々から、里山や市街地近郊の樹林地まで約9万5000ha、県土の40%近くを占める森林があります。今、この森林が、丹沢大山でのブナやモミの立ち枯れだけでなく、山地や里山まで県内各地で、手入れ不足などにより荒廃が進んでいます。

県では、前の世代から引き継いだ森林の様々な恵みを子や孫に手渡すため、50年かけて、皆さんとともに森林再生の取組を進めていきます。

### 広葉樹林の再生

- 丹沢大山では、ニホンジカによる下草や低木の過度の採食を防ぎつつ、後継樹を育成し、多様な樹種による原生的な自然林に誘導していきます。
- かつて薪や炭の原木として利用され、その後放置されている山地や里山の二次林では、間伐を繰り返すことで陽光を入れ、周辺の多様な広葉樹を林内に導入するなど自然力を利用して、多様な樹種からなる自然林に誘導していきます。
- なお、土壌流出の著しい溪畔林などでは、自然力に頼るだけでなく積極的に広葉樹の植樹を行います。

### 人工林から混交林への転換

- 林道から200m以上離れたスギ・ヒノキの人工林では、間伐を繰り返すことで陽光を入れ、周辺の多様な広葉樹を林内に導入するなど自然力を利用して、混交林や巨木林に誘導していきます。
- なお、急傾斜地や、周囲が人工林ばかりで広葉樹の導入が期待できないところなどでは、自然力に頼るだけでなく積極的に広葉樹の植樹を行います。

### 人工林の再生

- 林道から200m以内のスギ・ヒノキの人工林では、間伐を行い、木材として利用するとともに、伐採後は、花粉の少ないスギ・ヒノキや今後実用化する無花粉スギを植栽し、複層林などに誘導していきます。

### 50年後のめざす姿と 主な取組み



## ■スケジュール

年度	月	重要事項	主なイベント	広報等	
平成20年度	4月				
	5月			大会テーマ決定	
	6月				
	7月		第1回森のリレーフェスタ 相模湖畔林、三井水源林(26日)		
	8月	基本計画(案)策定			
	9月				
	10月		第2回森のリレーフェスタ やどりき水源林(18日)		
	11月		第3回森のリレーフェスタ 海老名市役所周辺(1日)	シンボルマーク等決定	
	12月				
	1月				
	2月	基本計画決定			
	3月		第4回森のリレーフェスタ 小田原市塔ノ峰(14日):雨天中止		
平成21年度	4月				
	5月		プレ全国植樹祭(24日)		
	6月	実施本部の設置	●福井県大会参加(7日)		
	7月	実施計画(案)策定			
	8月		大会開催日決定		
	9月		第5回森のリレーフェスタ 箱根町湖尻(5日)		
	10月		第6回森のリレーフェスタ 新川崎駅操車場跡地(26日)ほか		
	11月		カウントダウンセレモニー 赤レンガ倉庫イベント広場(10日)		
	12月				
	1月				
	2月	実施計画決定	第7回森のリレーフェスタ 厚木市鷲尾山(7日)		
	3月		各サテライト会場で イベント実施2月~5月		
	平成22年度	4月			
		5月		林業後継者大会(22日)	
第61回全国植樹祭5月23日(日)					
6月					
7月					
8月					
9月					
10月					
11月					
12月					
1月					
2月			●大会記録誌、記録DVD、 記念碑の製作		
3月	●実行委員会解散				



大会ポスター原画 画題「温かい緑」

**第61回 全国植樹祭 実施計画  
平成22年2月**

**神奈川県環境農政部森林課全国植樹祭推進室**

〒231-8588 横浜市中区日本大通1  
TEL 045-210-4375 FAX 045-210-8855  
ホームページ <http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/sinrin/zensyoku/>

または、「第61回全国植樹祭」で検索してください。